

◆ 葛飾区 ◆

中小企業の景況

令和5年度第4・四半期

(令和6年1~3月)

目 次

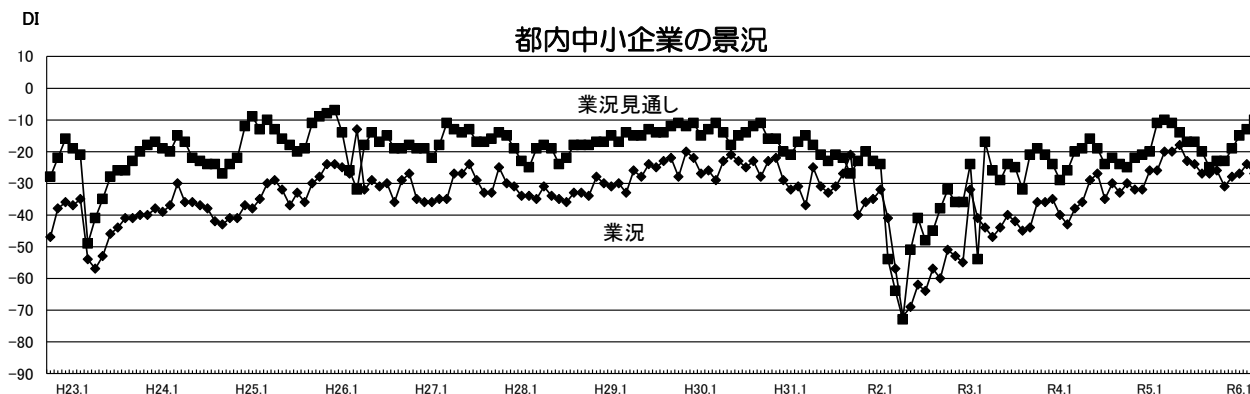
都内中小企業の景況（令和6年1~3月期）	1
葛飾区内中小企業の景況（令和6年1~3月期）	2
葛飾区の業況動向	3
製造業	4
卸売業	8
小売業	12
サービス業	16
建設業	20
不動産業	24
日銀短観	28
東京都・葛飾区の企業倒産動向	29
東京都・葛飾区の新設法人	32
特別調査	
「従業員の健康づくりに関する取組について」	34
中小企業景況調査 転記表	49

葛飾区 産業観光部 産業経済課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和6年1～3月期）

業況：全体は前期並。小売業で大幅に改善、サービス業は増減なく、製造・卸売業はいずれもやや悪化。
見通し：全体は大幅に改善。卸売業で極端に改善、製造・小売・サービス業は大幅に改善する見込み。



業況DI（季節調整済み「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は全体で▲27（前期▲28）と、前期並となった。
 今後3ヶ月間の見通しでは、今期比17ポイント増の▲10と大幅に改善する見通し。

	前期 (R5.12)	今期 (R6.3)	増減	今後3ヶ月間の見通し
製造業	▲31	▲34	▲3	▲16
卸売業	▲25	▲27	▲2	▲5
小売業	▲41	▲30	11	▲17
サービス業	▲18	▲18	0	▲2
全体	▲28	▲27	1	▲10

令和6年3月の都内中小企業の業況DIは、前期から1ポイント増の▲27と前期並となった。今後3ヶ月間の業況見通しDIでは、今期比17ポイント増の▲10と大幅に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、小売業（▲30）は11ポイント増と大幅に改善し、サービス業（▲18）は増減なく前期並、製造業（▲34）は3ポイント減、卸売業（▲27）は2ポイント減といずれもやや悪化した。

なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（22）は3ポイント増、卸売業（22）は5ポイント増といずれもやや上昇し、小売業（24）は1ポイント減と前期並であった。（サービス業なし）

販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（4）は3ポイント増、卸売業（13）は3ポイント増、サービス業（3）は2ポイント増とやや上昇し、小売業（9）は1ポイント減と前期並であった。

今後3ヶ月間の業況見通しDIを業種別にみると、卸売業（▲5）は22ポイント増と極端に改善、製造業（▲16）は18ポイント増、小売業（▲17）は13ポイント増、サービス業は（▲2）は16ポイント増と大幅に改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

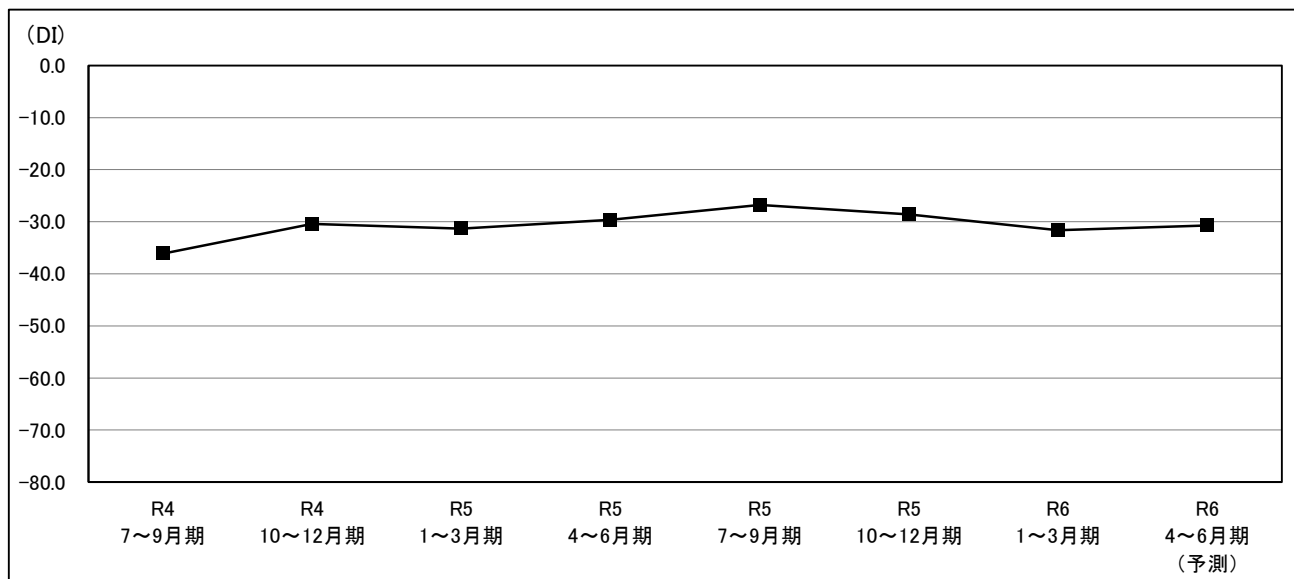
季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

葛飾区内中小企業の景況（令和6年1～3月期）

業況：全体ではやや悪化。卸売業・不動産業は前期並。製造業・小売業はやや悪化、サービス業・建設業は大きく悪化。
見通し：全体では今期並。小売業は大きく改善、卸売業・サービス業・建設業はやや改善。不動産業は今期並。製造業はやや悪化する見込み。



葛飾区内中小企業の業況 DI

	前期 (R5.9~12)	今期 (R6.1~3)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲35	▲37	▲2	▲42
卸売業	▲36	▲36	0	▲32
小売業	▲52	▲55	▲3	▲48
サービス業	▲20	▲28	▲8	▲25
建設業	▲16	▲23	▲7	▲21
不動産業	▲17	▲18	▲1	▲19
全体	▲29	▲32	▲3	▲31

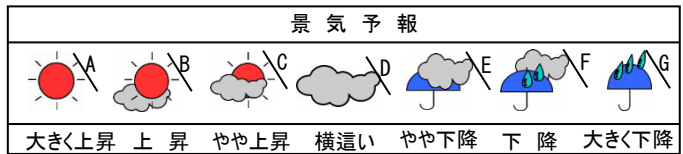
※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

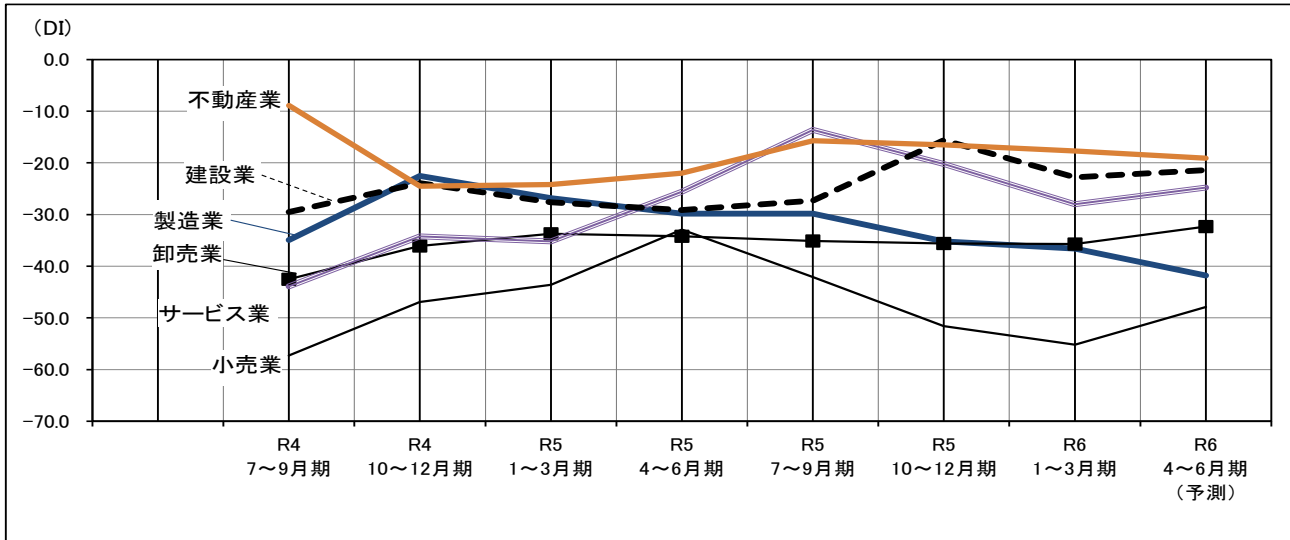
今期の葛飾区内中小企業全体の業況は▲32であった。来期（今後3ヶ月間の見通し）においては、今期並となる見通しとなっている。

業種別にみると、今期は、卸売業・不動産業は前期並、製造業・小売業はやや悪化、サービス業・建設業は大きく悪化した。来期は、小売業は大きく改善、卸売業・サービス業・建設業はやや改善、不動産業は今期並、製造業はやや悪化する見込みとなっている。

葛飾区の業況動向



各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



全体



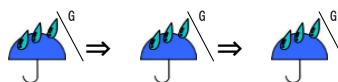
業況はやや低調感が強まった。来期の業況は今期同様で推移見込み。

製造業



業況はやや低調感が強まった。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。

卸売業



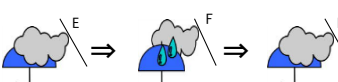
業況は前期並となった。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

小売業



業況はやや低調感が強まった。来期の業況は大きく厳しさが和らぐ見込み。

サービス業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

建設業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

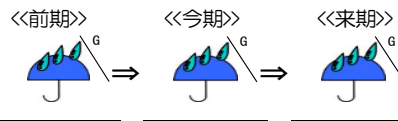
不動産業



業況は前期並となった。来期の業況は今期同様で推移する見込み。

『業種別』 業況動向

製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 35 \rightarrow \Delta 37$) はやや低調感が強まった。売上額 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 34$)、収益 ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 32$) は大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は3ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (9→3)、原材料価格 (52→42) は大きく上昇傾向が弱まった。在庫 (4→6) はやや過剰感が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 14$) は大きく窮屈感が緩和し、借入難易度 (4→6) はやや容易さが増した。今期借入をした企業は25%で前期の34%から9ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

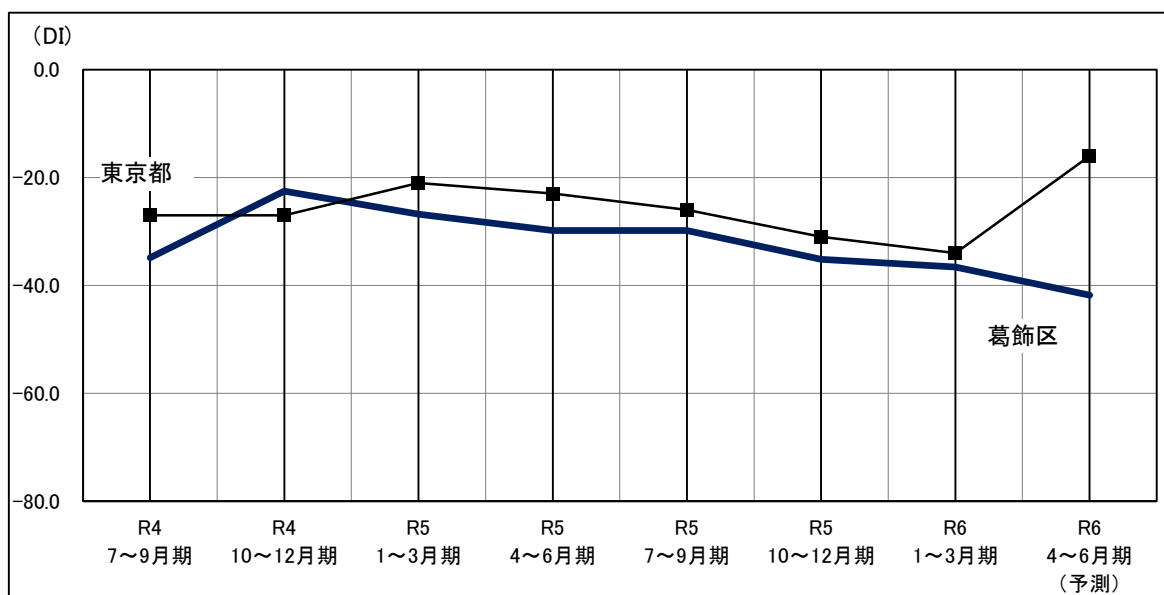
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が51%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が49%、3位は「人件費の増加」が25%となり、「人件費の増加」が4位から3位となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」と「経費を節減する」が34%で並び、2位は「人材を確保する」が32%、3位は「技術力を強化する」が20%となり、「経費を節減する」が2位から1位に並んだ。

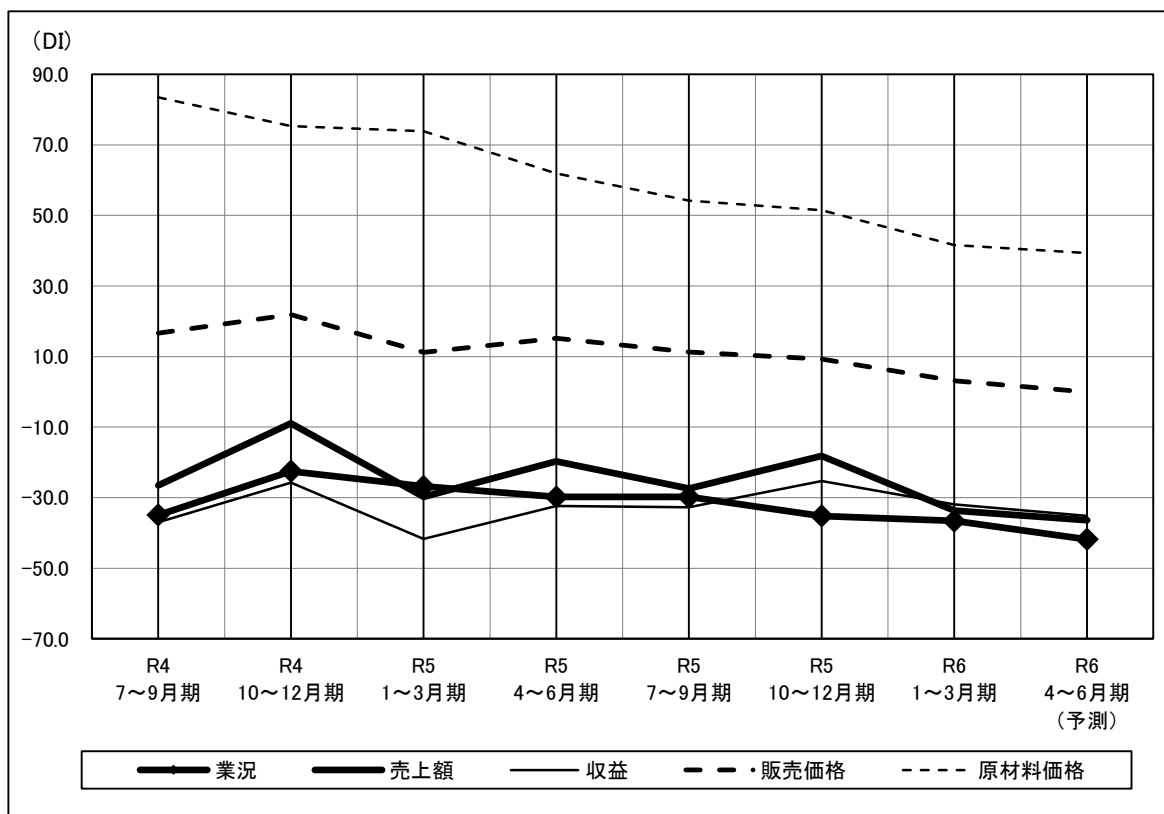
来期の見通し

業況 ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 42$) はやや低調感が強まる見込み。売上額 ($\Delta 34 \rightarrow \Delta 36$)、収益 ($\Delta 32 \rightarrow \Delta 35$) はやや減少幅が拡大すると予想されている。

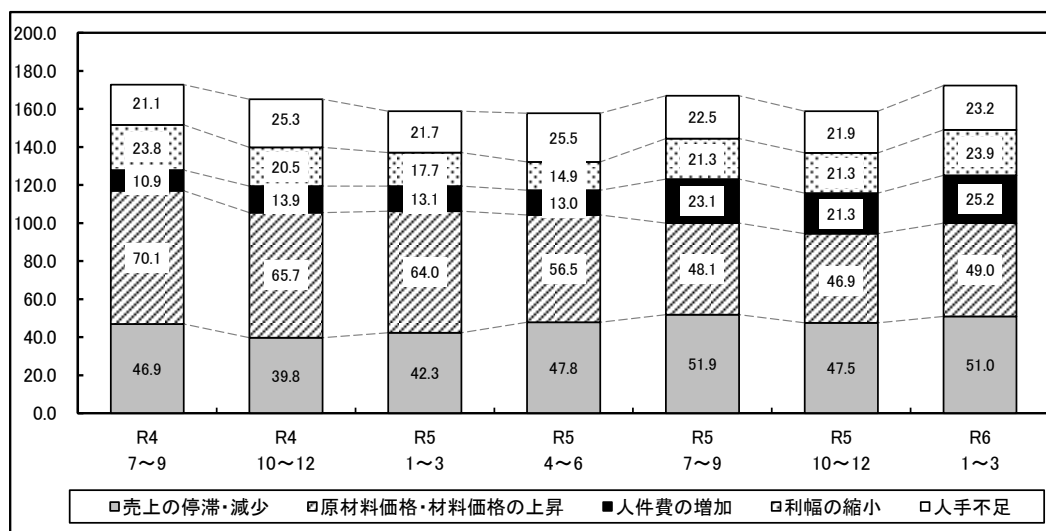
〈製造業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



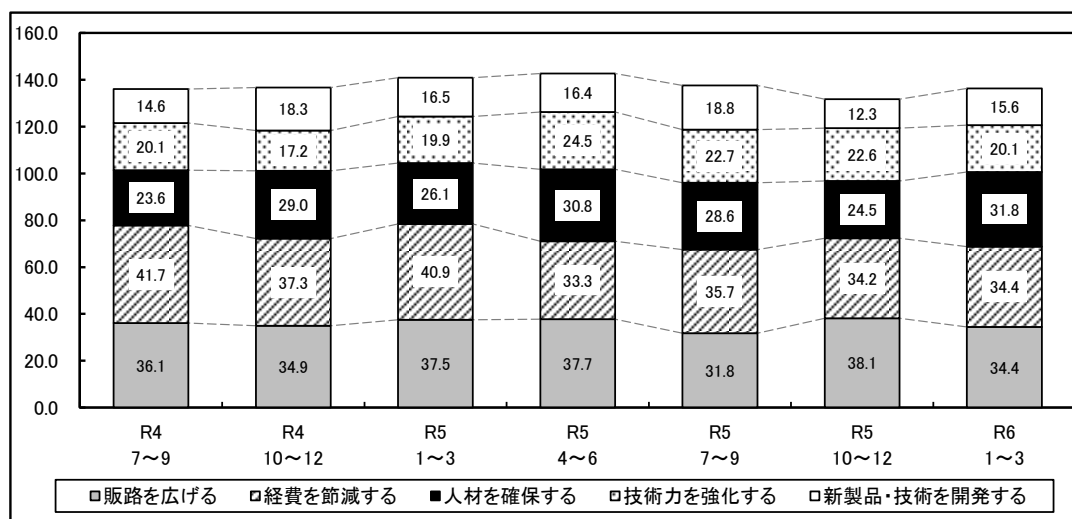
〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	原材料価格・材料価格の上昇	56.5 %	売上停滞・減少	51.9 %	売上停滞・減少	47.5 %	売上停滞・減少	51.0 %
第2位	売上停滞・減少	47.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	48.1 %	原材料価格・材料価格の上昇	46.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	49.0 %
第3位	人手不足	25.5 %	人件費の増加	23.1 %	人手不足	21.9 %	人件費の増加	25.2 %
第4位	人件費以外の経費増加	15.5 %	人手不足	22.5 %	利幅の縮小 人件費の増加	21.3 %	利幅の縮小	23.9 %
第5位	利幅の縮小 取引先の減少	14.9 %	利幅の縮小	21.3 %	取引先の減少	14.4 %	人手不足	23.2 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「100人以上」が71.4%で最も多かった。(n数5以下除く)

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	販路を広げる	37.7 %	経費を節減する	35.7 %	販路を広げる	38.1 %	販路を広げる 経費を節減する	34.4 %
第2位	経費を節減する	33.3 %	販路を広げる	31.8 %	経費を節減する	34.2 %	人材を確保する	31.8 %
第3位	人材を確保する	30.8 %	人材を確保する	28.6 %	人材を確保する	24.5 %	技術力を強化する	20.1 %
第4位	技術力を強化する	24.5 %	技術力を強化する	22.7 %	技術力を強化する	22.6 %	新製品・技術を開発する	15.6 %
第5位	新製品・技術を開発する	16.4 %	新製品・技術を開発する	18.8 %	新製品・技術を開発する	12.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	14.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると【販路を広げる】・【経費を節減する】ともに「10人以上30人未満」が40.0%・42.9%で最も多かった。(n数5以下除く)

製造業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 買い控え（不景気）のため、売上は減少である。
2. 仕入価格の上昇が続いている。販売価格の転嫁に苦労している。
3. 立場の強い大企業は商品を値上げし、増収・増益の会社が大半だが、うちのような下請け会社は値上げしても簡単に承認してもらえず、同業他社との価格競争、悪ければ転注。仕入先からは値上げ要請と中々苦しい立場。
4. 原材料価格の上昇で見積り額が想定より上回り成約に結び付かない事例が増えている。資材調達不安定で、工事日程が組めずに仕事を逃している事例もある。
5. 原材料価格の上昇を商品にただちに上乗せできない。
6. ここ1年半ほどに原材料の高騰等で2度3度と値上げをした為、他の商品（ガラス等）に変えられ売上げ減少になっている。
7. 顧客の要求を満たす製品を製造する為に、コストがかかってしまう。
8. 弊社の販売価格の値上げは出来ない中、従業員の賃上げ、健保厚生保険の値上がりなど人件費の自然値上げを消化する為の工夫がない。

<受注・業況について>

9. 円安、運賃の上昇等による輸入原材料の高騰が収益を悪化させている。
10. 受注量の減少で減収、減益が続いている。
11. 暖冬、価格改定等による買い控えに伴い消費不況等となり売上減少。2024年4月からの物流費の値上げ等でコストが上昇する見込み。
12. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
13. 今年になって多少需要が出てきたように感じる。
14. 自動車業界の堅調な生産により業容は拡大傾向にある。
15. 売上が低調でコストが上がっている。
16. 業界全体の冷え込みが激しい。中国市場の停滞が原因ではないかと思われる。
17. 大手企業の開発案件の受注に左右されるため、売上・利益は不透明である。
18. 景況の先行きが読めない。大手企業の景気が良くなると仕事が増えない。
19. 売上高は横ばい傾向が続くが営業利益が減少している。

20. コロナの影響により、下請けに出すより自分の所で加工をしていく企業が増え、仕事が増えてこない。今はコロナの時より悪い。
21. 受注先（大手企業）の生産低迷による受注減少、売上・利益の低下。
22. 販路を広げようと、鋭意努力をしている。
23. 大・中企業に取引先を取られてしまう。

<人材について>

24. 売上増加しているが、人員も増加しているので今以上に頑張らないといけない。
25. 人手不足であり人材の確保を図りたい。
26. 従業員が高齢化し、後継者がいないのが深刻な問題になっている。
27. 採用はできているのだが、技術のある者がいない。
28. 需要減少、人材確保が難しい。
29. 求人が来ない、来ても未経験者のみで老人も多い。求人は年齢が高すぎる。
30. 採用につながる人材がいない。
31. 協力会社の高齢化に伴う廃業増により、自社生産能力の低下。
32. 受注増の中、人手不足、経験者不足になっている。職人さんが欲しい。

<その他>

33. 景気の回復を希望する。
34. 先が見えない。
35. IT対応の技術費、現場オペレーターの技術力を強化したい。
36. お客様が高齢の為廃業される所がある。
37. 材料、人件費が増加する中、働き方改革により労働時間が取れないこととのギャップがある。
38. 手形発行はしていないので、手形などはできれば受取りたくない。
39. 自社は「でんさい」の振出しはしないが、長期のでんさいを受け取ることが多い。多い月は売上の半分がでんさいになる。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 36$) は前期並となった。売上額 ($\Delta 21 \rightarrow \Delta 37$)、収益 ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 36$) は大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は9ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (27→14) は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格 (51→57) は大きく上昇傾向が強まった。在庫 (16→10) は大きく過剰感が改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 19$) はやや窮屈感が強まった。借入難易度 (4→0) はやや容易さが縮小した。今期借入をした企業は32%で前期の39%から7ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

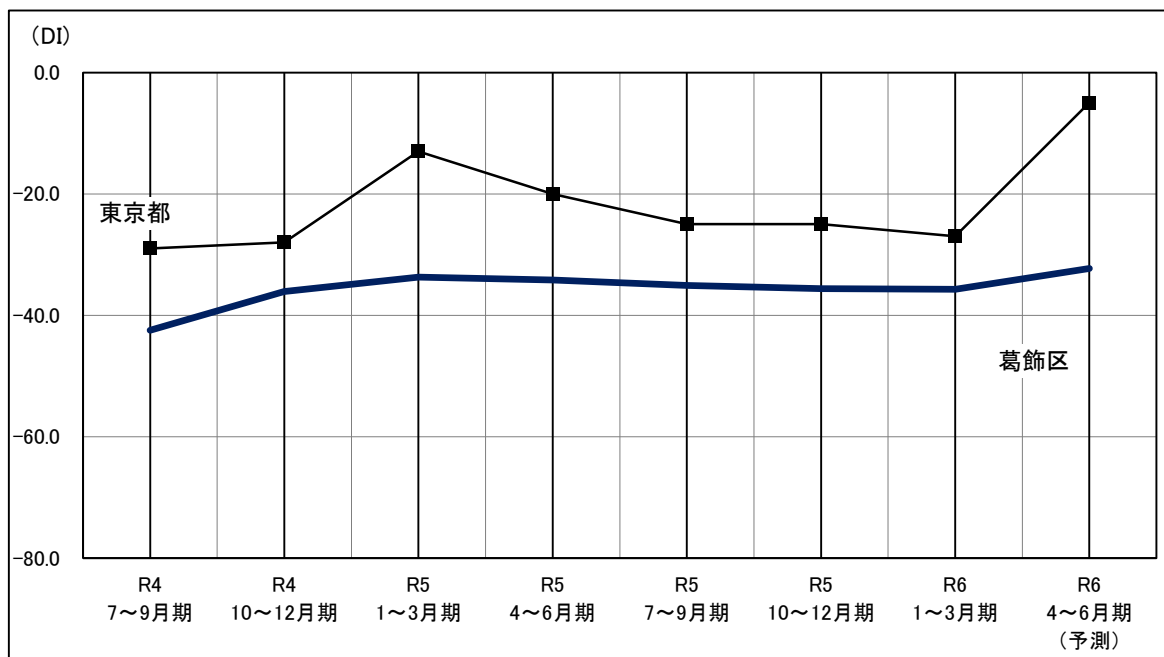
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が50%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が38%、3位は「取引先の減少」が30%となり、「取引先の減少」が6位から3位となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が54%、2位は「経費を節減する」が41%、3位は「仕入先・提携先を開拓・選別する」が19%となり、上位3位は前期同様となった。

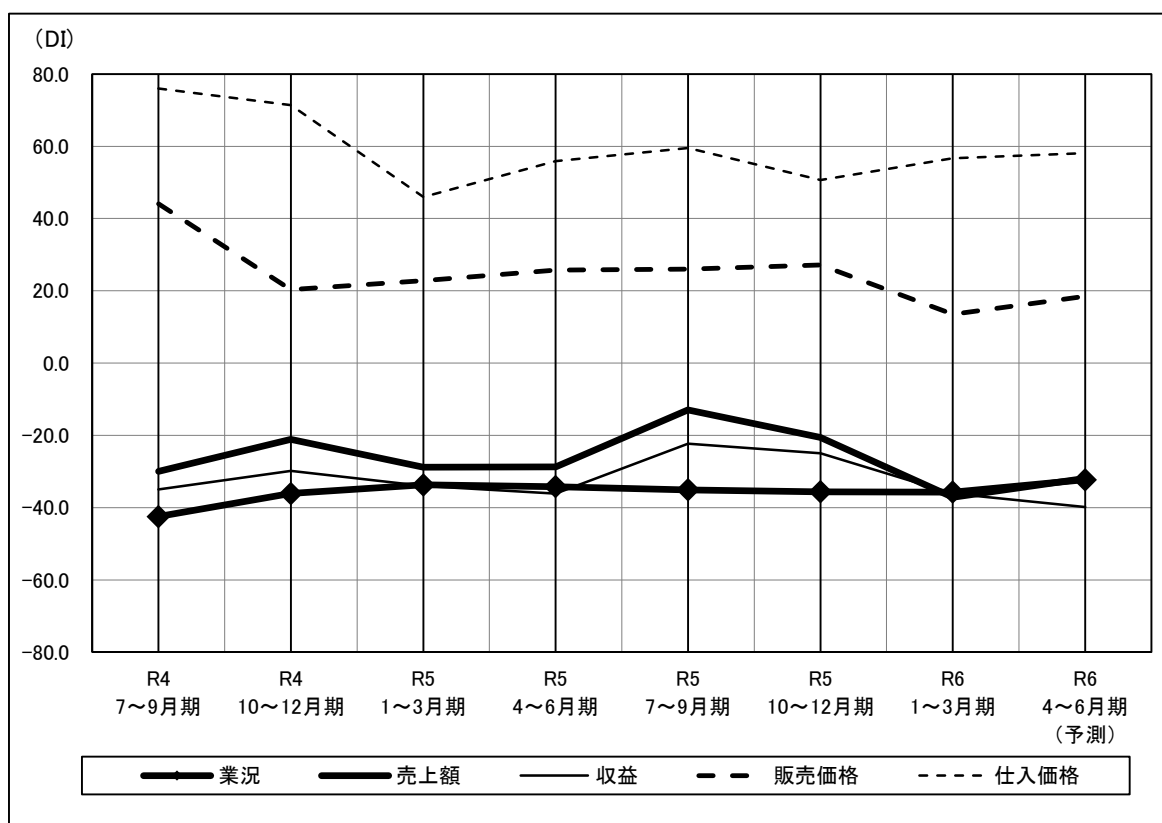
来期の見通し

業況 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 32$) はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額 ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 32$) はやや減少幅が縮小し、収益 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 40$) はやや減少幅が拡大すると予想されている。

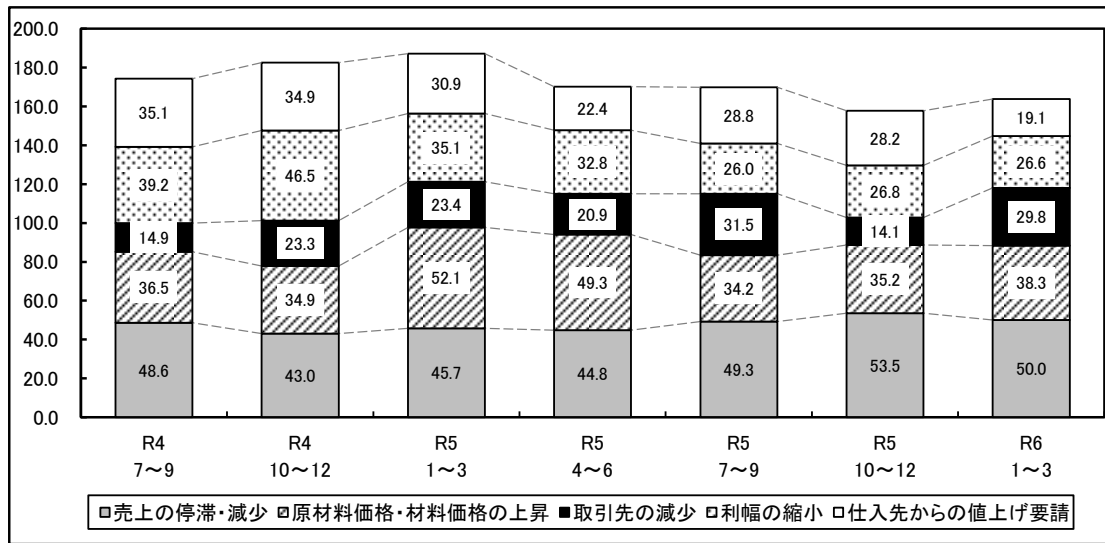
〈卸売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



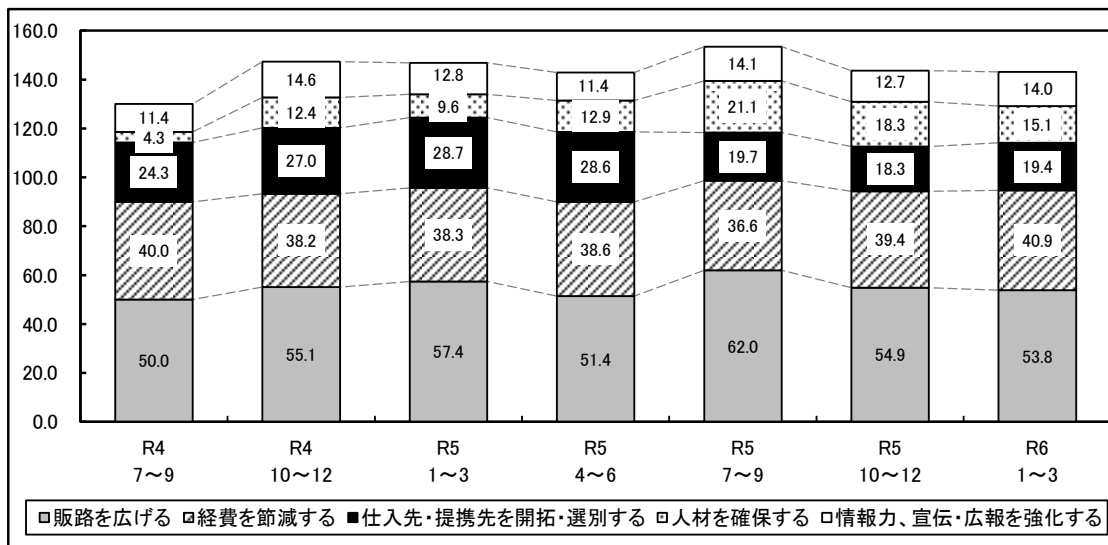
〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	原材料価格・材料価格の上昇	49.3 %	売上上の停滞・減少	49.3 %	売上上の停滞・減少	53.5 %	売上上の停滞・減少	50.0 %
第2位	売上上の停滞・減少	44.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	34.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	35.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	38.3 %
第3位	利幅の縮小	32.8 %	取引先の減少	31.5 %	仕入先からの値上げ要請	28.2 %	取引先の減少	29.8 %
第4位	仕入先からの値上げ要請	22.4 %	仕入先からの値上げ要請	28.8 %	利幅の縮小	26.8 %	利幅の縮小	26.6 %
第5位	取引先の減少	20.9 %	利幅の縮小	26.0 %	人手不足	16.9 %	仕入先からの値上げ要請	19.1 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が58.6%で最も多かった。(n数5以下除く)

〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	販路を広げる	51.4 %	販路を広げる	62.0 %	販路を広げる	54.9 %	販路を広げる	53.8 %
第2位	経費を節減する	38.6 %	経費を節減する	36.6 %	経費を節減する	39.4 %	経費を節減する	40.9 %
第3位	仕入先・提携先を開拓・選別する	28.6 %	人材を確保する	21.1 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 人材を確保する	18.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.4 %
第4位	人材を確保する	12.9 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.7 %	情報力、宣伝・広報を強化する 売れ筋商品を取扱う	12.7 %	人材を確保する	15.1 %
第5位	情報力、宣伝・広報を強化する 新しい事業を始める	11.4 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.1 %	新しい事業を始める	9.9 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.0 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が53.8%で最も多かった。(n数5以下除く)

卸売業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 新規仕入先を開拓しているので、仕入先への先払いが増えて、資金繰りが厳しい。
2. 円安による仕入価格の上昇。
3. 仕入価格の上昇により粗利が確保できず利益率が下がっている。
4. 売上が少し上昇しているが、経費・原材料が高騰し人件費も上昇。利益は変わらない。
5. 原材料高騰で販売価格が上昇している。売上が多少上がっても、仕入価格も上がっているので利益はそこまで伸びていない。
6. 大手販売先が好況のため増収になっているが、同時に仕入コストも上昇しているため、来期の業況は楽観視できない。
7. 商品販売価格の値上げは厳しいが、商品原価、物流コストは日々上がっており、利益率が低下している。
8. 増収傾向ではあるが利益率の低下が懸念される。売上確保のため値引きを実施している。
9. 仕入、販売価格等は変わらないが運賃（配送料）の値上げにより利益が減少している。
10. 高齢による仕入先の廃業により、仕入確保が難しくなりつつある。
21. 3年後、5年後を考えた時に人手不足になっている。
22. 世代交代に伴う人材確保及び経費の増加。
23. 労働者の年齢が高くなり、若い力が欲しいと思っている。
24. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている。

<その他>

25. 為替の変動が大きすぎて不安である。
26. 仕事の流れと手順を再構築している。
27. 今後の政府と財務省の動向が気になる。特に増税、金融引締めが不安。
28. デジタル化が遅れていると思う。

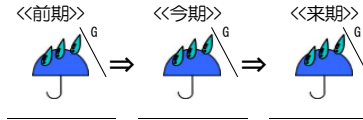
<受注・業況について>

11. 公共事業減少により取引先の仕事が減少。
12. 得意先の高齢化による売上減少。
13. 円安が続き利幅が縮小している。
14. 製造業の客先の景況感が良くなく、設備投資需要が落ちている。
15. コロナ禍以降、業界売先の激変により、商売の形そのものの再構築を試みている。
16. 廃業が多く販売先が減少。
17. 土木工事関連のため、工事の減少などにより売上減となっている。
18. 顧客のニーズにできる限り応え、可能な事を探していきたい。

<人材について>

19. 事務方に正社員 1 名と、休職中の従業員が5月から仕事に復帰する。又、2月に1名増員したので人件費がかなり高くなる。
20. 増収・増益だけれど、一時的なものなので増員する事が出来ない。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 52 \rightarrow \Delta 55$) はやや低調感が強まった。売上額 ($\Delta 41 \rightarrow \Delta 49$) は大きく減少幅が拡大し、収益 ($\Delta 53 \rightarrow \Delta 55$) はやや減少幅が拡大した。東京都と比較した当区の業況は 25 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (17→13)、仕入価格 (57→53) はやや上昇傾向が弱まった。在庫 ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 3$) は大きく不足感が改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 47 \rightarrow \Delta 44$) はやや窮屈感が緩和した。借入難易度 ($\Delta 6 \rightarrow \Delta 6$) は前期並となった。今期借入をした企業は 21%で前期の 28%から 7 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

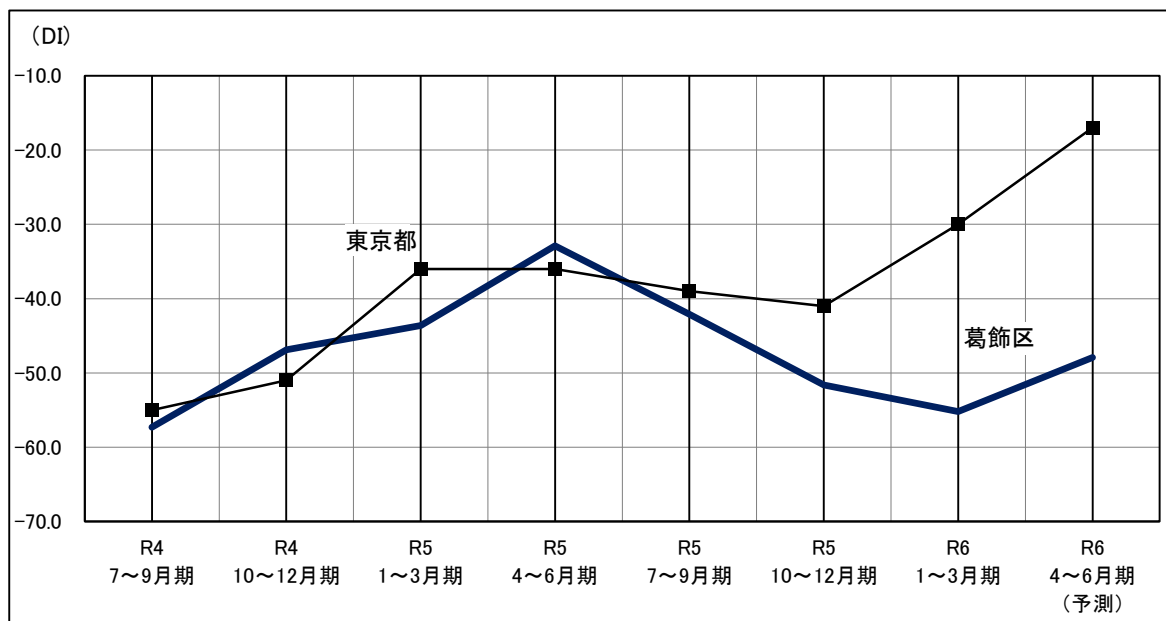
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 63%、2 位は「利幅の縮小」が 30%、3 位は「人手不足」が 26%となり、2 位と 3 位が入れ替わった。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 54%、2 位は「販路を広げる」が 32%、3 位は「品揃えを充実させる」が 25%となり、1・2 位は前期同様となった。

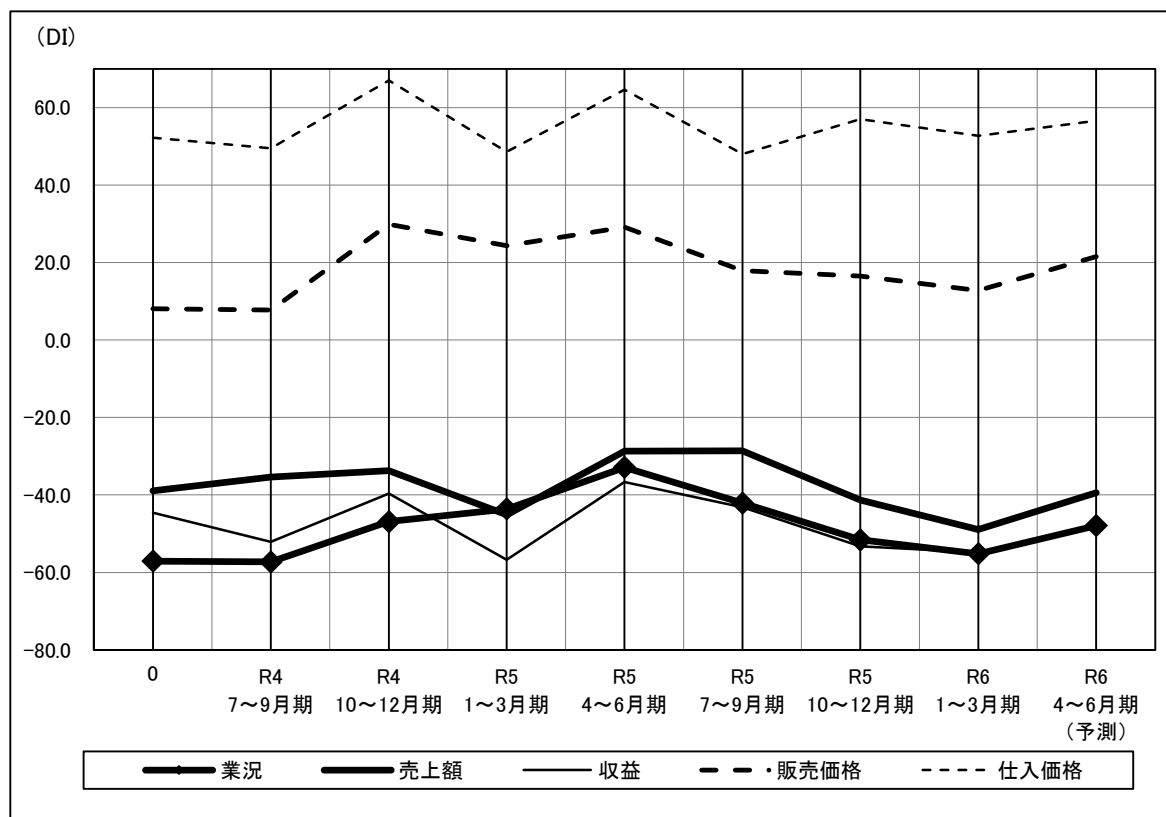
来期の見通し

業況 ($\Delta 55 \rightarrow \Delta 48$) は大きく厳しさが和らぐ見込み。売上額 ($\Delta 49 \rightarrow \Delta 39$)、収益 ($\Delta 55 \rightarrow \Delta 48$) は大きく減少幅が縮小すると予想されている。

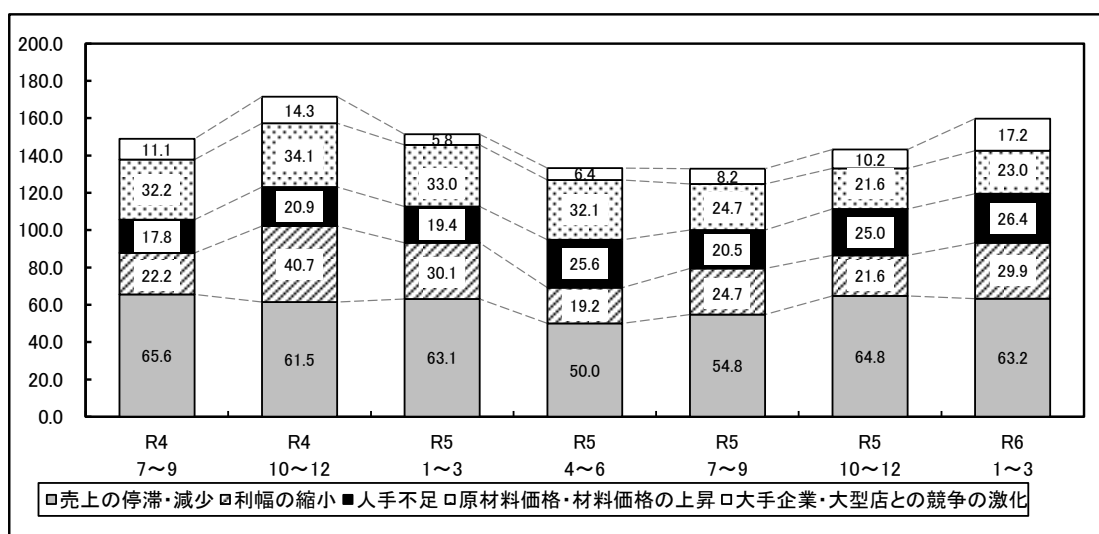
〈小売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



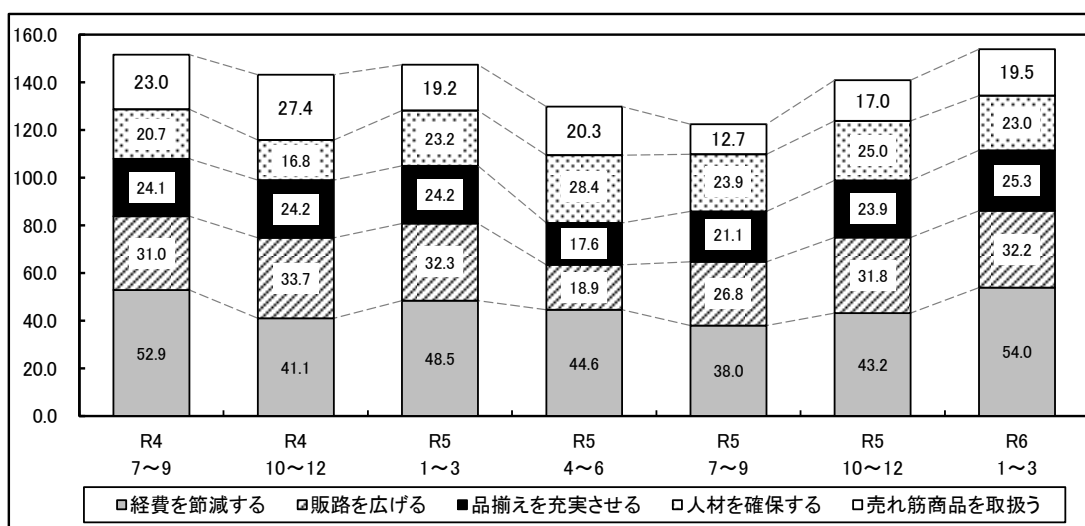
〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	54.8 %	売上の停滞・減少	64.8 %	売上の停滞・減少	63.2 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	32.1 %	利幅の縮小 原材料価格・材料価格の上昇 仕入先からの値上げ要請	24.7 %	人手不足	25.0 %	利幅の縮小	29.9 %
第3位	人手不足	25.6 %	人手不足	20.5 %	利幅の縮小 原材料価格・材料価格の上昇	21.6 %	人手不足	26.4 %
第4位	人件費の増加	20.5 %	同業者間の競争の激化	13.7 %	人件費の増加	19.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	23.0 %
第5位	利幅の縮小 仕入先からの値上げ要請	19.2 %	取引先の減少	12.3 %	仕入先からの値上げ要請	15.9 %	大手企業・大型店との競争の激化	17.2 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が73.2%で最も多かった。(n数5以下除く)

〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	経費を節減する	44.6 %	経費を節減する	38.0 %	経費を節減する	43.2 %	経費を節減する	54.0 %
第2位	人材を確保する	28.4 %	販路を広げる	26.8 %	販路を広げる	31.8 %	販路を広げる	32.2 %
第3位	売れ筋商品を取扱う	20.3 %	人材を確保する	23.9 %	人材を確保する	25.0 %	品揃えを充実させる	25.3 %
第4位	販路を広げる	18.9 %	品揃えを充実させる	21.1 %	品揃えを充実させる	23.9 %	人材を確保する	23.0 %
第5位	品揃えを充実させる	17.6 %	売れ筋商品を取扱う	12.7 %	情報力・宣伝・広報を強化する 売れ筋商品を取扱う	17.0 %	売れ筋商品を取扱う	19.5 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が70.0%で最も多かった。(n数5以下除く)

小売業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 少しでも安い仕入先を増やし収益の増加を目指している。
2. 商品原価が高騰して購買意欲がなくなって来ている。原価は値上りするも販売価格には転嫁出来ず利益減少となっている。
3. 仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できない。
4. 仕入単価が大幅に上昇しており、得意先への価格変更にも苦労している。簡単に値上げできず利益が取れない。
5. 仕入先の値上げが月単位であり、経営が苦しい。
6. 仕入価格が上昇したため販売価格を上げざるを得ず、販売数低下の要因となっている。

<受注・業況について>

7. 取引先の減少（灯油のストーブ・ファンヒーターを利用する顧客が減少したため）。
8. 通販に押され売上が伸びない。この先営業しても仕方ない。
9. 毎年1月～3月期は減少傾向の業種なので、イベントが増えれば、少しは良くなると思う。
10. 駅前の再開発に伴い、客足が減少。
11. 売上は引き続き伸びているが、伸び率は鈍化。収益性は向上しており、更なるDX化や設備の更新が必要。
12. 客離れ（顧客の収入減）。
13. 大企業の進出により売上は減少傾向。
14. 売上の停滞・減少は販路を広げられていないから。これからも販路を広げる為に営業を続ける。商品の販売が大きく減少し、利益が見込めない。
15. 需要の減少により売上・収益が減少している。
16. 今年7月からはじまる紙幣入替にもなうシステム対応、入替の特需が始まったため、2年間は増収・増益が見込まれます。
17. 新製品の販売を始めていく為、順調である。
18. フードロスが多く、利幅が縮小している。
19. 送料が高い。利益確保の為の方法を探す。
20. アパレルに対しての購買意欲がない。
21. 商店街の集客力低下。
22. 米は一般のお客様の減少。灯油は暖冬、灯油離れの為売上減少。
23. 顧客の高齢化のため売上低迷。
24. キャッシュレス化による資金繰りの変化。

25. 同業他社との競争で売上が減少傾向となっている。
26. 薬剤の出荷調整が続き、在庫確保にかかる手間が増えている。在庫も余剰とも言えるほど確保せざるを得ず、コストがかさんでいる。
27. カタログ販売の需要も減少傾向で、その中で多少販売できるものもあるが、特に売上が伸びている訳ではない。
28. 物価高で受注が減少している。

<人材について>

29. 人材不足により営業時間を見直す。
30. 深刻な人手不足。
31. 特に変わらず、人手不足。
32. 人手不足で応募人数も減少している。
33. 社員の高齢化、大きな仕事が出来ない。

<その他>

34. 円高対策の必要性を早急にして欲しい。
35. 営業面では収支共順調です。建物の老朽化に伴い立退きを求められている。1年以内に出なければならぬので廃業に追い込まれる可能性がある。
36. 出版業界の利益配分の不公正さがあり、全く改善されない。
37. 現在は販路拡大のための準備期間。
38. 小さな会社であり、大手とは違い小回りのきく、かゆい所に手が届く営業販売をしている。
39. 小中学生が減少している一方、外国人が増え、うまくいっていない。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△20→△28)は大きく低調感が強まった。売上額(9→△20)は増加から減少に転じ、収益(△7→△33)は極端に減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は10ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格(14→11)はやや上昇傾向が弱まり、材料価格(44→52)は大きく上昇傾向が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△17→△28)は大きく窮屈感が強まり、借入難易度(△13→△11)はやや厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は24%で前期の24%から増減はなかった。

経営上の問題点・重点経営施策

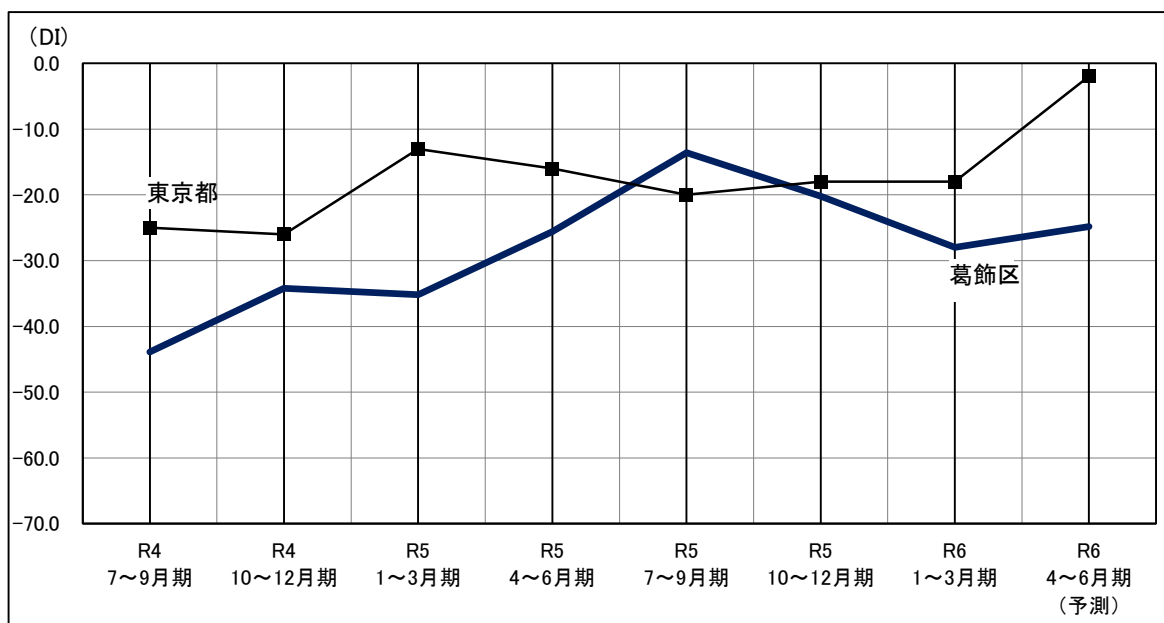
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が40%、2位は「売上の停滞・減少」が37%、3位は「人件費の増加」が33%となり、「人件費の増加」が4位から3位となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が41%、2位は「経費を節減する」が40%、3位は「販路を広げる」が29%となり、1位と2位が入れ替わった。

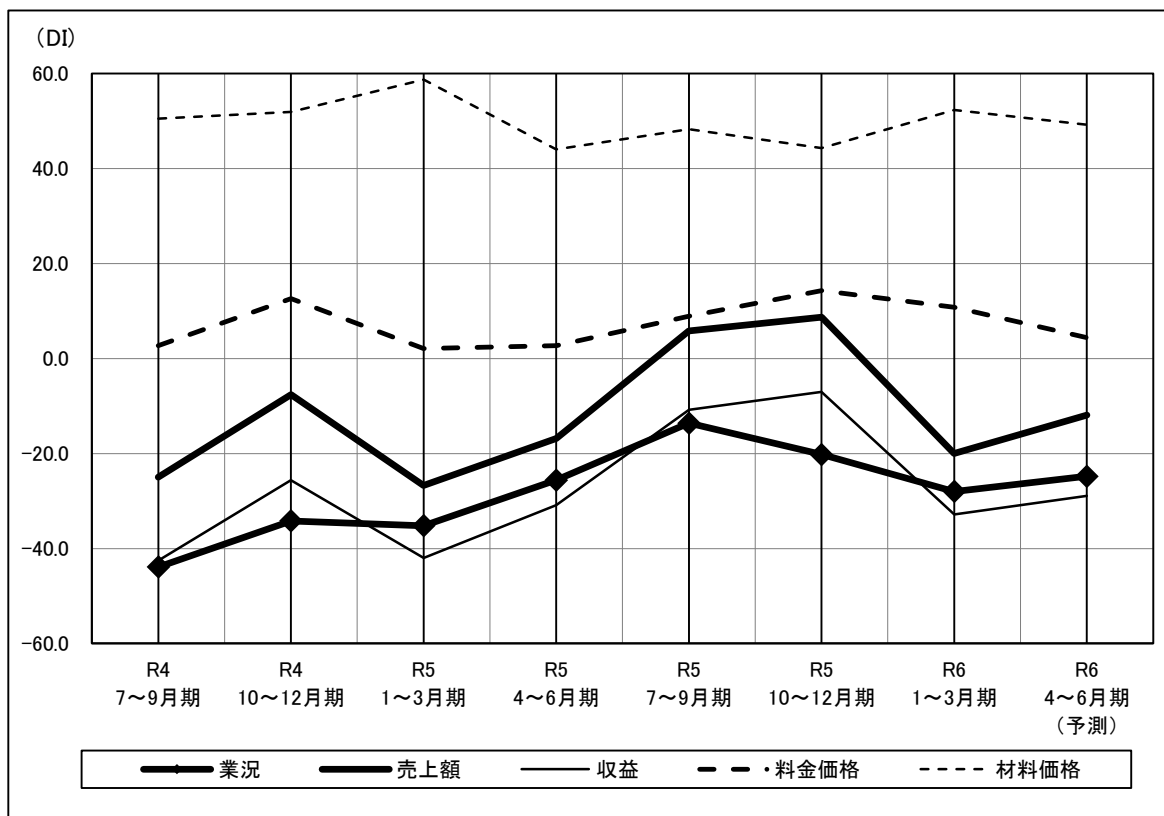
来期の見通し

業況(△28→△25)はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額(△20→△12)は大きく減少幅が縮小し、収益(△33→△29)はやや減少幅が縮小すると予想されている。

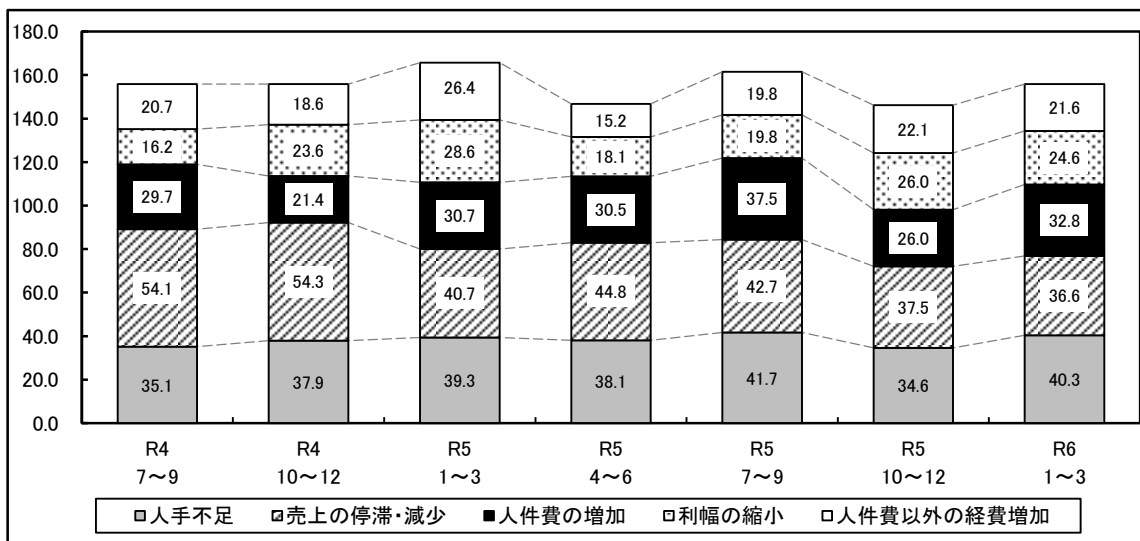
〈サービス業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



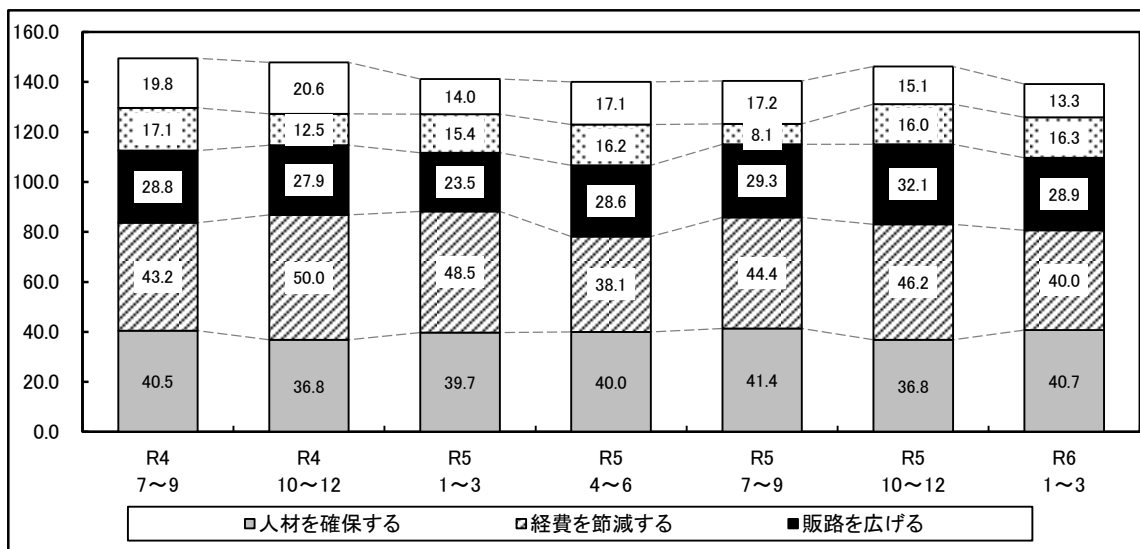
〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	売上の停滞・減少	44.8 %	売上の停滞・減少	42.7 %	売上の停滞・減少	37.5 %	人手不足	40.3 %
第2位	人手不足	38.1 %	人手不足	41.7 %	人手不足	34.6 %	売上の停滞・減少	36.6 %
第3位	人件費の増加	30.5 %	人件費の増加	37.5 %	原材料価格・材料価格の上昇	26.9 %	人件費の増加	32.8 %
第4位	原材料価格・材料価格の上昇	27.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	32.3 %	利幅の縮小 人件費の増加	26.0 %	利幅の縮小	24.6 %
第5位	利幅の縮小	18.1 %	利幅の縮小 人件費以外の経費増加	19.8 %	人件費以外の経費増加	22.1 %	人件費以外の経費増加	21.6 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が72.7%で最も多かった。（n数5以下除く）

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	人材を確保する	40.0 %	経費を節減する	44.4 %	経費を節減する	46.2 %	人材を確保する	40.7 %
第2位	経費を節減する	38.1 %	人材を確保する	41.4 %	人材を確保する	36.8 %	経費を節減する	40.0 %
第3位	販路を広げる	28.6 %	販路を広げる	29.3 %	販路を広げる	32.1 %	販路を広げる	28.9 %
第4位	情報力、宣伝・広報を強化する	17.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する	17.2 %	技術力を強化する	16.0 %	技術力を強化する	16.3 %
第5位	技術力を強化する	16.2 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 教育訓練を強化する 労働条件を改善する	10.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する	15.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する	13.3 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「100人以上」が83.3%で最も多かった。（n数5以下除く）

サービス業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 売上は上昇してきたが仕入単価の値上がりにより、思うように利益がでない。
2. 人件費の増額を予定しているが、販売単価の値上げに苦労している。
3. 減収の中、物価上昇によるコスト増加を転嫁できず減益傾向。燃料費の支援は助かります。
4. 仕入価格の上昇がすごくて、売り値がついていけない。
5. 材料費の上昇、人件費の高騰で利益が下がっている。
6. 仕入単価・光熱費高騰、設備の修理も増えているので利益が減少している。
20. 商店街が外国の店だらけになっており、日本の方は年配の方ばかりなので出費しなくなっている傾向がある。
21. 会社の資金繰りが悪化し、従業員に不安や不満ストレスが高まり退職が続く状況に陥っている。
22. これまでと変わらない。
23. 売上単価が4月から下がる事が決まっているため、利幅が縮小する。
24. 同業者が増え、競争が激化している。
25. 大人数での宴会は戻らないし、少人数での宴会もそれほど多くない。
26. 受注は例年通りだが、利用ソフトウェアの料金が上がった。ただし単価を上げて営業を進めた結果、来期は利益率は改善すると予想。

<受注・業況について>

7. 医療政策の変更が影響して需要は増加。しかしながら一時的なものであり、人の採用については慎重。
8. コロナ禍より脱却し受注は増えたが、将来の見通しが見えない。
9. 顧客の幅が広がり、増収・増益となっている。
10. 売上は上がっているが、利益は減少している。
11. コロナ景気からのリバウンドで売上減少。来期以降コロナ前に戻る空気感あり。
12. 気温の変化が激しすぎる為、消費者がクリーニングを利用するタイミングが分からない。当社としてもアピールをするタイミングが分からない。
13. 取引先の好転（コロナの影響）により、設備投資傾向に乗じて弊社売上も好転した。今後の課題は人件費で、資金繰りを圧迫すると予想される。
14. 人件費の割合が高くなっている。
15. 大型スーパー、店舗により個人商店が減少している他、顧客自体が少なくなっている。
16. 新型コロナウイルス感染症が原因でスクール生が減少したまま元に戻らないことに加え、年々生徒数が減少している。
17. コロナの流行で、老人養護施設の仕事が激減。従業員が必要ない。
18. 新規の取り引き増加で売上は上昇しているものの、電気料などの経費も同時に上昇しているため利幅が小さい。
19. 客先が内製を進めており、外注としての受注量が減少。
27. 売上微増しているが、経費面で人件費、光熱費の上昇についていけない。
28. コロナ禍による行動様式の変化を強く感じます（夜営業の不振）。
29. コロナ禍以降、顧客が戻っていない中で、改刷対応などの設備投資が増加している状況です。
30. 昨年に比べ売上は増えているが、インボイス制度により消費税の納付が増え、資金繰りに不安がある。

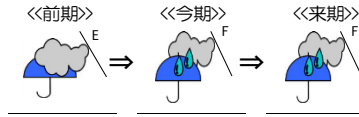
<人材について>

31. 人手不足により、積極的に新規案件をとりこくことが難しい。
32. 人材育成が難しい業種のため多忙を極める。
33. 採用に苦慮し、人手不足である。
34. 昨年よりも人材は確保しつつあるが、人手不足の解消には至っていない。
35. 需要が増え増収傾向である一方、人手不足のため人材確保が課題。
36. 需要が減り、減収減益が続いている。先の見通しをつくる。体力、力の確保（資金力）をする。人手を確保をする。
37. 受注伸び悩む。社員の能力開発が必要。

<その他>

38. 社会の変化が早く、新しい事業も考えなくてはいけないと感じている。
39. 介護報酬の改定で、どの程度変化するのか、分からない状態にある。
40. 法人税、消費税、税金全般が高い。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△16→△23)は大きく低調感が強まった。売上額(△14→△20)、施工高(△15→△21)は大きく減少幅が拡大した。収益(△20→△30)は大きく減少幅が拡大した。

価格・在庫動向

請負価格(1→2)は前期並となり、材料価格(64→61)はやや上昇傾向が弱まった。在庫(△4→△5)は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△23→△24)は前期並となり、借入難易度(△4→△10)は大きく厳しさが強まった。今期借入をした企業は42%で前期の39%から3ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

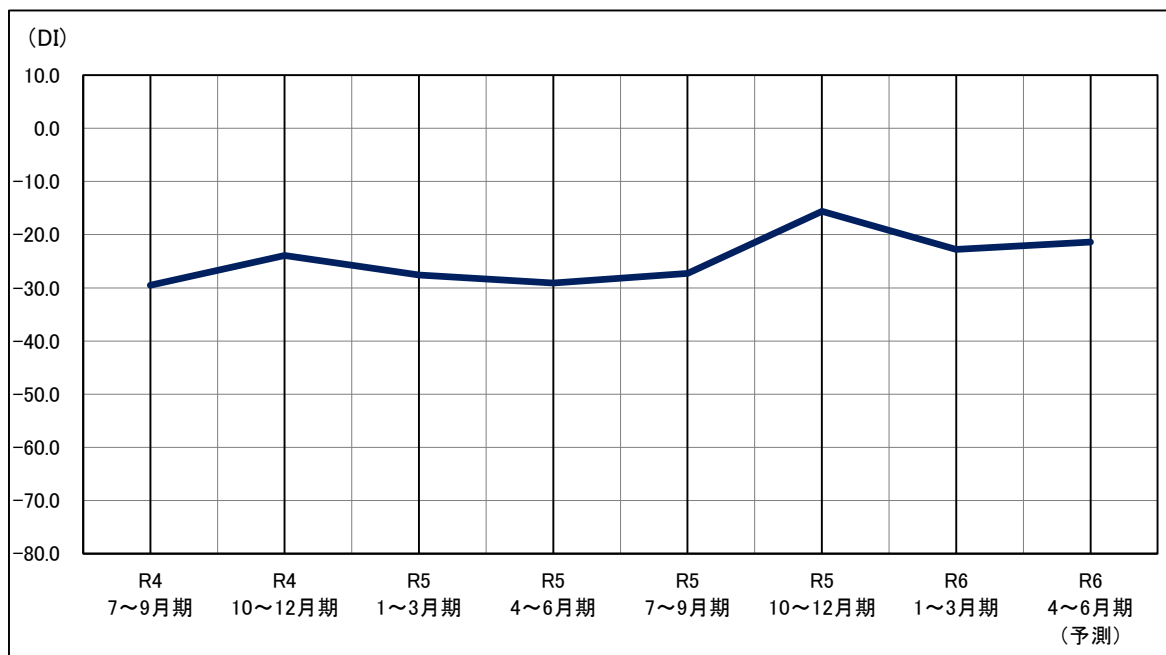
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が57%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が35%、3位は「売上の停滞・減少」が34%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が60%、2位は「経費を節減する」が40%、3位は「販路を広げる」が25%となり、「販路を広げる」が4位から3位となった。

来期の見通し

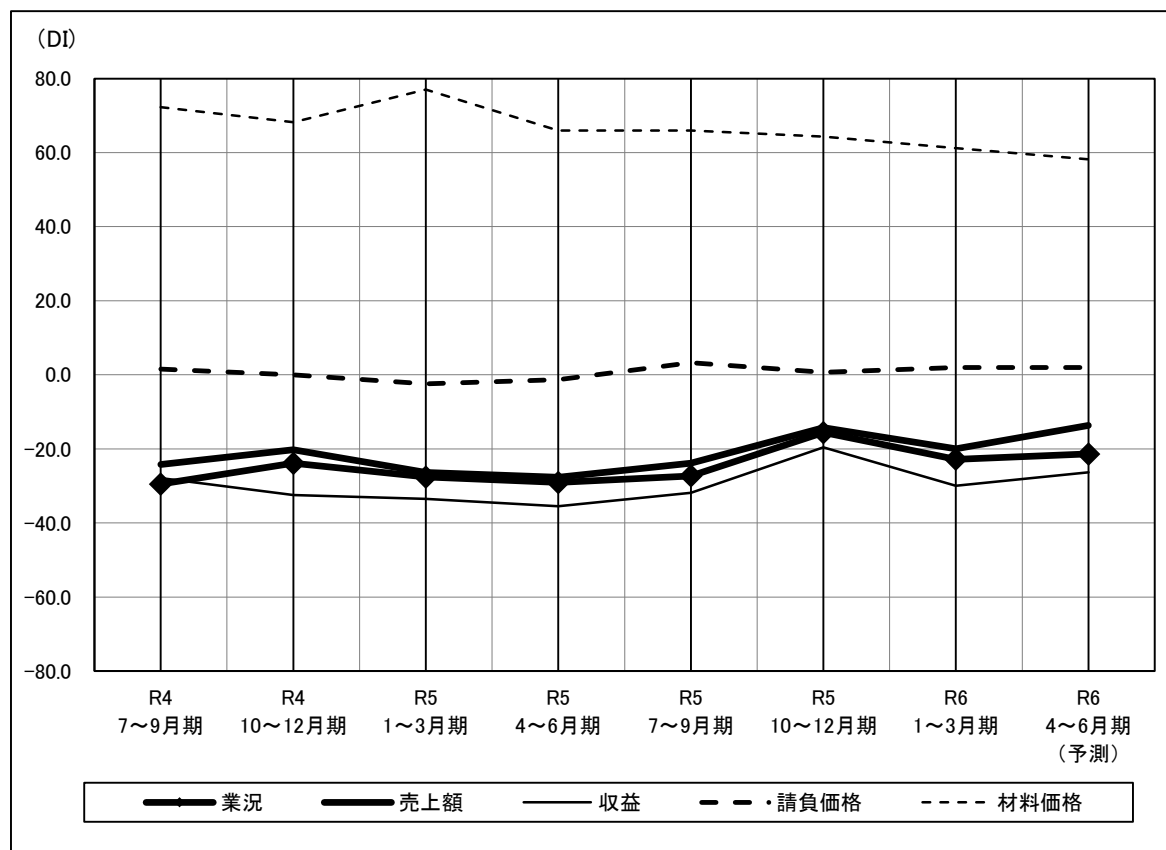
業況(△23→△21)はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額(△20→△14)は大きく減少幅が縮小し、収益(△30→△26)はやや減少幅が縮小すると予想されている。

〈建設業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

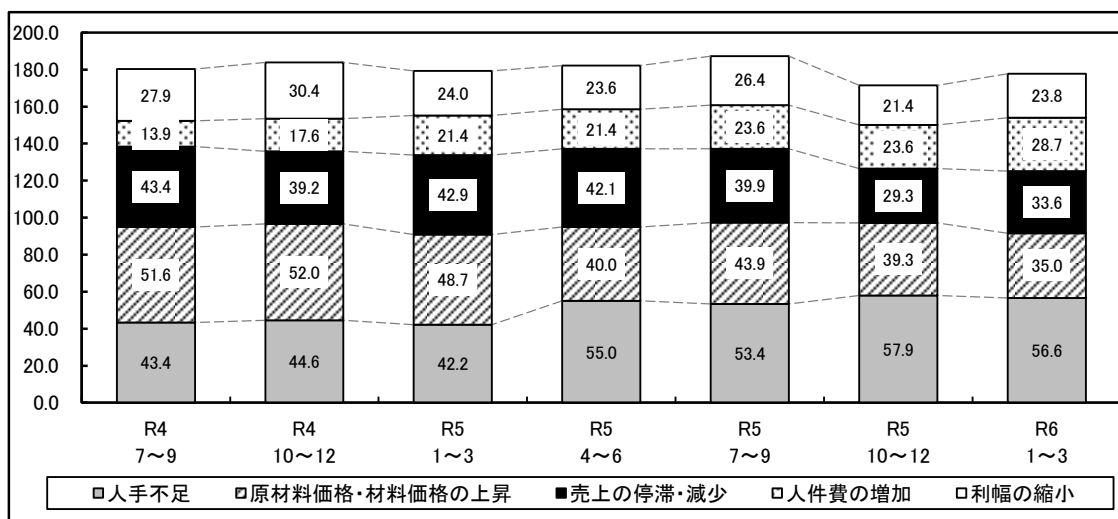


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、東京都の建設業の業況は表示していない。

〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



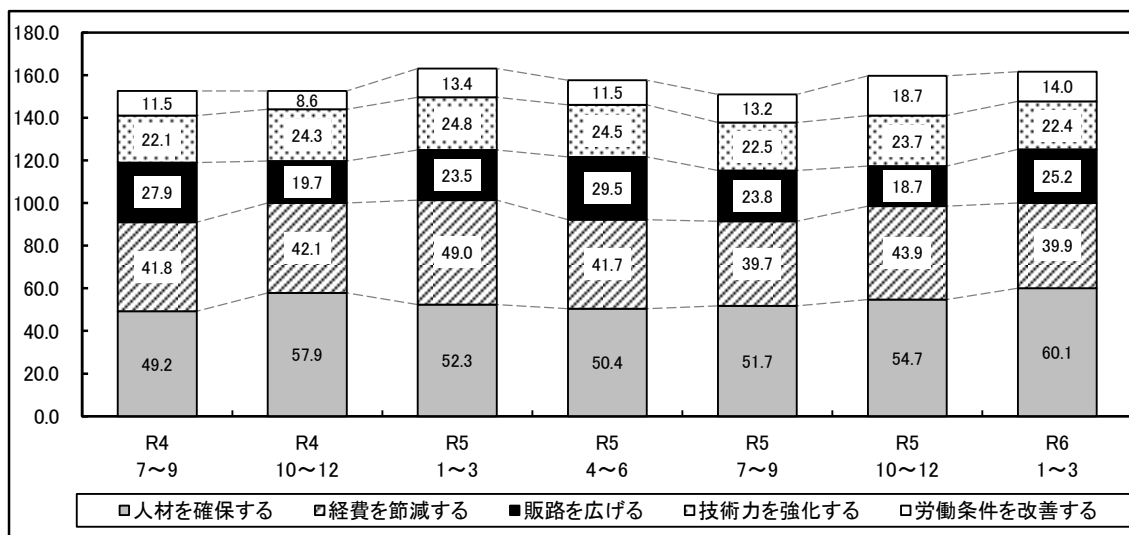
〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	人手不足	55.0 %	人手不足	53.4 %	人手不足	57.9 %	人手不足	56.6 %
第2位	売上の停滞・減少	42.1 %	原材料価格・材料価格の上昇	43.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	39.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	35.0 %
第3位	原材料価格・材料価格の上昇	40.0 %	売上の停滞・減少	39.9 %	売上の停滞・減少	29.3 %	売上の停滞・減少	33.6 %
第4位	利幅の縮小	23.6 %	利幅の縮小	26.4 %	人件費の増加	23.6 %	人件費の増加	28.7 %
第5位	人件費の増加	21.4 %	人件費の増加	23.6 %	利幅の縮小	21.4 %	利幅の縮小	23.8 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「30人以上100人未満」が86.2%で最も多かった。(n数5以下除く)

〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	人材を確保する	50.4 %	人材を確保する	51.7 %	人材を確保する	54.7 %	人材を確保する	60.1 %
第2位	経費を節減する	41.7 %	経費を節減する	39.7 %	経費を節減する	43.9 %	経費を節減する	39.9 %
第3位	販路を広げる	29.5 %	販路を広げる	23.8 %	技術力を強化する	23.7 %	販路を広げる	25.2 %
第4位	技術力を強化する	24.5 %	技術力を強化する	22.5 %	販路を広げる 労働条件を改善する	18.7 %	技術力を強化する	22.4 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する	17.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	15.9 %	教育訓練を強化する	12.2 %	労働条件を改善する	14.0 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「30人以上100人未満」が84.6%で最も多かった。(n数5以下除く)

建設業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. インボイスの影響で単価が下がり、資材の高騰で減収減益の傾向にある。
2. 都の公共工事を行っているが、受注した時（2～3年前）よりも材料単価、人件費等が高騰しており、受注時に計算した利益を確保できない。能登震災の件でまた材料高に歯止めがかからず、今後の利益確保が課題となっている。
3. 価格競争により見積り単価を安くしないと仕事が取れず、必然と売上が落ちる悪循環が続いている。相見積もりに対応するため、経費をかけて見積りをしてもらっても仕事にならなければ経費のみ（支出）で意味がない。見積り無料というのを悪と感している。
4. 人件費が高騰しているが、請負額に反映されるかが不安。
5. 景況は変わらず、良いほうだと思うが、物価高であり先行きが不透明なため、大きく設備投資などができない。
6. 仕事が減り価格競争の激化。元請は良い価格で受注している様だが下請迄は決して回ってこない。世の中の流れが賃上げの中、当社も上げざるを得ないがそんな余裕はない。

<受注・業況について>

7. 需要が増え、増収増益が続いている。
8. 売上額は変わらないが、利益確保は難しくなる。人件費増加、人材確保のための経費など、資金繰りには注意している。
9. 借入ができず資金繰りが大変。
10. 需要減少の為減収、減益。
11. 仕事は有るが、残土処分場が不足している為、処分が思う様に進まない。
12. 今年に入りケーブルの入荷が不安定になり、受注できない状況が続いている。
13. 得意先が高齢になってきているので別の取引先を探している。
14. 公共工事が減ったように感じる。
15. 受注がある程度安定しており、売上・利益ともに例年並に確保できている。
16. 仕事量もあり収益もまあまあだと思うが、税金のために経営しているといつも思う。
17. 売上増だが単価が上がっていないので減益。材料費、人件費の上昇分を上乗せできるかが今後の課題です。

18. 収益の確保は出来ており、特に問題はない。価格の上昇分を転嫁している。
19. 受注が安定しないため人材確保、設備投資に踏み込めないが急な仕事の依頼も多く対応しづらい。
20. 減収減益。同業者間の競争の激化により、ダンピング傾向がある。
21. 1人当たりの労働時間の減少は、生産能力の減少となる。
22. 景況感の好転はまだ見込めず、売上の傾向は底のままである。
23. 下請業者が年々減少している為、工程に四苦八苦している。
24. 地元工務店の弱体化により今後の受注減が予想される。
25. 大手住宅メーカーが入って来て苦戦している。

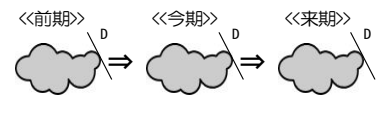
<人材について>

26. 人手不足なので受注量を減らしている。
27. 人手不足のため受注ができない。協力企業の確保大変。
28. 人手不足だが元請単価が安く人材確保ができない。
29. 受注増ではあるが技術力をともなった人材が不足している。
30. 人手不足で外注に工事依頼する事が多い。
31. 人手不足の現状が変わらず、働き方改革への対応が困難である。
32. 人手が足りず外国人を雇うが、思った以上に経費がかかる。
33. 若手の人材が不足しており、社員の高齢化が進んでいる。

<その他>

34. 今期限りで廃業の予定。

不動産業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△17→△18)は前期並となった。売上額(△15→△18)はやや減少幅が拡大し、収益(△19→△27)は大きく減少幅が拡大した。

価格・在庫動向

販売価格(0→△9)は大きく下降傾向が強まり、仕入価格(31→24)は大きく上昇傾向が弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△14→△15)は前期並となった。借入難易度(△11→△15)はやや厳しさが強まった。今期借入をした企業は23%で前期の17%から6ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

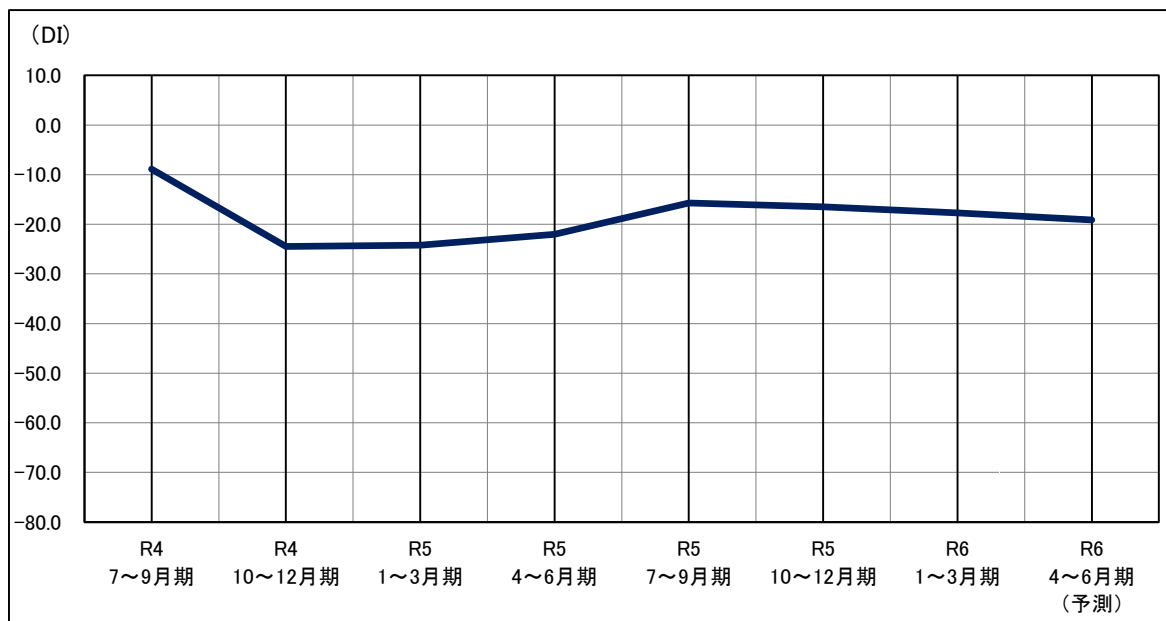
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が37%、2位は「同業者間の競争の激化」が29%、3位は「利幅の縮小」が22%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が45%、2位は「不動産の有効活用を図る」が22%、3位は「情報力、宣伝・広報を強化する」が19%となり、上位3位は前期同様となった。

来期の見通し

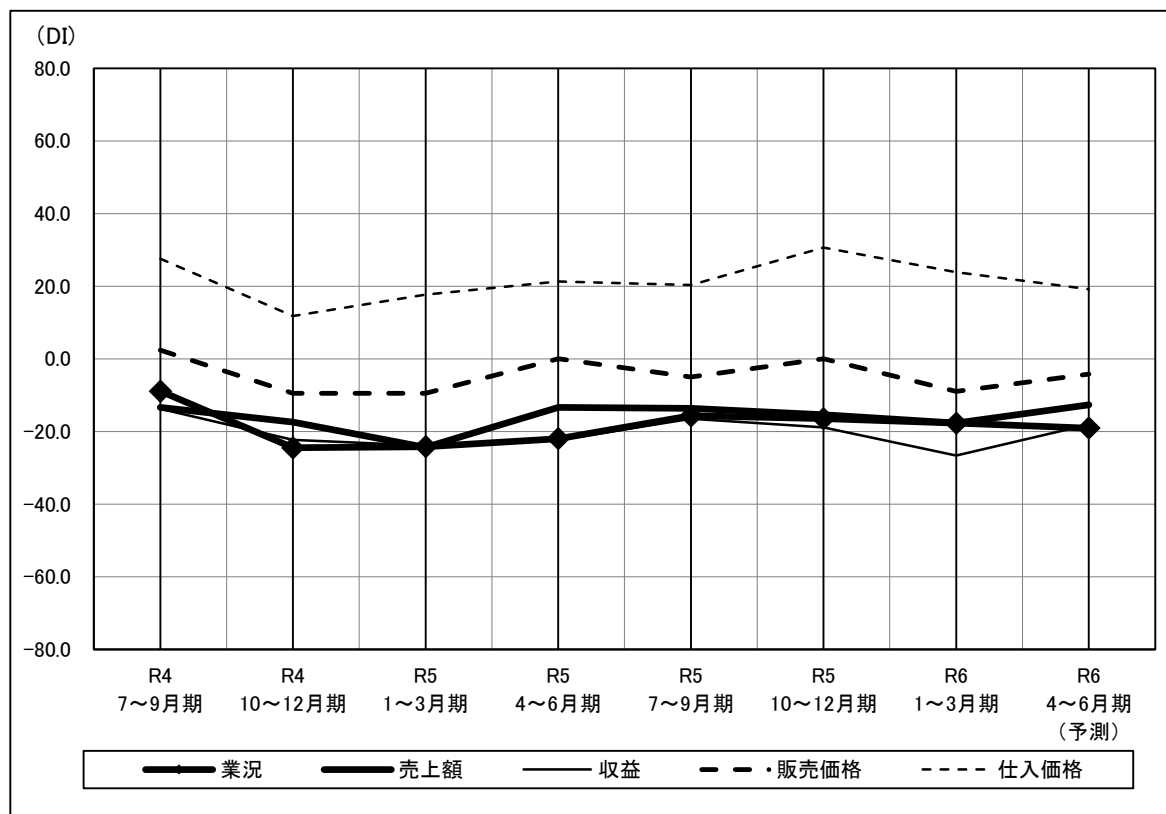
業況(△18→△19)は今期同様で推移する見込み。売上額(△18→△13)はやや減少幅が縮小し、収益(△27→△18)は大きく減少幅が縮小すると予想されている。

〈不動産業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

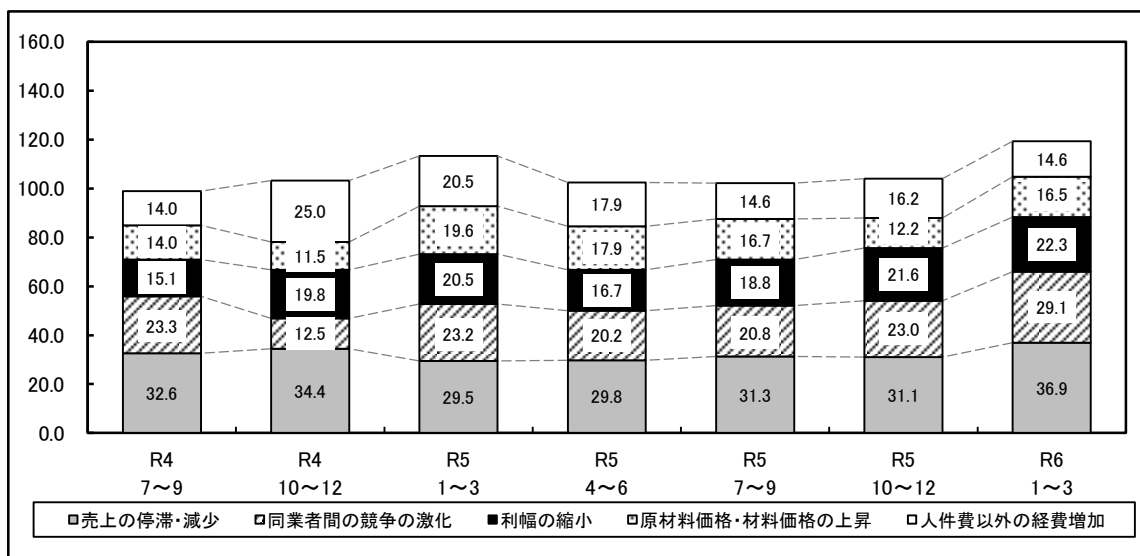


※ 東京都の景況調査では不動産業の調査は実施されていないため、東京都の不動産業の業況は表示していない。

〈不動産業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



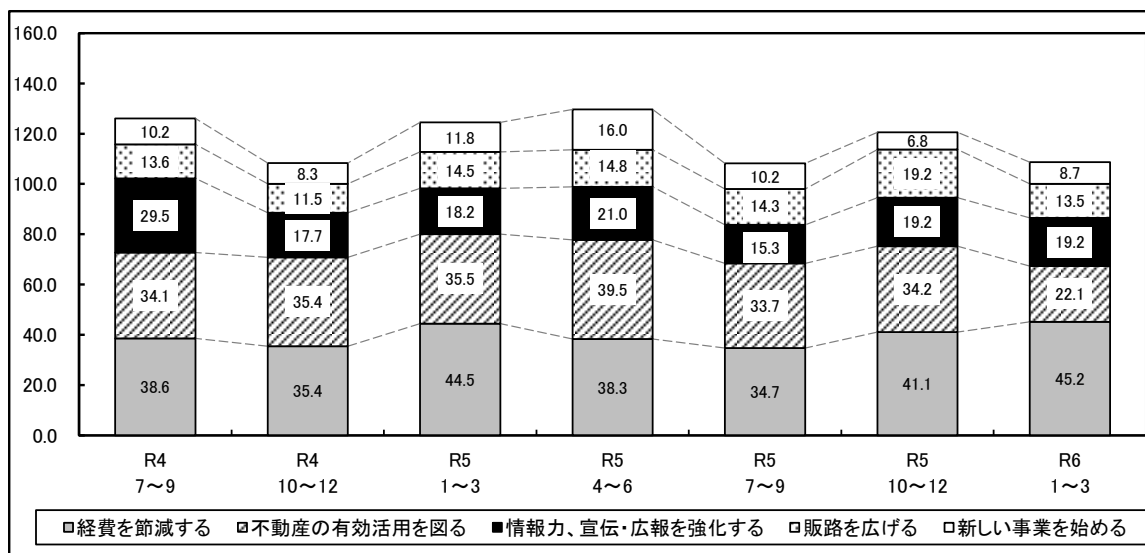
〈不動産業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	売上停滞・減少	29.8 %	売上停滞・減少	31.3 %	売上停滞・減少	31.1 %	売上停滞・減少	36.9 %
第2位	同業者間の競争の激化	20.2 %	同業者間の競争の激化	20.8 %	同業者間の競争の激化	23.0 %	同業者間の競争の激化	29.1 %
第3位	原材料価格・材料価格の上昇 人件費以外の経費増加	17.9 %	利幅の縮小	18.8 %	利幅の縮小	21.6 %	利幅の縮小	22.3 %
第4位	利幅の縮小	16.7 %	原材料価格・材料価格の上昇	16.7 %	人件費以外の経費増加	16.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	16.5 %
第5位	工場・店舗の狭小・老朽化	10.7 %	人件費以外の経費増加	14.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	12.2 %	人件費以外の経費増加	14.6 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人以上10人未満」が40.0%で最も多かった。(n数5以下は除く)

〈不動産業〉 重点経営施策 (%)



	R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期	
第1位	不動産の有効活用を図る	39.5 %	経費を節減する	34.7 %	経費を節減する	41.1 %	経費を節減する	45.2 %
第2位	経費を節減する	38.3 %	不動産の有効活用を図る	33.7 %	不動産の有効活用を図る	34.2 %	不動産の有効活用を図る	22.1 %
第3位	情報力・宣伝・広報を強化する	21.0 %	情報力・宣伝・広報を強化する	15.3 %	販路を広げる 情報力・宣伝・広報を強化する	19.2 %	情報力・宣伝・広報を強化する	19.2 %
第4位	新しい事業を始める	16.0 %	販路を広げる	14.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	15.1 %	販路を広げる	13.5 %
第5位	販路を広げる	14.8 %	新しい事業を始める	10.2 %	店舗・設備を改装する	9.6 %	新しい事業を始める	8.7 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が46.2%で最も多かった。(n数5以下は除く)

不動産業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 不動産価格、材料費ともに高騰している状況が続いており、売上は増加しても、利益の増加には反映されていない。ゼロゼロ融資の返済も始まり、経営は改善困難である状況。
2. 不動産賃貸経営がメインなので、不動産高騰により仕入が難しい。
3. 不動産価格上昇により、仕入がしにくくなる。更に建築資材費用も上昇し新築物件ができにくくなり、魅力ある商品の品揃えができにくくなっている。
4. 仕入物件の減少による売上の減少。
5. 材料価格が上昇している為、利益が減少している。
6. 物件（建物）のメンテナンス費用上昇が厳しい。
7. 賃料収入が増加しており、増収を期待している。

<受注・業況について>

8. 他社との競合も少なく状況は変わらない。
9. 自社ビルを賃貸中につき、景況に左右されない。
10. 同業者間の競争の激化により減収減益傾向。
11. ファミリー向けアパートの入室状況が安定し売上は安定しているが、築年数が20年近くでリフォームが必要となり収益は悪化。
12. 同業者間の競争激化、およびインターネット等での様々な情報により、仲介手数料の値引き or 手数料なしの要求が増えており、売上確保に苦労している。
13. 駐車場に関しては、空車が多くなってきている。若い人が車を所有しなくなってきている印象。
14. 少子化の為に町内に若い人が少なく、新規の顧客が少ない。またアパート等に年月による傷みが増え、住むに適さなくなっているところも散見される。修理するにも大家さん自体の年齢も上がっている為それもままならず始末に困る案件が増えつつある。
15. 大企業の進出により売上は減少傾向にある。
16. 借入の金利上昇により、利益が低下傾向にある。
17. 投資に適した不動産の入手が困難。
18. 改正電子帳簿保存法などDX化機運が高まる中、国や自治体等での助成金政策が重なり、事業継続に有効なOA機器やシステムを厳選し一部導入を済ませた。固定費削減に対し、また更なる効率化、業務平準化を検討していきたい。

<その他>

19. 当社は土地・家屋賃貸業事務の代行業で、株主の仕事のみ行っているので当調査の回答は難しい。

日銀短観

[調査対象企業数]

調査対象企業数

(2024年3月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,794社	5,324社	9,118社	99.0%
うち大企業	917社	817社	1,734社	99.1%
中堅企業	1,062社	1,532社	2,594社	98.8%
中小企業	1,815社	2,975社	4,790社	99.1%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2023年度		2024年度		
		上期	下期	上期	下期	
円/ドル	2023年12月調査	139.38	138.75	140.00	—	—
	2024年3月調査	140.36	139.04	141.68	141.42	141.25
円/ユーロ	2023年12月調査	148.85	148.63	149.07	—	—
	2024年3月調査	150.24	148.90	151.57	151.86	151.99

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2023年12月調査		2024年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	13	8	11	-2	10	-1
非製造業	32	27	34	2	27	-7
全産業	22	17	22	0	19	-3
中堅企業						
製造業	6	5	6	0	5	-1
非製造業	19	15	20	1	15	-5
全産業	14	11	14	0	11	-3
中小企業						
製造業	2	0	-1	-3	0	1
非製造業	14	7	13	-1	8	-5
全産業	9	5	7	-2	5	-2
全規模合計						
製造業	5	3	4	-1	4	0
非製造業	18	12	18	0	13	-5
全産業	13	8	12	-1	9	-3

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2023年度		2024年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.4	-0.5	0.8	—
	国内	4.0	-0.7	0.7	—
	輸出	2.3	-0.1	1.0	—
	非製造業	1.5	0.3	1.0	—
中堅企業	全産業	2.3	0.0	0.9	—
	製造業	1.9	-0.3	1.9	—
	非製造業	3.7	0.7	1.8	—
中小企業	全産業	3.2	0.4	1.8	—
	製造業	2.1	-0.1	1.5	—
	非製造業	3.1	0.7	0.1	—
全規模合計	全産業	2.9	0.5	0.4	—
	製造業	2.9	-0.4	1.2	—
	非製造業	2.6	0.5	0.9	—
	全産業	2.7	0.2	1.0	—

(注)修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2023年12月調査		2024年3月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-20	-20	-20	0	-18	2
	うち素材業種	-23	-22	-24	-1	-23	1
	加工業種	-18	-17	-17	1	-15	2
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	非製造業	-10	-11	-9	1	-9	0
	製造業	-17	-16	-17	0	-14	3
	うち素材業種	-23	-22	-23	0	-20	3
	加工業種	-13	-13	-13	0	-11	2
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	17	18	18	1	18	1
	うち素材業種	16	19	19	3	19	3
	加工業種	18	18	18	0	18	0
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	16	16	16	0	16	0
	うち素材業種	18	21	21	3	21	3
	加工業種	15	14	14	-1	14	-1
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	27	28	26	-1	33	7
	うち素材業種	26	27	27	1	34	7
	加工業種	27	28	25	-2	33	8
	非製造業	24	29	26	2	32	6
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	57	54	56	-1	59	3
	うち素材業種	52	49	51	-1	55	4
	加工業種	61	58	59	-2	61	2
	非製造業	54	55	53	-1	56	3

東京都・葛飾区の企業倒産動向

出典：(株)東京商工リサーチ

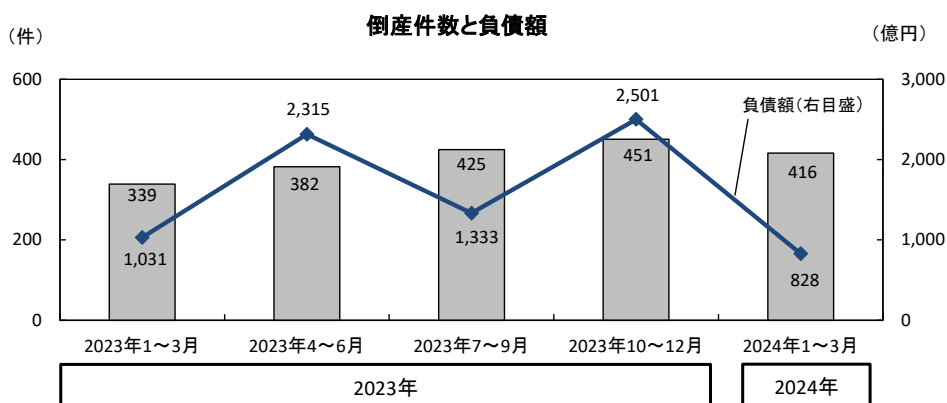
「東京都」の企業倒産動向について（2024年1～3月）

1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数が416件、負債総額は828億3,100万円となった。件数は前期比7.8%減、前年同期比22.7%増となった。負債総額は前期比66.9%減、前年同期比19.7%減となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年1～3月	2023年10～12月	2024年1～3月		
件数(単位:件)	339	451	416	-7.8%	22.7%
負債額(単位:百万円)	103,108	250,107	82,831	-66.9%	-19.7%



2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
	2023年1～3月	2023年10～12月	2024年1～3月		
製造業	23	28	20	-28.6%	-13.0%
卸売業	43	59	63	6.8%	46.5%
小売業	29	43	45	4.7%	55.2%
サービス業	89	115	99	-13.9%	11.2%
建設業	38	41	49	19.5%	28.9%
不動産業	16	16	30	87.5%	87.5%
情報通信業・運輸業	51	69	47	-31.9%	-7.8%
宿泊業・飲食サービス業	29	52	32	-38.5%	10.3%
その他	21	28	31	10.7%	47.6%
合計	339	451	416	-7.8%	22.7%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
2023年1～3月	2023年10～12月	2024年1～3月			
製造業	39,435	8,060	5,766	-28.5%	-85.4%
卸売業	15,278	5,083	16,323	221.1%	6.8%
小売業	7,951	16,354	5,237	-68.0%	-34.1%
サービス業	10,737	149,320	10,859	-92.7%	1.1%
建設業	4,487	40,183	4,499	-88.8%	0.3%
不動産業	6,925	12,757	19,183	50.4%	177.0%
情報通信業・運輸業	5,321	5,457	14,054	157.5%	164.1%
宿泊業・飲食サービス業	12,032	8,944	2,695	-69.9%	-77.6%
その他	942	3,949	4,215	6.7%	347.5%
合計	103,108	250,107	82,831	-66.9%	-19.7%

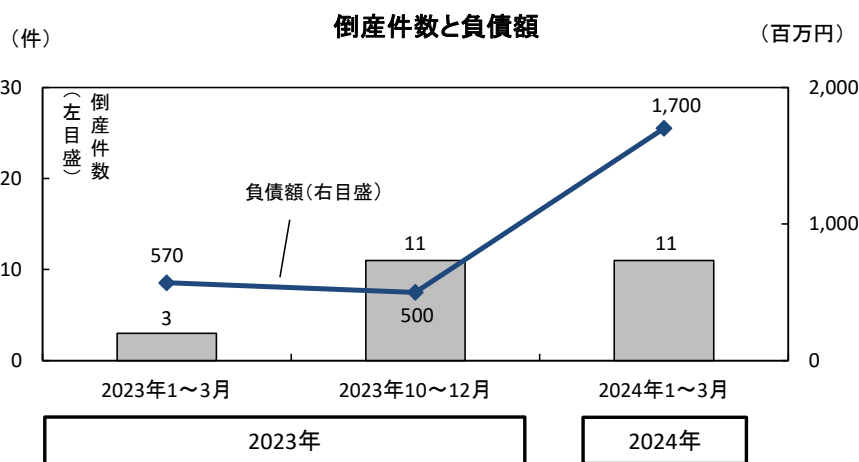
「葛飾区」の企業倒産動向について（2024年1～3月）

1. 概況

葛飾区内の企業倒産は、件数が11件、負債総額は17億円となった。件数は前期比変わらず、前年同期比266.7%増となった。負債総額は前期比240.0%増、前年同期比198.2%増となった。業種別件数では、建設業で前期比・前年同期比ともに増加した。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期		
	2023年1～3月	2023年10～12月	2024年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	3	11	11	0.0%	266.7%
負債額(単位:百万円)	570	500	1,700	240.0%	198.2%



2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年1～3月	2023年10～12月	2024年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	1	1	0	-100.0%	-100.0%
卸売業	0	0	1	-	-
小売業	0	1	1	0.0%	-
サービス業	0	4	4	0.0%	-
建設業	1	2	4	100.0%	300.0%
不動産業	0	0	0	-	-
情報通信業・運輸業	1	1	0	-100.0%	-100.0%
宿泊業,飲食サービス業	0	2	0	-100.0%	-
その他	0	0	1	-	-
合計	3	11	11	0.0%	266.7%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2023年1～3月	2023年10～12月	2024年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	50	20	0	-100.0%	-100.0%
卸売業	0	0	891	-	-
小売業	0	20	20	0.0%	-
サービス業	0	101	452	347.5%	-
建設業	500	135	144	6.7%	-71.2%
不動産業	0	0	0	-	-
情報通信業・運輸業	20	20	0	-100.0%	-100.0%
宿泊業,飲食サービス業	0	204	0	-100.0%	-
その他	0	0	193	-	-
合計	570	500	1,700	240.0%	198.2%

3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年1~3月	2023年10~12月	2024年1~3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	0	1	1	0.0%	-
奥戸	1	1	0	-100.0%	-100.0%
お花茶屋	0	1	0	-100.0%	-
金町	0	0	0	-	-
鎌倉	0	0	1	-	-
亀有	0	1	0	-100.0%	-
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	0	0	-	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	0	0	0	-	-
高砂	0	0	0	-	-
宝町	0	0	0	-	-
立石	0	1	1	0.0%	-
新宿	0	0	1	-	-
西亀有	1	0	1	-	0.0%
西新小岩	1	1	1	0.0%	0.0%
西水元	0	0	0	-	-
東金町	0	1	1	0.0%	-
東新小岩	0	1	0	-100.0%	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	1	1	0.0%	-
堀切	0	0	2	-	-
水元	0	2	0	-100.0%	-
南水元	0	0	1	-	-
四つ木	0	0	0	-	-
合計	3	11	11	0.0%	266.7%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2023年1~3月	2023年10~12月	2024年1~3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	0	50	193	286.0%	-
奥戸	500	20	0	-100.0%	-100.0%
お花茶屋	0	10	0	-100.0%	-
金町	0	0	0	-	-
鎌倉	0	0	10	-	-
亀有	0	20	0	-100.0%	-
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	0	0	-	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	0	0	0	-	-
高砂	0	0	0	-	-
宝町	0	0	0	-	-
立石	0	150	891	494.0%	-
新宿	0	0	402	-	-
西亀有	50	0	80	-	60.0%
西新小岩	20	20	10	-50.0%	-50.0%
西水元	0	0	0	-	-
東金町	0	54	44	-18.5%	-
東新小岩	0	115	0	-100.0%	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	20	10	-50.0%	-
堀切	0	0	30	-	-
水元	0	41	0	-100.0%	-
南水元	0	0	30	-	-
四つ木	0	0	0	-	-
合計	570	500	1,700	240.0%	198.2%

東京都・葛飾区の新設法人

出典：(株) 東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により 1 四半期前の情報を掲載

「東京都」の新設法人について（2023年10～12月）

1. 概況

2023年10～12月の東京都内の新設法人数は11,921件で、前期比0.3%増、前年同期比14.4%増となった。業種別では、建設業が前期比15.4%増、前年同期比37.4%増となった。

2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件数)	前年同期 2022年10～12月	前期 2023年7～9月	当期 2023年10～12月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	626	685	698	1.9%	11.5%
卸売業	484	499	554	11.0%	14.5%
小売業	782	880	858	-2.5%	9.7%
サービス業	3,405	3,888	3,910	0.6%	14.8%
建設業	425	506	584	15.4%	37.4%
不動産業	1,084	1,236	1,284	3.9%	18.5%
情報通信業・運輸業	1,809	2,113	2,040	-3.5%	12.8%
宿泊業・飲食サービス業	643	811	811	0.0%	26.1%
その他	1,164	1,270	1,182	-6.9%	1.5%
合計	10,422	11,888	11,921	0.3%	14.4%

「葛飾区」の新設法人について（2023年10～12月）

1. 概況

2023年10～12月の葛飾区内の新設法人数は186件で前期比12.0%増、前年同期比32.9%増となった。業種別では、卸売業が前期比128.6%増、情報通信業・運輸業が前年同期比120.0%増となった。地域別では、金町、鎌倉、小菅、新小岩、西新小岩、東金町、堀切、水元、南水元で前期比・前年同期比ともに増となった。

2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2022年10～12月	前期 2023年7～9月	当期 2023年10～12月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	10	10	18	80.0%	80.0%
卸売業	10	7	16	128.6%	60.0%
小売業	23	27	19	-29.6%	-17.4%
サービス業	27	36	48	33.3%	77.8%
建設業	16	24	25	4.2%	56.3%
不動産業	15	20	15	-25.0%	0.0%
情報通信業・運輸業	10	15	22	46.7%	120.0%
宿泊業・飲食サービス業	14	13	14	7.7%	0.0%
その他	15	14	9	-35.7%	-40.0%
合計	140	166	186	12.0%	32.9%

3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2022年10~12月	2023年7~9月	2023年10~12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	7	10	7	-30.0%	0.0%
奥戸	8	4	4	0.0%	-50.0%
お花茶屋	0	5	2	-60.0%	-
金町	5	7	9	28.6%	80.0%
鎌倉	1	1	4	300.0%	300.0%
亀有	13	18	14	-22.2%	7.7%
小菅	4	3	8	166.7%	100.0%
柴又	4	5	3	-40.0%	-25.0%
白鳥	6	2	1	-50.0%	-83.3%
新小岩	11	14	19	35.7%	72.7%
高砂	10	2	10	400.0%	0.0%
宝町	2	2	1	-50.0%	-50.0%
立石	4	11	6	-45.5%	50.0%
新宿	5	4	4	0.0%	-20.0%
西亀有	7	2	6	200.0%	-14.3%
西新小岩	7	5	10	100.0%	42.9%
西水元	1	10	7	-30.0%	600.0%
東金町	10	10	12	20.0%	20.0%
東新小岩	11	4	11	175.0%	0.0%
東立石	2	6	6	0.0%	200.0%
東堀切	1	5	4	-20.0%	300.0%
東水元	1	5	5	0.0%	400.0%
東四つ木	1	14	5	-64.3%	400.0%
細田	0	3	3	0.0%	-
堀切	7	4	10	150.0%	42.9%
水元	2	3	4	33.3%	100.0%
南水元	3	2	4	100.0%	33.3%
四つ木	7	5	7	40.0%	0.0%
合計	140	166	186	12.0%	32.9%

4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2022年10~12月	2023年7~9月	2023年10~12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	114	141	158	12.1%	38.6%
女性	25	24	28	16.7%	12.0%
法人	1	1	0	-100.0%	-100.0%
不明	0	0	0	-	-
合計	140	166	186	12.0%	32.9%

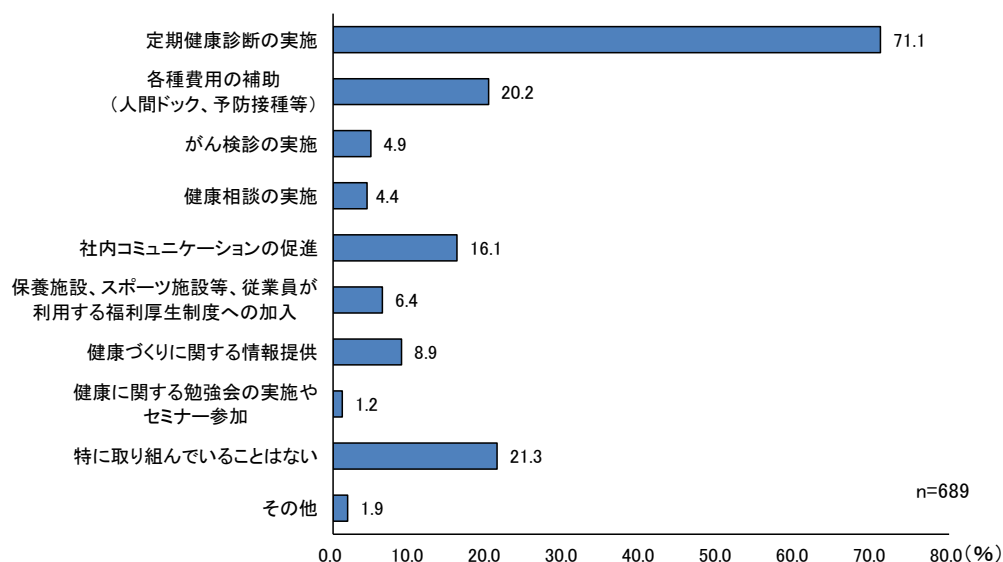
特別調査「従業員の健康づくりに関する取組について」

- ① 従業員の健康づくりに関して、現在取り組んでいるものについては、「定期健康診断の実施」が71.1%で最多。
- ② 従業員の健康づくりに関して、今後取り組みたいものについては、「定期健康診断の実施」が36.2%で最多。
- ③ 取組を行っていて感じる効果については、「従業員の満足度・活力向上」が44.5%で最多。
- ④ 従業員の健康づくりに取り組む上での課題については、「費用負担が大きい」が23.2%で最多。
- ⑤ 従業員の健康づくりに取り組む上で、行政に期待する支援については、「経済的支援（補助金、助成金）」が57.3%で最多。

問1. 従業員の健康づくりに関して、現在取り組んでいるもの（〇はいくつでも）

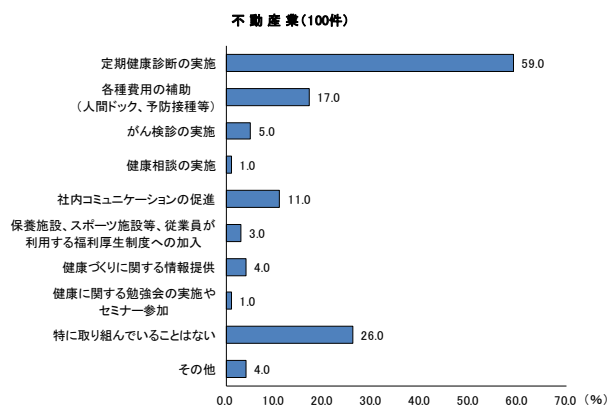
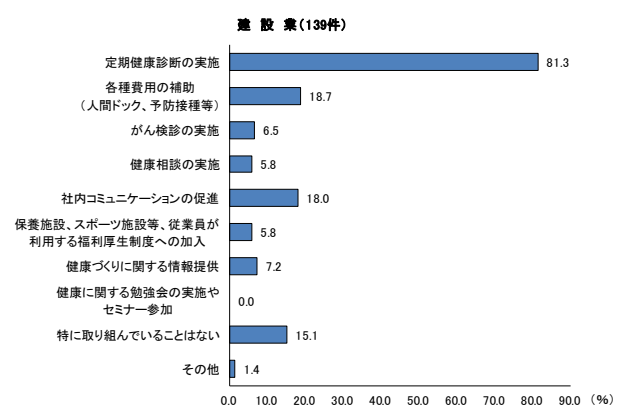
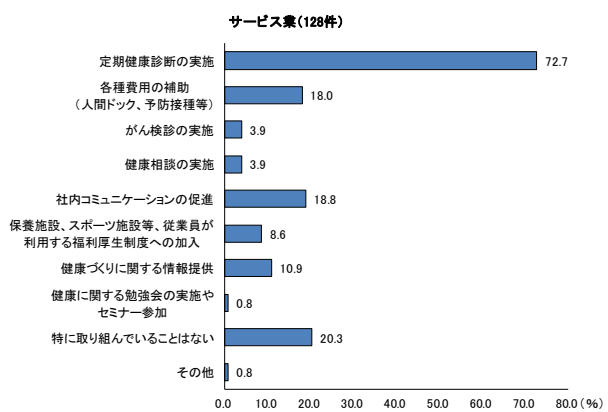
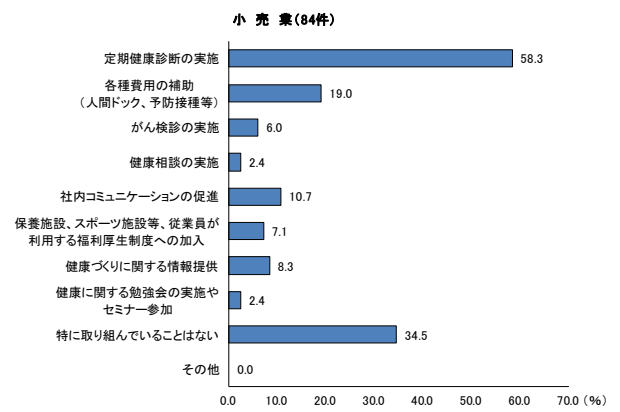
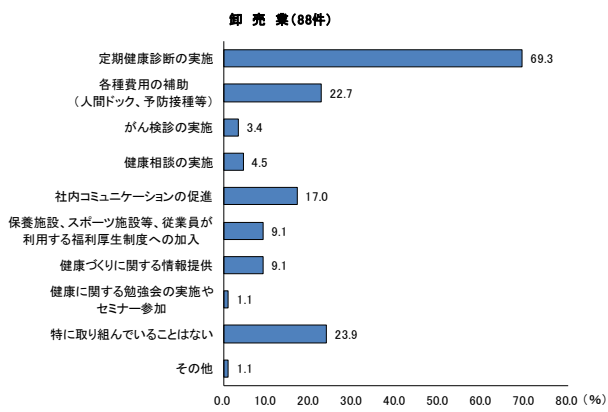
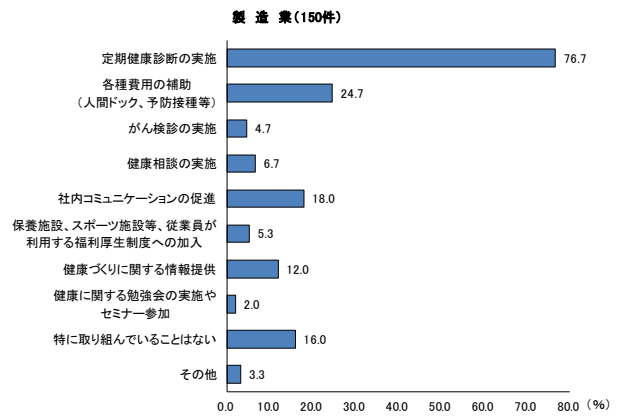
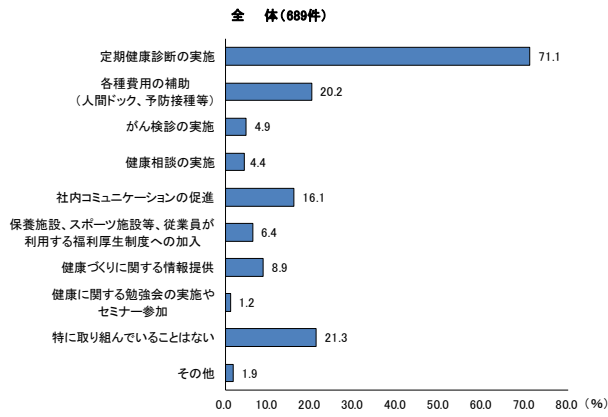
現在取り組んでいるものについては、全体では「定期健康診断の実施」が71.1%で最も高く、次いで「各種費用の補助（人間ドック、予防接種等）」が20.2%、「社内コミュニケーションの促進」が16.1%となった。また「特に取り組んでいることはない」が21.3%となった。

業種別にみると全ての業種で「定期健康診断の実施」が最も高くなっている。また製造業・建設業では「各種費用の補助（人間ドック、予防接種等）」が2番目に高くなっている。



【その他の意見】

- 産業医の定期訪問。（製造業）
- 工場では専門医による指導あり。安全衛生委員会の設置。（製造業）
- 組合よりの薬品配布。（製造業）
- 健康企業宣言取得。（卸売業）
- 産業医によるサポート。（建設業）
- 定時退社を促し、残業させない。（建設業）

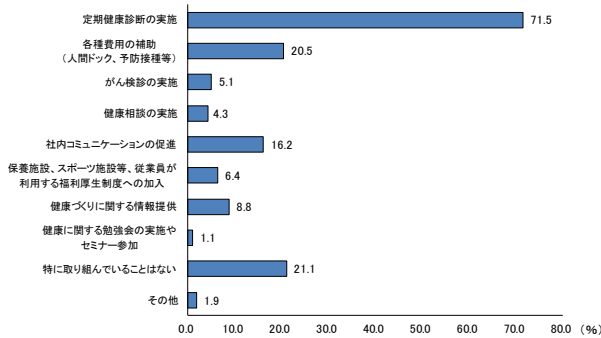


従業員の健康づくりに関して、現在取り組んでいるもの

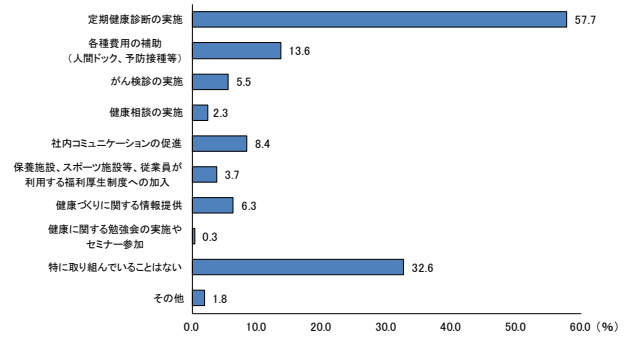
(上段:件、下段:%)

		調査数	定期健康診断の実施	各種費用の補助 (人間ドック、予防接種等)	がん検診の実施	健康相談の実施	社内コミュニケーションの促進	保養施設、スポーツ施設等、従業員が利用する福利厚生制度への加入	健康づくりに関する情報提供	健康に関する勉強会の実施やセミナー参加	特に取り組んでいることはない	その他
合計		702	502	144	36	30	114	45	62	8	148	13
		-	71.5	20.5	5.1	4.3	16.2	6.4	8.8	1.1	21.1	1.9
従業員数	5人未満	383	221	52	21	9	32	14	24	1	125	7
		-	57.7	13.6	5.5	2.3	8.4	3.7	6.3	0.3	32.6	1.8
	5人以上10人未満	119	94	32	7	3	31	6	10	1	15	1
		-	79.0	26.9	5.9	2.5	26.1	5.0	8.4	0.8	12.6	0.8
	10人以上30人未満	120	110	31	5	4	27	13	12	2	6	2
		-	91.7	25.8	4.2	3.3	22.5	10.8	10.0	1.7	5.0	1.7
30人以上100人未満	59	59	20	3	8	20	8	10	3	0	3	
	-	100.0	33.9	5.1	13.6	33.9	13.6	16.9	5.1	0.0	5.1	
100人以上	21	18	9	0	6	4	4	4	6	1	2	0
	-	85.7	42.9	0.0	28.6	19.0	19.0	28.6	4.8	9.5	0.0	

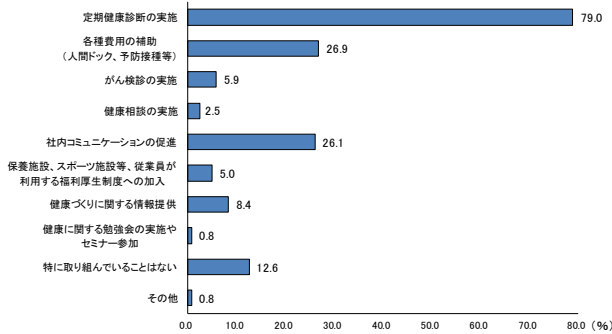
全体(702件)



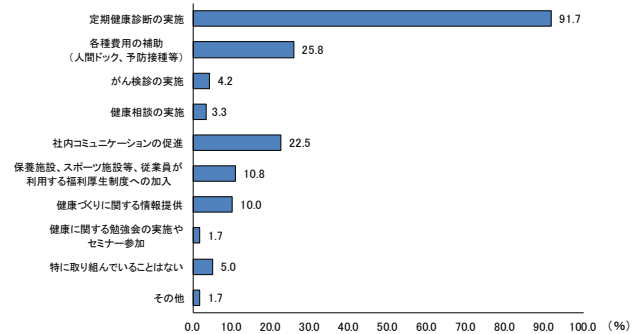
5人未満(383件)



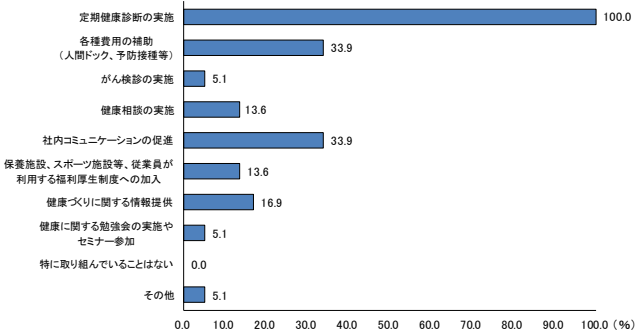
5人以上10人未満(119件)



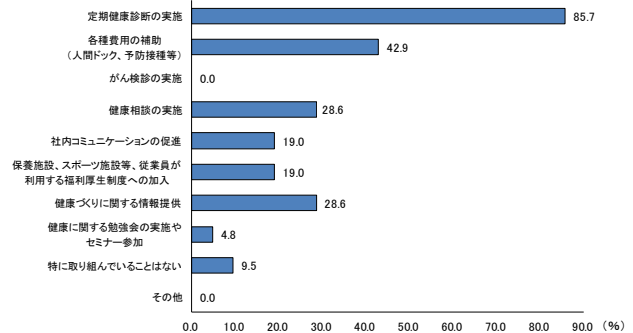
10人以上30人未満(120件)



30人以上100人未満(59件)



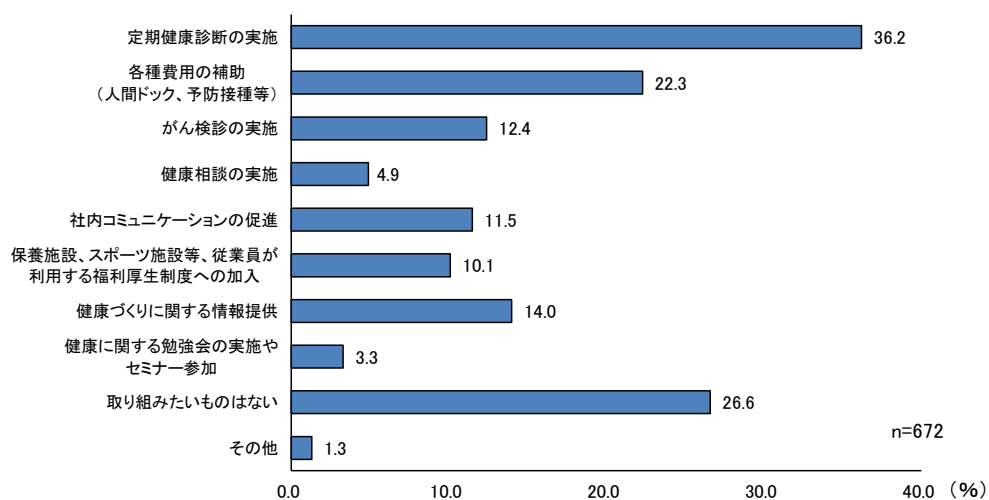
100人以上(21件)



問2. 従業員の健康づくりに関して、今後取り組みたいもの（〇はいくつでも）

今後取り組みたいものについては、全体では「定期健康診断の実施」が36.2%で最も高く、次いで「各種費用の補助（人間ドック、予防接種等）」が22.3%、「健康づくりに関する情報提供」が14.0%となった。また「取り組みたいものはない」が26.6%となった。

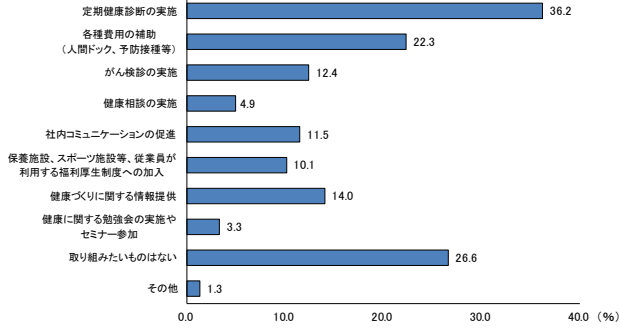
業種別にみると、全ての業種で「定期健康診断の実施」が最も高くなっている。建設業では「各種費用の補助（人間ドック、予防接種等）」が2番目に高くなっている。



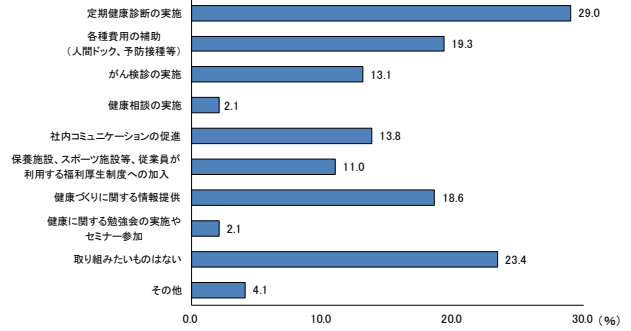
【その他の意見】

- 産業医の定期訪問。（製造業）
- 保養所の設置。（建設業）

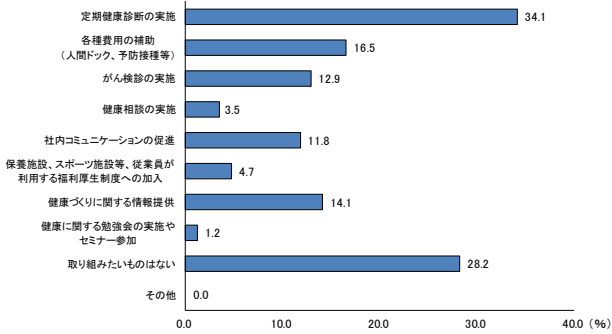
全 体 (672件)



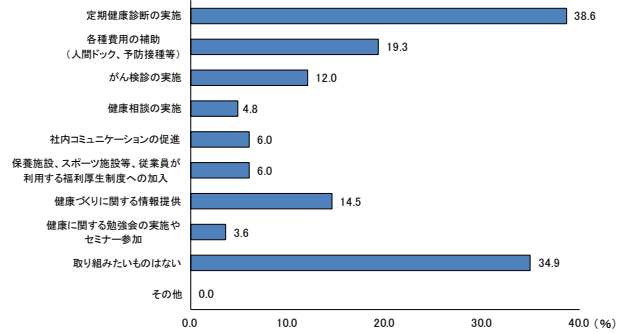
製 造 業 (145件)



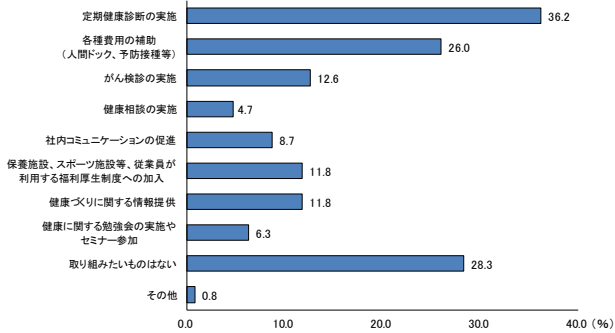
卸 売 業 (85件)



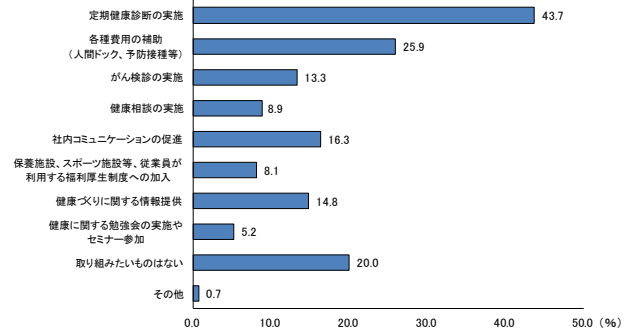
小 売 業 (83件)



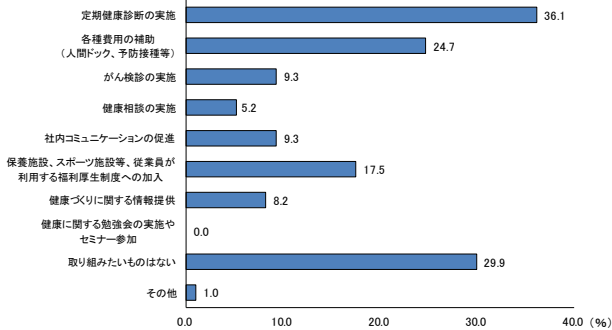
サービスマ (127件)



建 設 業 (135件)



不 動 産 業 (97件)

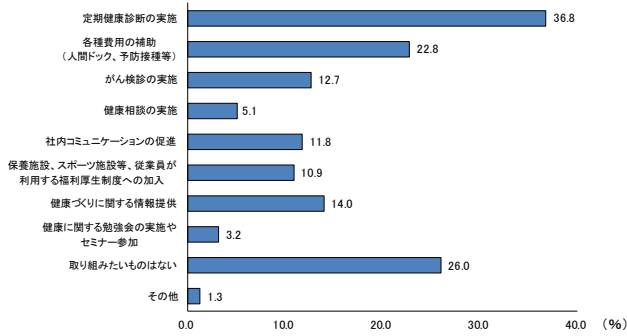


従業員の健康づくりに関して、今後取り組みたいもの

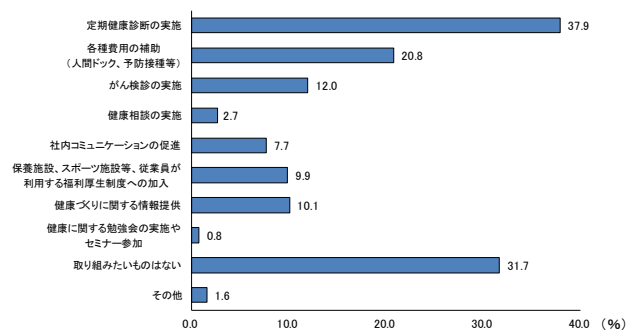
(上段:件、下段:%)

		調査数	定期健康診断の実施	各種費用の補助 (人間ドック、予防接種等)	がん検診の実施	健康相談の実施	社内コミュニケーションの促進	保養施設、スポーツ施設等、従業員が利用する福利厚生制度への加入	健康づくりに関する情報提供	健康に関する勉強会の実施やセミナー参加	取り組みたいものはない	その他
合計		685	252	156	87	35	81	75	96	22	178	9
		-	36.8	22.8	12.7	5.1	11.8	10.9	14.0	3.2	26.0	1.3
従業員数	5人未満	375	142	78	45	10	29	37	38	3	119	6
		-	37.9	20.8	12.0	2.7	7.7	9.9	10.1	0.8	31.7	1.6
	5人以上10人未満	120	45	34	17	7	21	11	24	3	27	1
		-	37.5	28.3	14.2	5.8	17.5	9.2	20.0	2.5	22.5	0.8
	10人以上30人未満	112	43	27	11	10	16	15	16	6	18	0
		-	38.4	24.1	9.8	8.9	14.3	13.4	14.3	5.4	16.1	0.0
30人以上100人未満	58	17	14	9	7	13	11	13	7	8	2	
	-	29.3	24.1	15.5	12.1	22.4	19.0	22.4	12.1	13.8	3.4	
100人以上	20	5	3	5	1	2	1	5	3	6	0	
	-	25.0	15.0	25.0	5.0	10.0	5.0	25.0	15.0	30.0	0.0	

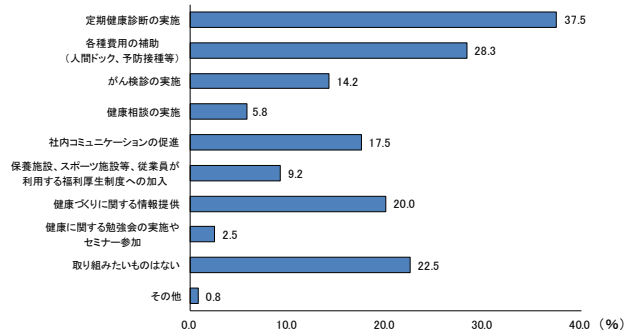
全体(685件)



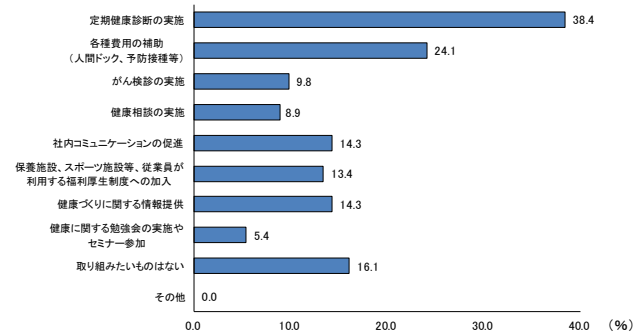
5人未満(375件)



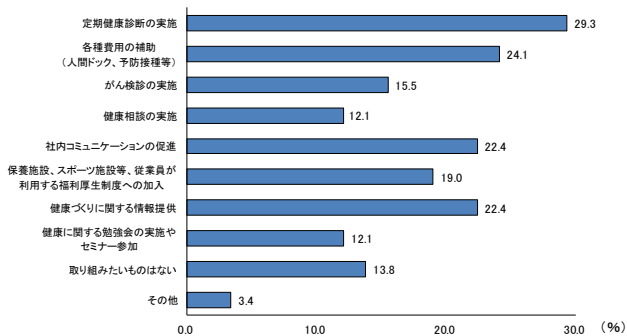
5人以上10人未満(120件)



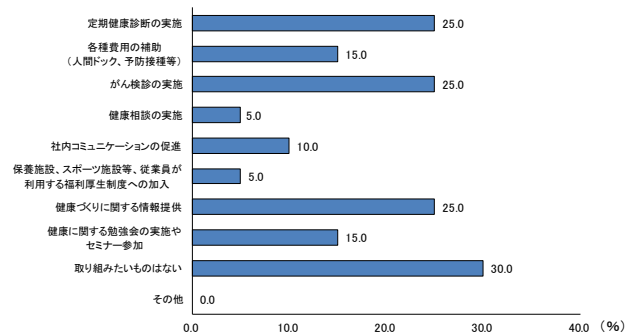
10人以上30人未満(112件)



30人以上100人未満(58件)



100人以上(20件)

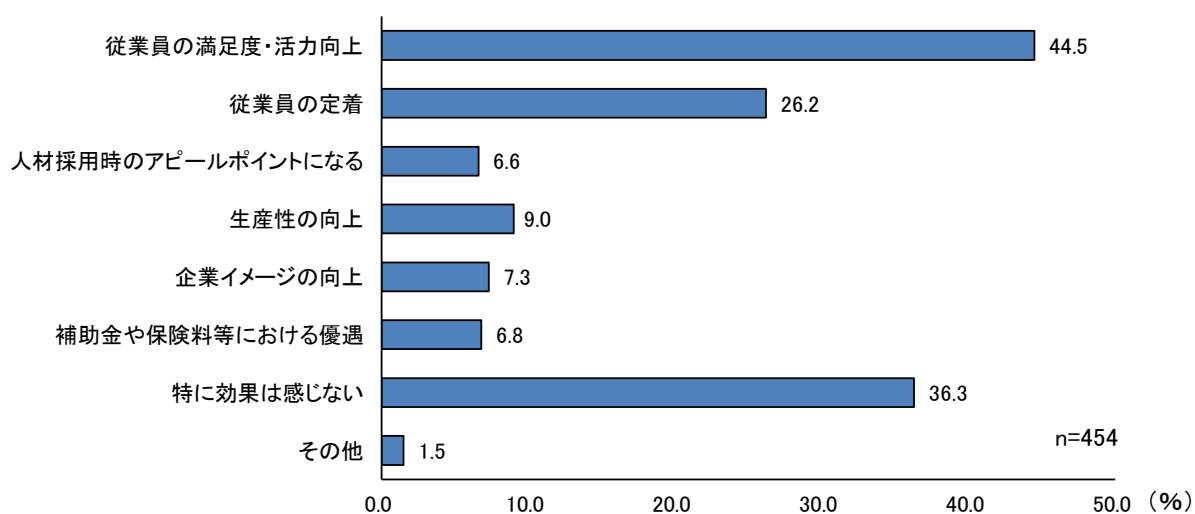


問3. 取組を行っていて感じる効果（〇はいくつでも）

問1『特に取り組んでいることはない』以外を選んだ方

取組から感じる効果については、全体では「従業員の満足度・活力向上」が44.5%と最も高く、次いで「従業員の定着」が26.2%、「生産性の向上」が9.0%となった。また「特に効果は感じない」が36.3%となった。

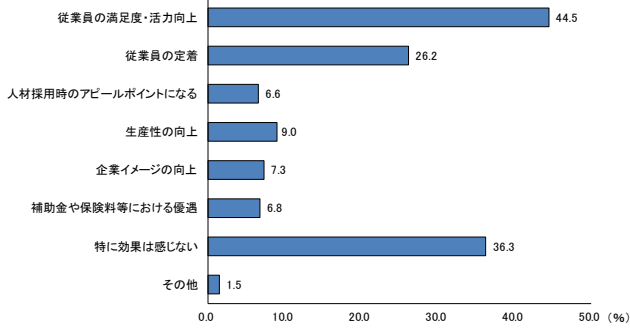
業種別にみると、製造業・卸売業・小売業・建設業で「従業員の満足度・活力向上」が最も高くなっている。



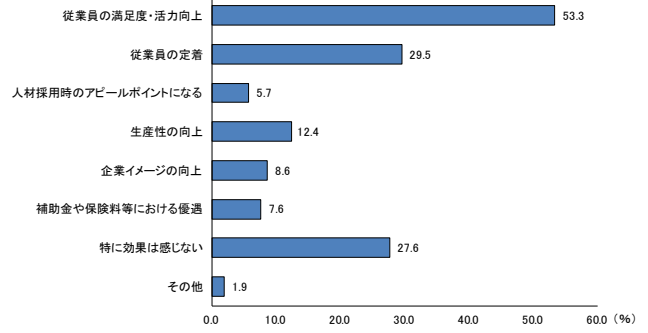
【その他の意見】

- 会社として当たり前的事をしているだけ。（建設業）

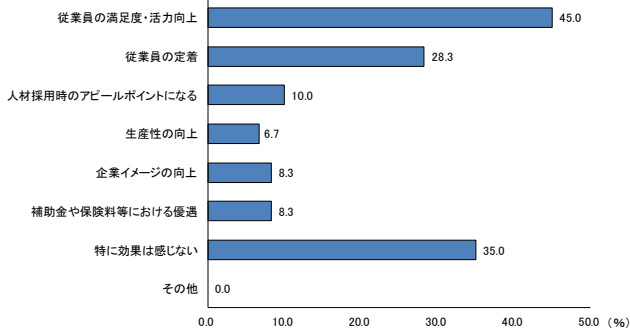
全体(454件)



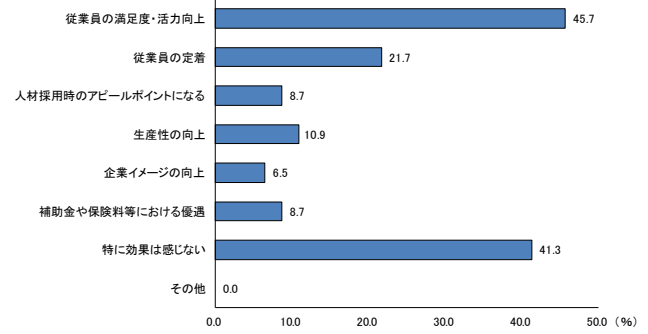
製造業(105件)



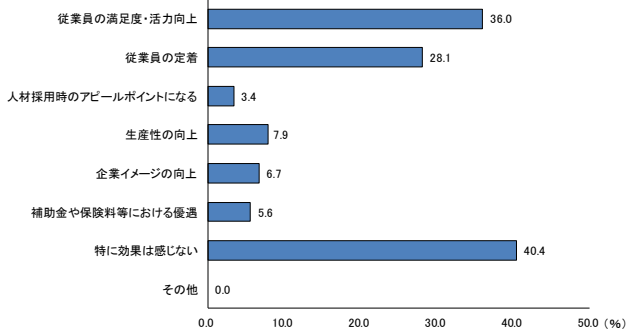
卸売業(60件)



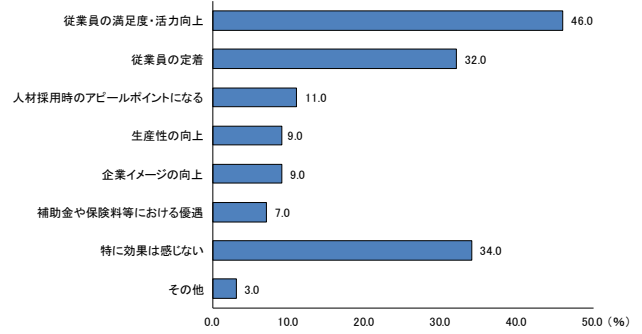
小売業(48件)



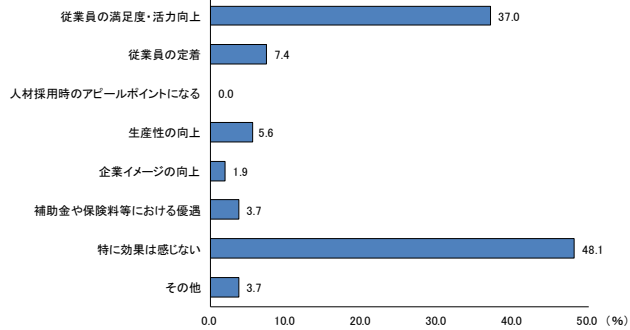
サービス業(88件)



建設業(100件)



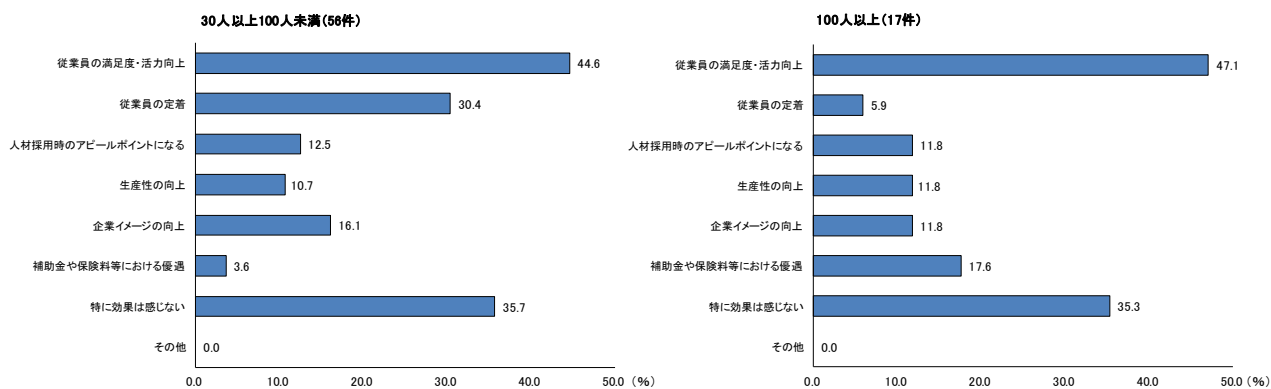
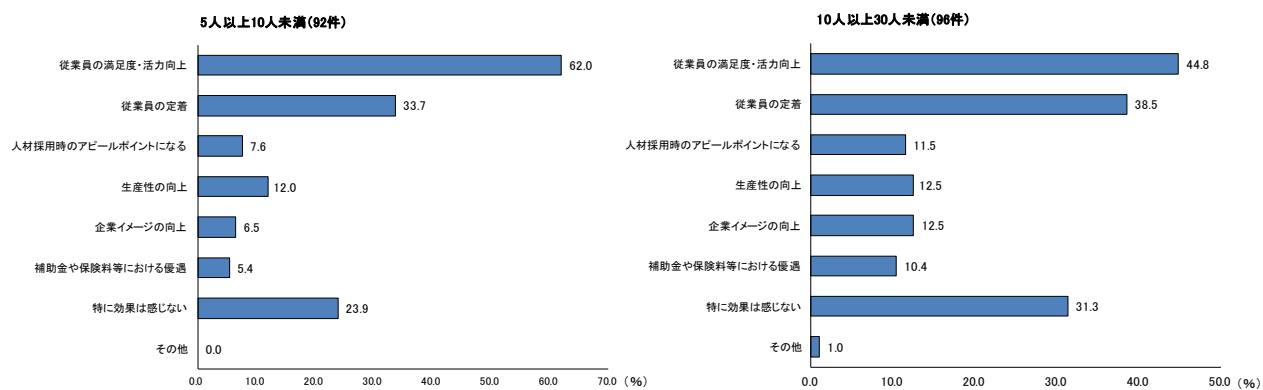
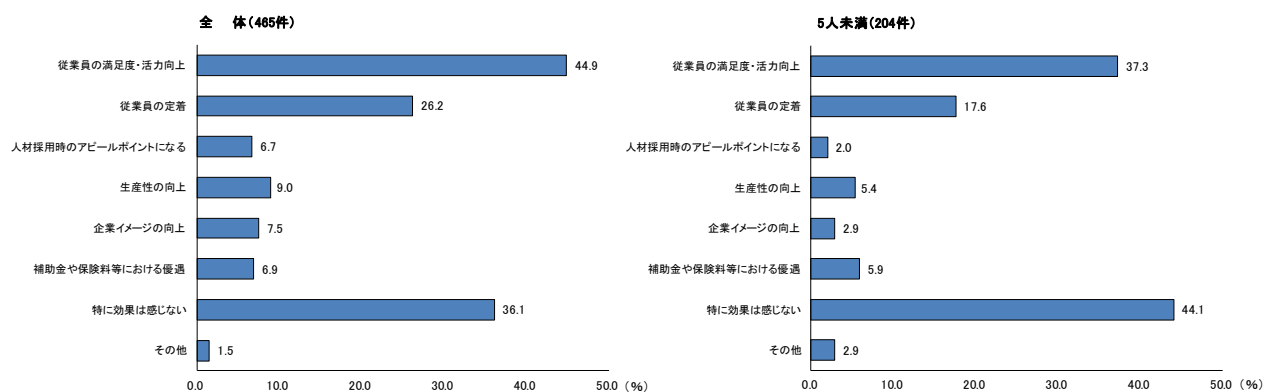
不動産業(54件)



取組を行って感じる効果

(上段:件、下段:%)

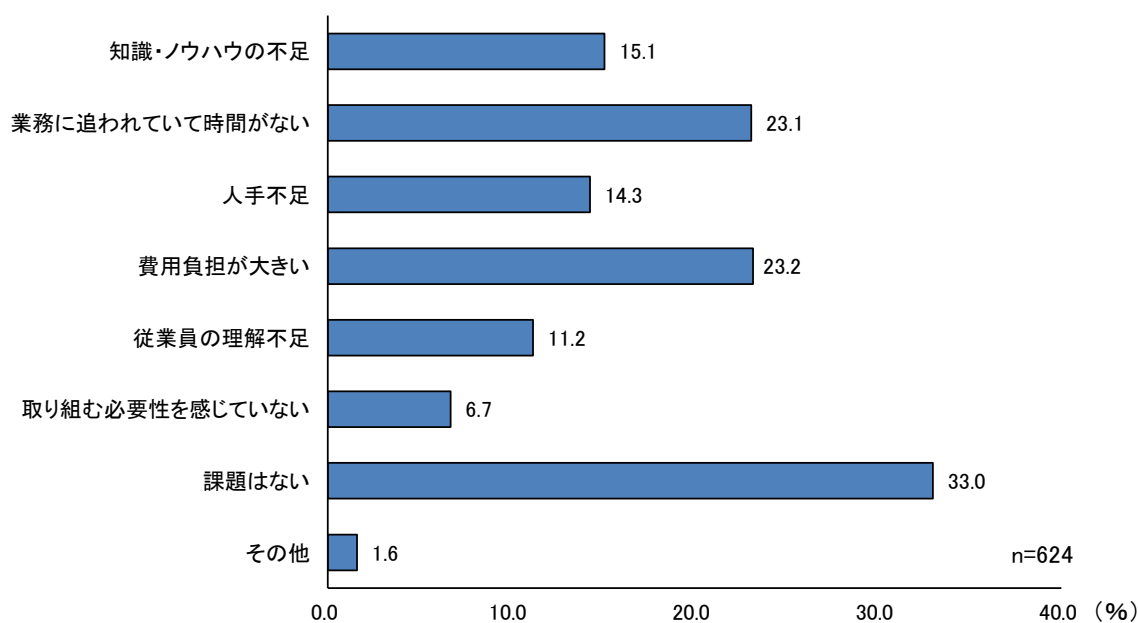
		調査数	従業員の満足度・活力向上	従業員の定着	人材採用時のアピールポイントになる	生産性の向上	企業イメージの向上	補助金や保険料等における優遇	特に効果は感じない	その他
合計		465	209	122	31	42	35	32	168	7
		-	44.9	26.2	6.7	9.0	7.5	6.9	36.1	1.5
従業員数	5人未満	204	76	36	4	11	6	12	90	6
		-	37.3	17.6	2.0	5.4	2.9	5.9	44.1	2.9
	5人以上10人未満	92	57	31	7	11	6	5	22	0
		-	62.0	33.7	7.6	12.0	6.5	5.4	23.9	0.0
	10人以上30人未満	96	43	37	11	12	12	10	30	1
	-	44.8	38.5	11.5	12.5	12.5	10.4	31.3	1.0	
	30人以上100人未満	56	25	17	7	6	9	2	20	0
	-	44.6	30.4	12.5	10.7	16.1	3.6	35.7	0.0	
	100人以上	17	8	1	2	2	2	3	6	0
	-	47.1	5.9	11.8	11.8	11.8	17.6	35.3	0.0	



問 4. 従業員の健康づくりに取り組む上での課題（〇はいくつでも）

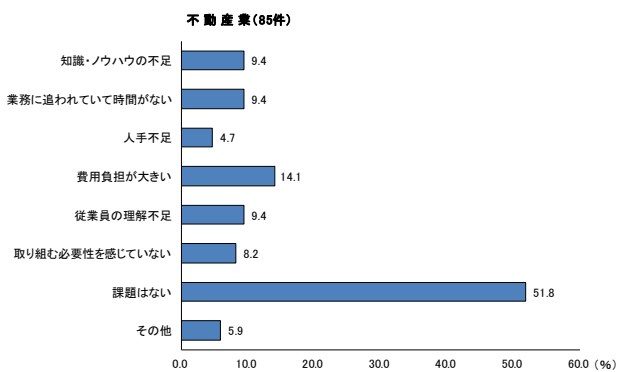
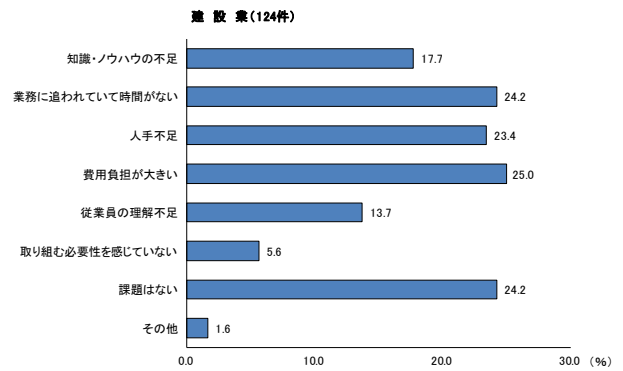
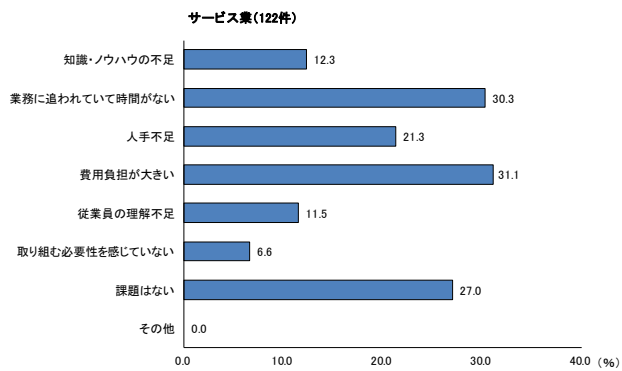
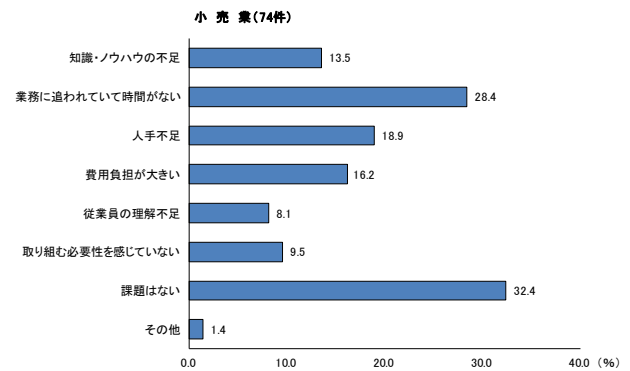
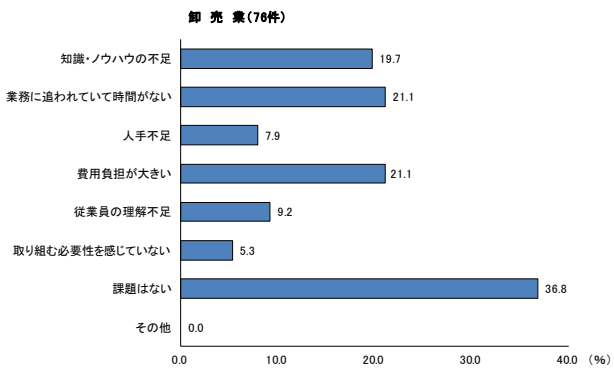
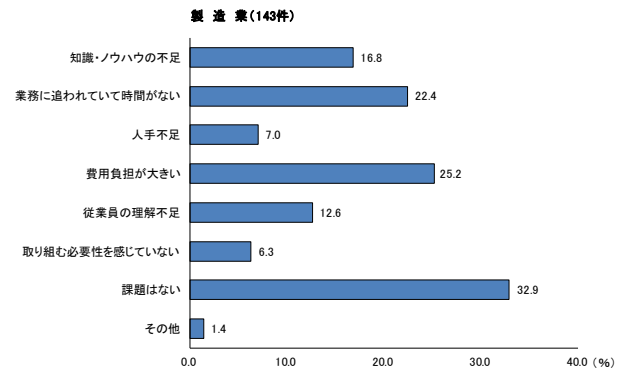
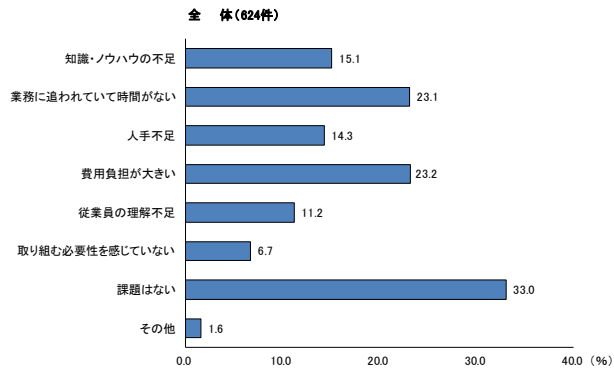
取り組む上での課題については、全体では「費用負担が大きい」が 23.2%と最も高く、次いで「業務に追われて時間がない」が 23.1%、「知識・ノウハウの不足」が 15.1%となった。また「課題はない」が 33.0%となった。

業種別にみると、小売業を除く全ての業種で「費用負担が大きい」が最も高くなっている。



【その他の意見】

- 今まで通り推進していく。(製造業)
- 正しい情報を伝える意義。(不動産業)
- 各自が個別に。(小売業)
- 常勤就労者は1人ゆえ自己判断。(不動産業)
- 税理士の理解が必要。(不動産業)

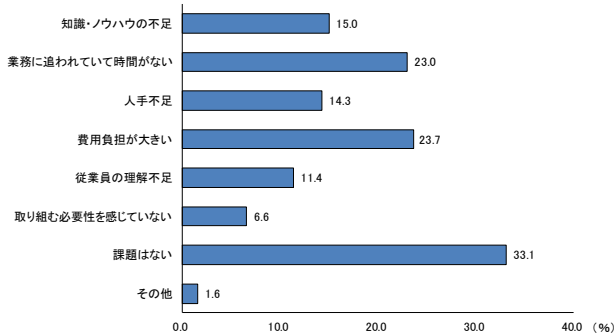


従業員の健康づくりに取り組む上での課題

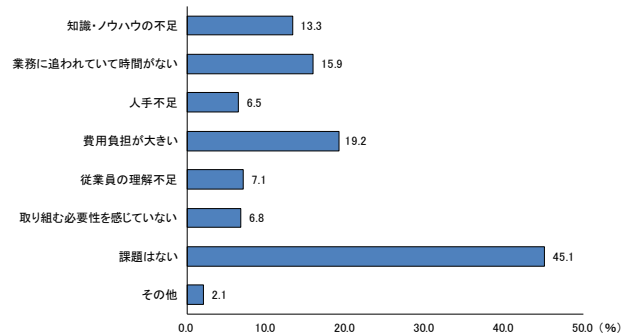
(上段:件、下段:%)

		調査数	知識・ノウハウの不足	業務に追われていて時間がない	人手不足	費用負担が大きい	従業員の理解不足	取り組む必要性を感じていない	課題はない	その他
合計		638	96	147	91	151	73	42	211	10
		-	15.0	23.0	14.3	23.7	11.4	6.6	33.1	1.6
従業員数	5人未満	339	45	54	22	65	24	23	153	7
		-	13.3	15.9	6.5	19.2	7.1	6.8	45.1	2.1
	5人以上10人未満	113	19	39	18	28	13	6	29	1
		-	16.8	34.5	15.9	24.8	11.5	5.3	25.7	0.9
	10人以上30人未満	109	17	24	25	39	20	7	21	1
		-	15.6	22.0	22.9	35.8	18.3	6.4	19.3	0.9
30人以上100人未満	57	13	21	21	14	14	4	5	1	
	-	22.8	36.8	36.8	24.6	24.6	7.0	8.8	1.8	
100人以上	20	2	9	5	5	2	2	3	0	
	-	10.0	45.0	25.0	25.0	10.0	10.0	15.0	0.0	

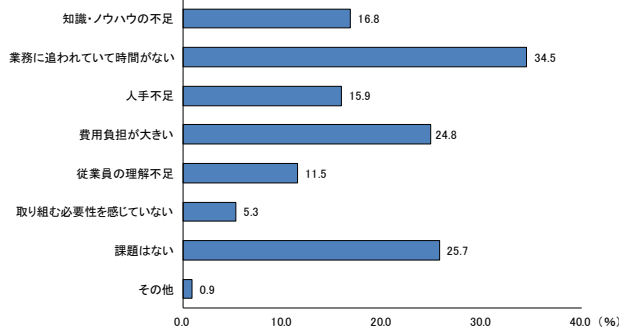
全体(638件)



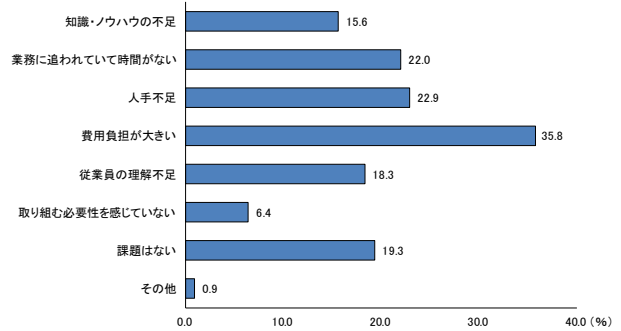
5人未満(339件)



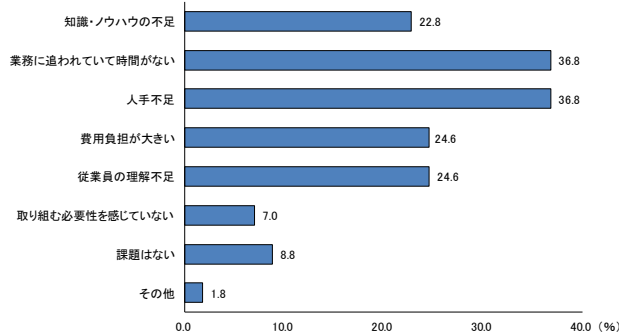
5人以上10人未満(113件)



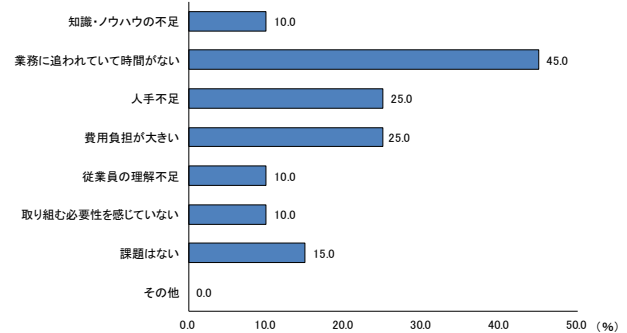
10人以上30人未満(109件)



30人以上100人未満(57件)



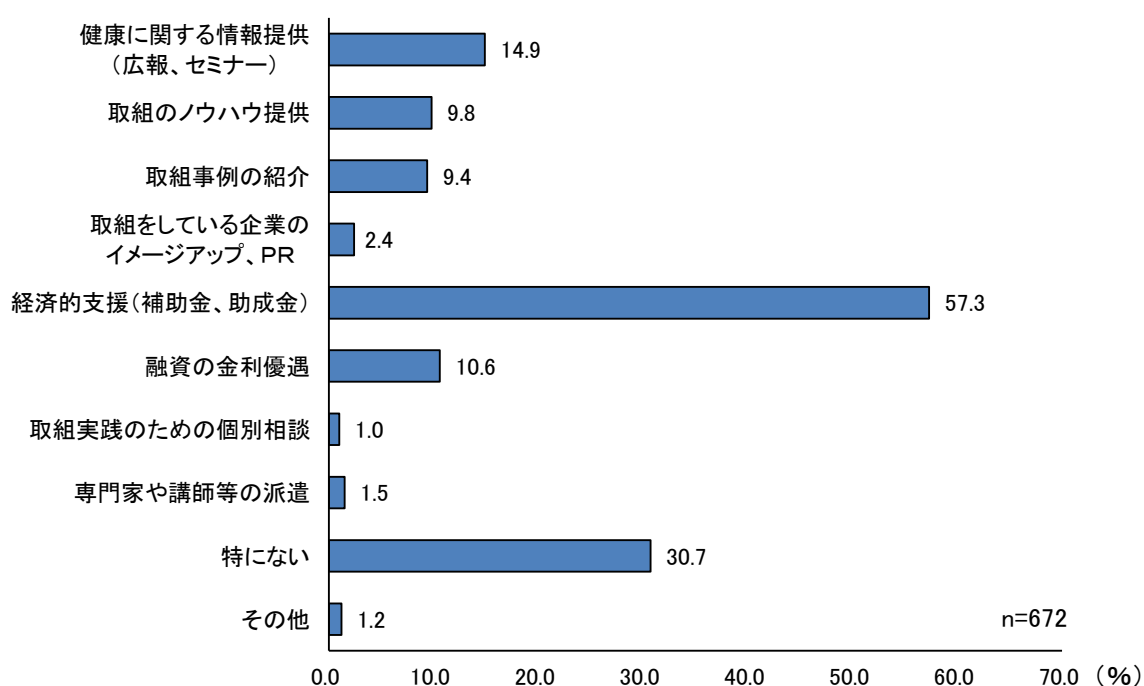
100人以上(20件)



問5. 従業員の健康づくりに取り組む上で、行政に期待する支援（〇はいくつでも）

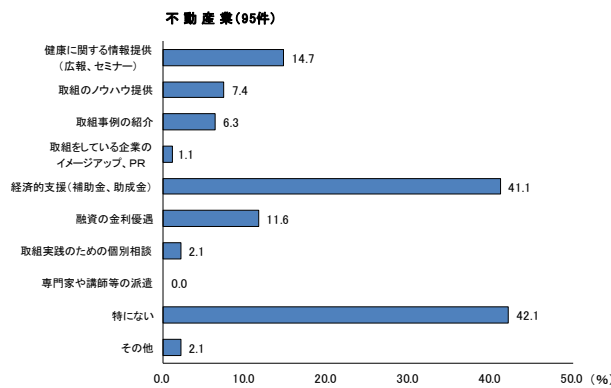
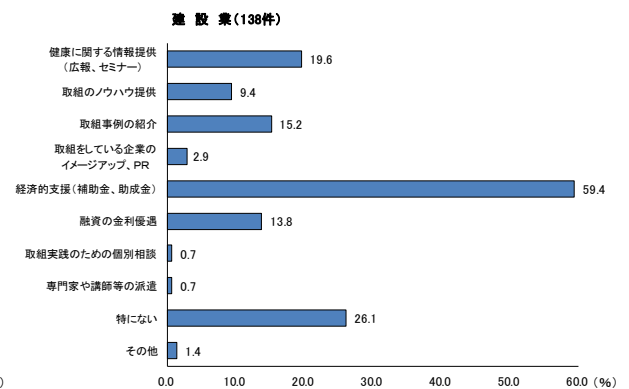
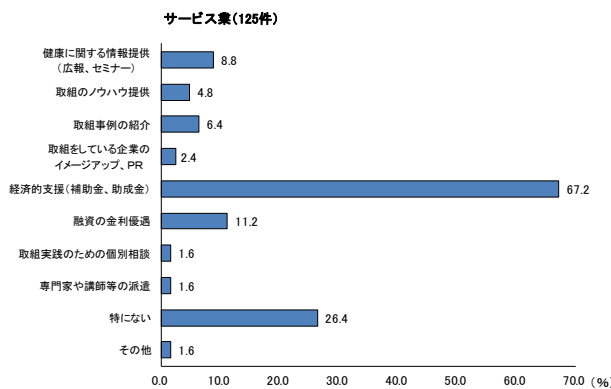
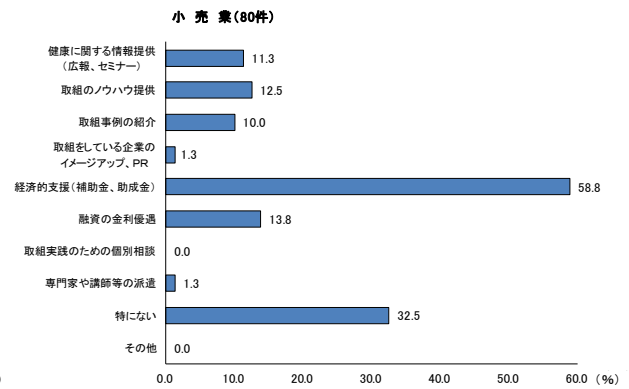
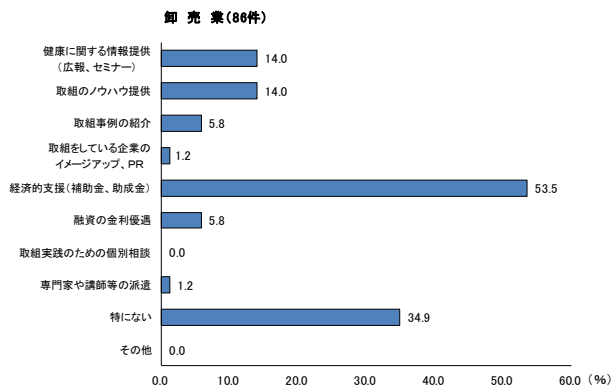
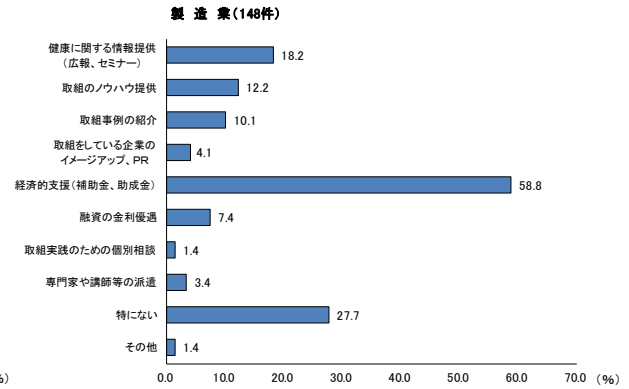
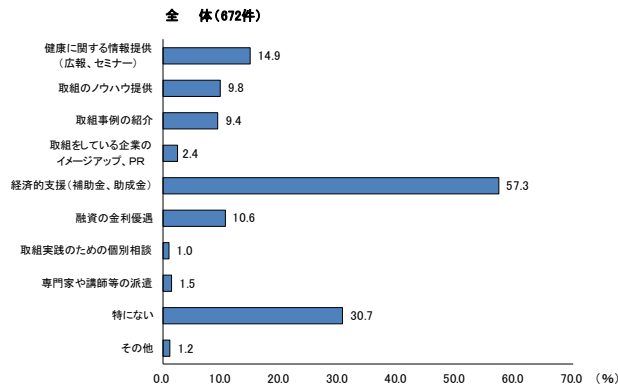
行政に期待する支援については、全体では「経済的支援（補助金、助成金）」が57.3%で最も高く、次いで「健康に関する情報提供（広報、セミナー）」が14.9%、「融資の金利優遇」が10.6%となった。また「特にない」が30.7%となった。

業種別にみると、全ての業種で「経済的支援（補助金、助成金）」が最も高くなっており、不動産業を除く全ての業種で5割を超えており、不動産業でも4割を超えている。



【その他の意見】

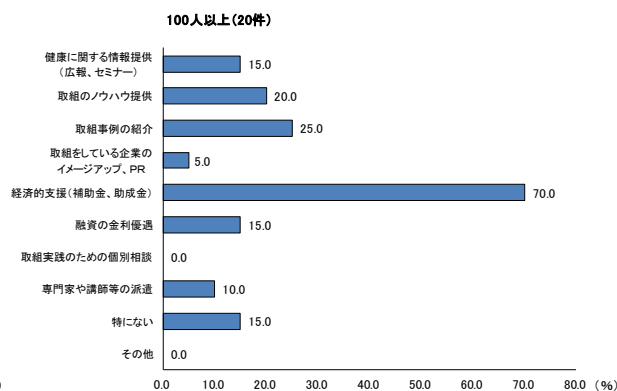
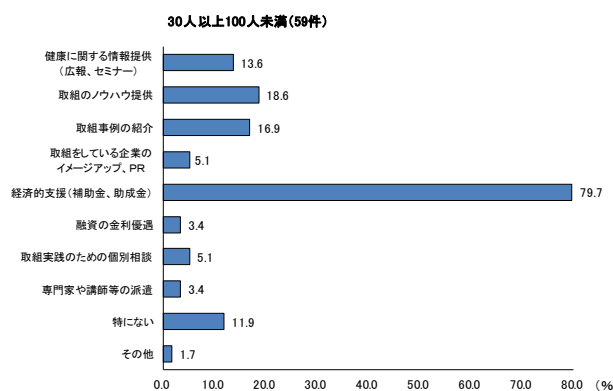
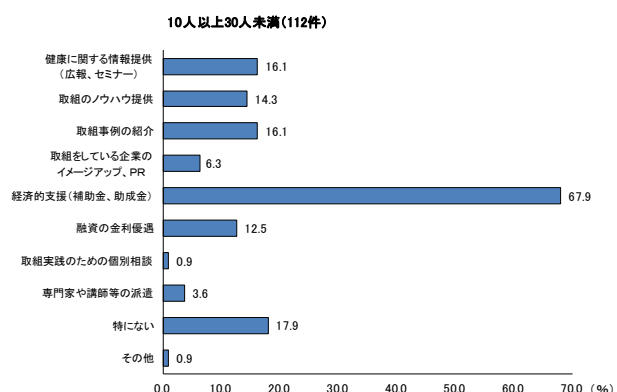
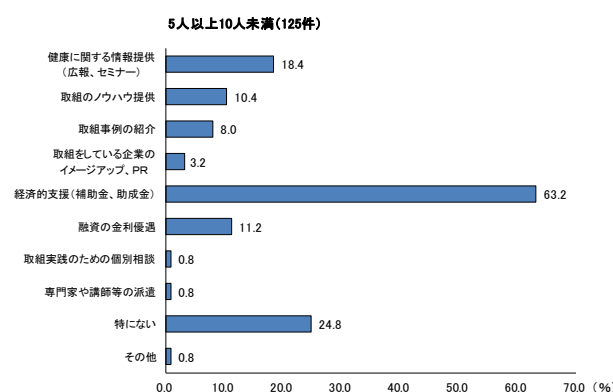
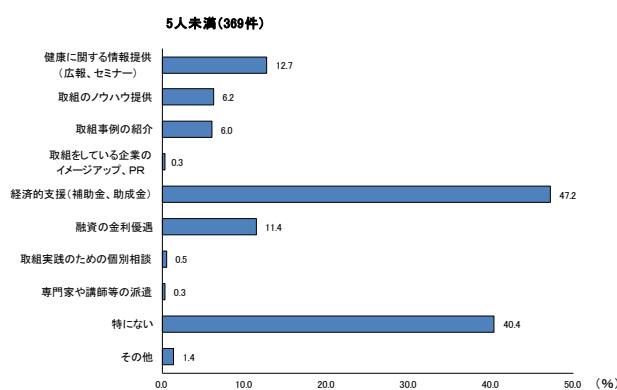
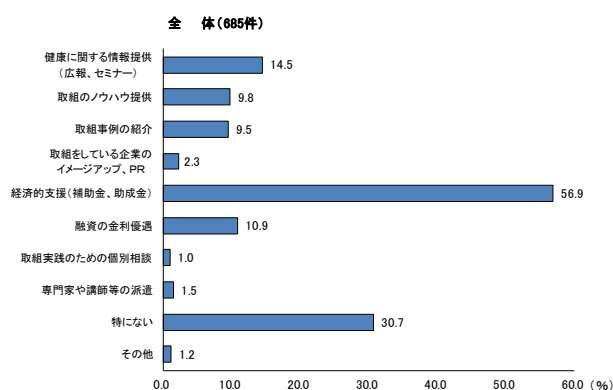
- 支援金の支給が一番助かります。（サービス業）
- スポーツイベントの開催。（サービス業）
- 自由参加。（製造業）
- 正しい情報を伝える義務。（不動産業）
- 休んでもお金が出るなら良い。（建設業）



従業員の健康づくりに取り組む上で、行政に期待する支援

(上段:件、下段:%)

	調査数	健康に関する情報提供(広報、セミナー)	取組のノウハウ提供	取組事例の紹介	取組をしている企業のイメージアップ、PR	経済的支援(補助金、助成金)	融資の金利優遇	取組実践のための個別相談	専門家や講師等の派遣	特にない	その他	
合計	685	99 14.5	67 9.8	65 9.5	16 2.3	390 56.9	75 10.9	7 1.0	10 1.5	210 30.7	8 1.2	
従業員数	5人未満	369	47 12.7	23 6.2	22 6.0	1 0.3	174 47.2	42 11.4	2 0.5	1 0.3	149 40.4	5 1.4
	5人以上10人未満	125	23 18.4	13 10.4	10 8.0	4 3.2	79 63.2	14 11.2	1 0.8	1 0.8	31 24.8	1 0.8
	10人以上30人未満	112	18 16.1	16 14.3	18 16.1	7 6.3	76 67.9	14 12.5	1 0.9	4 3.6	20 17.9	1 0.9
	30人以上100人未満	59	8 13.6	11 18.6	10 16.9	3 5.1	47 79.7	2 3.4	3 5.1	2 3.4	7 11.9	1 1.7
	100人以上	20	3 15.0	4 20.0	5 25.0	1 5.0	14 70.0	3 15.0	0 0.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0



中小企業景況調査 転記表

製造業
地域名:葛飾区
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和6年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		対前期 比	R6 4～6月期 (予測)
業況	良い	13.5	5.2	14.6	8.6	16.4	9.3	13.7	5.6	13.7	9.8	10.3	5.8	14.3	3.8		8.2
	普通	38.1	34.5	48.3	39.5	40.4	43.6	42.9	52.0	42.9	46.6	44.2	48.4	34.8	50.0		41.8
	悪い	48.4	60.3	37.1	52.0	43.2	47.1	43.5	42.4	43.5	43.6	45.5	45.8	50.9	46.3		50.0
	D・I	-34.9	-55.1	-22.5	-43.4	-26.8	-37.8	-29.8	-36.8	-29.8	-33.8	-35.2	-40.0	-36.6	-42.5	-1.4	-41.8
売上額	増加	16.1	4.3	26.1	11.7	16.6	9.7	21.6	12.4	15.5	16.8	21.2	8.8	16.0	9.8		9.9
	変わらず	41.3	43.5	38.9	43.5	37.0	47.4	37.1	40.7	41.6	44.9	39.4	51.6	34.4	48.5		43.8
	減少	42.6	52.2	35.0	44.8	46.4	42.9	41.3	46.9	42.9	38.3	39.4	39.6	49.7	41.7		46.3
	D・I	-26.5	-47.9	-8.9	-33.1	-29.8	-33.2	-19.7	-34.5	-27.4	-21.5	-18.2	-30.8	-33.7	-31.9	-15.5	-36.4
受注残	増加	12.1	7.1	20.7	12.2	14.0	11.6	14.0	7.3	11.4	11.6	13.0	8.4	15.0	8.8		8.8
	変わらず	44.3	45.5	46.6	47.6	45.5	52.9	45.1	45.8	47.5	45.1	42.2	52.3	43.1	50.9		50.9
	減少	43.6	47.3	32.8	40.1	40.4	35.5	40.9	46.9	41.1	43.3	44.7	39.4	41.9	40.3		40.3
	D・I	-31.5	-40.2	-12.1	-27.9	-26.4	-23.9	-26.9	-39.6	-29.7	-31.7	-31.7	-31.0	-26.9	-31.5	4.8	-31.5
収益	増加	11.3	4.4	18.9	11.3	11.1	8.1	13.4	8.9	13.2	9.2	18.5	10.3	15.6	8.2		8.2
	変わらず	40.4	42.1	36.6	44.0	36.1	44.2	40.9	40.8	40.9	44.8	37.7	39.7	36.9	41.8		48.4
	減少	48.3	53.5	44.6	44.7	52.8	47.7	45.7	50.3	45.9	46.0	43.8	50.0	47.5	50.0		43.4
	D・I	-37.0	-49.1	-25.7	-33.4	-41.7	-39.6	-32.3	-41.4	-32.7	-36.8	-25.3	-39.7	-31.9	-41.8	-6.6	-35.2
販売価格	上昇	29.3	21.2	29.9	25.5	24.7	20.9	28.0	21.9	19.5	16.7	20.4	17.3	13.9	15.5		12.1
	変わらず	58.0	58.4	62.1	62.4	61.8	68.0	59.1	62.9	72.3	67.9	68.5	73.7	75.3	70.2		75.8
	下降	12.7	20.4	8.0	12.1	13.5	11.0	12.8	15.2	8.2	15.4	11.1	9.0	10.8	14.3		12.1
	D・I	16.6	0.8	21.9	13.4	11.2	9.9	15.2	6.7	11.3	1.3	9.3	8.3	3.1	1.2	-6.2	0.0
価格	上昇	87.6	76.7	80.0	79.3	78.4	69.5	65.0	69.1	58.0	51.3	53.4	58.7	44.1	50.0		41.8
	変わらず	8.3	14.6	15.3	18.6	17.0	25.7	31.9	26.9	38.2	45.6	44.7	36.8	53.4	48.1		55.7
	下降	4.1	8.7	4.7	2.1	4.5	4.8	3.1	4.0	3.8	3.1	1.9	4.5	2.5	1.9		2.5
	D・I	83.5	68.0	75.3	77.2	73.9	64.7	61.9	65.1	54.2	48.2	51.5	54.2	41.6	48.1	-9.9	39.3
在庫	過剰	15.9	13.2	17.2	13.1	19.9	13.8	15.1	15.2	15.1	13.5	10.1	13.9	14.6	8.4		10.2
	適正	73.8	66.0	71.6	73.1	71.9	74.9	79.2	74.3	77.4	80.8	83.5	79.7	77.2	86.4		82.2
	不足	10.3	20.8	11.2	13.8	8.2	11.4	5.7	10.5	7.5	5.8	6.3	6.3	8.2	5.2		7.6
	D・I	5.6	-7.6	6.0	-0.7	11.7	2.4	9.4	4.7	7.6	7.7	3.8	7.6	6.4	3.2	2.6	2.6
資金繰り	楽	7.3	2.7	3.4	5.3	4.9	3.4	6.0	5.0	7.5	6.7	7.9	5.6	7.4	6.2		5.6
	変わらず	57.0	54.5	68.4	52.3	63.7	62.1	69.6	58.7	69.6	63.4	64.2	68.3	71.2	63.4		67.3
	苦しい	35.8	42.7	28.2	42.4	31.3	34.5	24.4	36.3	23.0	29.9	27.9	26.1	21.5	30.4		27.2
	D・I	-28.5	-40.0	-24.8	-37.1	-26.4	-31.1	-18.4	-31.3	-15.5	-23.2	-20.0	-20.5	-14.1	-24.2	5.9	-21.6
同前年 比	売上額	-6.5		1.3		-4.3		-18.4		-16.7		-19.6		-26.5			
	収益	-29.5		-25.3		-28.4		-25.9		-28.0		-28.8		-30.5			
雇用	前年比残業時間	-14.8	-28.0	-4.6	-14.9	-7.8	-11.0	-12.1	-14.3	-13.4	-16.3	-10.7	-14.0	-13.6	-14.6		-11.8
	人手	-23.0	-11.2	-22.6	-25.0	-26.6	-26.7	-24.5	-25.4	-21.5	-23.5	-22.5	-22.2	-19.8	-24.6		-23.0
借入金	借入をした(%)	45.5	11.7	47.4	23.7	44.4	22.7	38.6	16.4	35.8	16.8	33.5	14.4	25.2	13.8		13.9
	借入をしない(%)	54.5	88.3	52.6	76.3	55.6	77.3	61.4	83.6	64.2	83.2	66.5	85.6	74.8	86.2		86.1
	借入難易度	2.8		-1.2		2.9		9.1		1.3		4.4		5.8			
有効回答事業所数	155		180		183		168		162		165		164				

製造業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 7～9月期	R4 10～12月期	R5 1～3月期	R5 4～6月期	R5 7～9月期	R5 10～12月期	R6 1～3月期	対前期 比	4～6月 期 (予測)							
設備	現在の設備	-19.3	-16.4	-13.9	-17.5	-7.4	-14.6	-8.6	-11.7	-10.1	-9.9	-10.1	-10.2	-3.2	-12.7		-5.7
投資	実施した	46.7	38.1	43.0	48.9	43.4	50.9	43.8	54.3	42.9	42.3	54.8	42.3	47.7	53.3		40.4
動向	事業用地・建物	6.7	4.8	6.5	7.6	5.7	6.4	1.9	5.7	7.1	6.7	6.7	7.2	6.5	10.5		6.1
(%)	機械・設備の新・増設	22.2	11.1	18.7	21.7	18.9	27.3	20.0	15.2	14.3	12.5	21.2	18.9	18.7	19.0		20.2
	機械・設備の更改	17.8	19.0	20.6	21.7	17.0	25.5	22.9	28.6	22.3	23.1	18.3	21.6	12.1	21.9		18.2
	事務機器	17.8	17.5	18.7	13.0	18.9	11.8	12.4	16.2	8.0	10.6	16.3	9.0	20.6	11.4		10.1
	車両	6.7	11.1	8.4	10.9	12.3	10.0	13.3	21.9	14.3	13.5	12.5	8.1	15.0	20.0		8.1
	その他	1.1	0.0	0.9	3.3	1.9	0.0	1.9	1.9	3.6	2.9	3.8	3.6	5.6	2.9		4.0
	実施しない	53.3	61.9	57.0	51.1	56.6	49.1	56.2	45.7	57.1	57.7	45.2	57.7	52.3	46.7		59.6
経営上の問題点	売上の停滞・減少	46.9		39.8		42.3		47.8		51.9		47.5		51.0			
(%)	人手不足	21.1		25.3		21.7		25.5		22.5		21.9		23.2			
	大手企業・大型店との競争の激化	0.0		0.6		0.6		3.1		0.6		1.3		2.6			
	同業者間の競争の激化	6.1		5.4		5.7		6.2		3.8		5.0		7.7			
	流通経路の変化による競争の激化	0.0		0.6		0.0		0.6		1.3		0.0		1.3			
	合理化の不足	2.0		2.4		1.1		3.1		1.9		2.5		4.5			
	利幅の縮小	23.8		20.5		17.7		14.9		21.3		21.3		23.9			
	小口注文・多頻度配送の増加	3.4		6.0		2.9		4.3		3.1		1.9		1.9			
	販売商品の不足	1.4		3.0		0.0		1.2		0.0		0.6		0.0			
	原材料価格・材料価格の上昇	70.1		65.7		64.0		56.5		48.1		46.9		49.0			
	販売納入先からの値下げ要請	0.7		1.2		2.3		1.2		3.1		1.3		0.6			
	仕入先からの値上げ要請	19.0		16.3		24.0		14.3		11.9		10.6		8.4			
	人件費の増加	10.9		13.9		13.1		13.0		23.1		21.3		25.2			
	人件費以外の経費増加	10.2		10.8		17.7		15.5		11.9		12.5		8.4			
	工場・店舗の狭小・老朽化	8.2		8.4		6.9		9.9		10.6		13.8		11.6			
	生産能力・技術力の不足	3.4		9.0		8.6		10.6		4.4		10.6		11.6			
	取引先の減少	12.9		12.7		14.3		14.9		14.4		14.4		14.8			
	商店街の集客力の低下	0.0		0.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	下請の確保難	8.8		7.2		8.6		9.9		8.8		8.8		7.7			
	駐車場・資材置場の確保難	0.7		0.6		1.7		2.5		0.6		1.3		0.6			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.4		0.6		1.1		0.0		0.6		1.3		1.3			
	その他	2.7		4.8		2.9		1.2		2.5		1.9		2.6			
	問題なし	1.4		2.4		0.6		3.1		6.3		3.8		3.9			
重点経営施策	販路を広げる	36.1		34.9		37.5		37.7		31.8		38.1		34.4			
(%)	経費を節減する	41.7		37.3		40.9		33.3		35.7		34.2		34.4			
	品揃えを充実させる	1.4		1.8		1.7		0.6		0.0		1.3		3.2			
	情報力・宣伝・広報を強化する	9.7		11.8		8.0		7.5		6.5		7.1		5.2			
	新製品・技術を開発する	14.6		18.3		16.5		16.4		18.8		12.3		15.6			
	新しい工法を導入する	0.7		1.2		1.1		5.0		4.5		5.8		4.5			
	新しい事業を始める	7.6		5.9		8.0		5.0		3.9		7.1		6.5			
	不採算部門を整理・縮小する	3.5		4.7		6.8		5.0		3.9		5.8		4.5			
	店舗・設備を改装する	0.7		1.8		1.1		1.3		1.9		2.6		0.6			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	20.8		15.4		13.6		13.2		13.0		11.6		14.3			
	営業時間を延長する	0.0		1.2		0.0		0.6		1.9		0.6		1.3			
	売れ筋商品を取扱う	0.7		1.8		1.1		1.9		2.6		3.2		1.9			
	商店街事業を活性化させる	0.0		0.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	機械化を推進する	6.3		8.9		8.5		3.8		5.8		9.0		11.0			
	技術力を強化する	20.1		17.2		19.9		24.5		22.7		22.6		20.1			
	人材を確保する	23.6		29.0		26.1		30.8		28.6		24.5		31.8			
	パート化を図る	2.8		2.4		2.8		1.3		2.6		2.6		1.9			
	教育訓練を強化する	4.2		4.1		3.4		3.1		3.2		3.9		5.2			
	労働条件を改善する	3.5		4.1		5.1		7.5		3.2		3.2		7.8			
	工場・機械を増設・移転する	5.6		7.1		4.5		3.8		5.2		4.5		4.5			
	流通経路の見直しをする	2.1		1.2		1.1		0.0		2.6		0.6		1.3			
	取引先を支援する	0.7		0.6		1.1		1.9		1.3		0.6		1.9			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.6		0.0		1.3		1.3		0.6		0.6			
	不動産の有効活用を図る	2.1		3.6		3.4		3.1		1.9		1.3		1.9			
	その他	1.4		3.0		0.6		0.0		1.3		0.0		0.6			
	特になし	11.1		8.3		9.7		12.6		16.9		11.6		11.7			
有効回答事業所数		155		180		183		168		162		165		164			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和6年1月～3月期

卸売業
地域名: 葛飾区
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		対前期 比	R6 4～6月期 (予測)
業況	良い	10.0	9.1	12.8	5.1	14.4	4.4	11.0	9.8	13.0	7.1	9.6	9.9	10.2	5.6		8.6
	普通	37.5	34.1	38.3	34.6	37.5	37.4	43.8	44.1	39.0	51.4	45.2	40.8	43.9	50.0		50.5
	悪い	52.5	56.8	48.9	60.3	48.1	58.2	45.2	46.1	48.1	41.4	45.2	49.3	45.9	44.4		40.9
	D・I	-42.5	-47.7	-36.1	-55.2	-33.7	-53.8	-34.2	-36.3	-35.1	-34.3	-35.6	-39.4	-35.7	-38.8	-0.1	-32.3
売上額	増加	20.0	17.8	24.2	7.6	20.2	7.6	15.1	10.7	24.7	11.3	20.5	12.2	13.4	11.1		8.5
	変わらず	30.0	31.1	30.5	38.0	30.8	41.3	41.1	43.7	37.7	47.9	38.4	48.6	36.1	43.1		51.1
	減少	50.0	51.1	45.3	54.4	49.0	51.1	43.8	45.6	37.7	40.8	41.1	39.2	50.5	45.8		40.4
	D・I	-30.0	-33.3	-21.1	-46.8	-28.8	-43.5	-28.7	-34.9	-13.0	-21.5	-20.6	-27.0	-37.1	-34.7	-16.5	-31.9
収益	増加	16.9	11.4	17.0	3.9	17.0	6.6	13.9	8.0	21.1	15.5	22.2	9.6	14.4	8.3		5.4
	変わらず	31.2	31.8	36.2	41.6	32.0	41.8	36.1	44.0	35.5	42.3	30.6	42.5	35.1	38.9		49.5
	減少	51.9	56.8	46.8	54.5	51.0	51.6	50.0	48.0	43.4	42.3	47.2	47.9	50.5	52.8		45.2
	D・I	-35.0	-45.4	-29.8	-50.6	-34.0	-45.0	-36.1	-40.0	-22.3	-26.8	-25.0	-38.3	-36.1	-44.5	-11.1	-39.8
販売価格	上昇	55.8	45.2	39.4	48.1	40.6	35.9	35.7	29.7	37.7	26.1	34.3	33.3	26.0	31.4		26.1
	変わらず	32.5	38.1	41.5	40.3	41.6	44.6	54.3	54.5	50.6	60.9	58.6	53.3	61.5	57.1		66.3
	下降	11.7	16.7	19.1	11.7	17.8	19.6	10.0	15.8	11.7	13.0	7.1	13.3	12.5	11.4		7.6
	D・I	44.1	28.5	20.3	36.4	22.8	16.3	25.7	13.9	26.0	13.1	27.2	20.0	13.5	20.0	-13.7	18.5
仕入価格	上昇	80.0	67.4	76.9	76.0	60.0	67.0	60.3	55.0	67.6	56.1	56.5	58.9	60.8	47.8		61.3
	変わらず	16.0	23.3	17.6	17.3	26.0	27.3	35.3	36.0	24.3	37.9	37.7	30.1	35.1	46.4		35.5
	下降	4.0	9.3	5.5	6.7	14.0	5.7	4.4	9.0	8.1	6.1	5.8	11.0	4.1	5.8		3.2
	D・I	76.0	58.1	71.4	69.3	46.0	61.3	55.9	46.0	59.5	50.0	50.7	47.9	56.7	42.0	6.0	58.1
在庫	過剰	12.3	10.3	17.6	10.8	12.4	10.8	25.4	8.0	14.5	13.3	21.7	10.3	17.2	18.8		14.3
	適正	67.7	66.7	64.7	64.6	67.4	71.1	68.3	70.5	76.8	81.7	72.5	77.9	75.3	73.9		76.9
	不足	20.0	23.1	17.6	24.6	20.2	18.1	6.3	21.6	8.7	5.0	5.8	11.8	7.5	7.2		8.8
	D・I	-7.7	-12.8	0.0	-13.8	-7.8	-7.3	19.1	-13.6	5.8	8.3	15.9	-1.5	9.7	11.6	-6.2	5.5
資金繰り	楽	3.9	4.4	4.3	2.6	2.9	3.3	9.7	2.0	8.0	8.5	6.9	6.8	9.4	5.6		6.4
	変わらず	70.1	57.8	70.2	64.9	72.5	64.8	69.4	73.3	64.0	70.4	69.4	62.2	62.5	69.4		61.7
	苦しい	26.0	37.8	25.5	32.5	24.5	31.9	20.8	24.8	28.0	21.1	23.6	31.1	28.1	25.0		31.9
	D・I	-22.1	-33.4	-21.2	-29.9	-21.6	-28.6	-11.1	-22.8	-20.0	-12.6	-16.7	-24.3	-18.7	-19.4	-2.0	-25.5
同前年 比	売上額	-2.7		-7.6		-4.0		-19.8		-17.8		-25.4		-16.9			
	収益	-29.7		-29.4		-22.7		-38.6		-31.9		-32.9		-28.5			
	販売価格	45.4		32.2		36.4		30.5		35.6		31.9		34.0			
雇用	前年比残業時間	-19.1	-21.4	-10.7	-19.1	-7.1	-13.0	-8.6	-10.3	-13.5	-13.0	-8.3	-9.5	-17.6	-11.3		-15.7
	人手	-16.2	2.4	-15.4	-14.8	-6.0	-11.2	-13.1	-7.1	-22.9	-13.0	-30.5	-22.9	-15.3	-29.6		-10.5
借入金	借入をした(%)	44.7	17.1	39.6	13.0	40.6	22.2	32.4	8.4	37.3	14.7	38.9	8.7	31.6	10.0		17.5
	借入をしない(%)	55.3	82.9	60.4	87.0	59.4	77.8	67.6	91.6	62.7	85.3	61.1	91.3	68.4	90.0		82.5
	借入難易度	4.1		5.3		-3.1		4.4		0.0		4.2		0.0			
有効回答事業所数	80		96		104		73		77		74		99				

卸売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R5		R5		R5		R5		R6		対前期比	4～6月期(予測)
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期			
設備																
現在の設備	-4.4	-7.9	-13.5	-8.7	-7.8	-16.2	-7.8	-8.9	-7.6	-7.9	-17.2	-7.7	-8.9	-20.3		-9.1
実施した	38.2	41.2	38.0	40.0	35.1	47.1	34.3	42.1	37.5	29.4	41.7	41.2	33.3	35.4		39.2
投資																
事業用地・建物	11.8	11.8	4.0	5.7	1.8	5.9	5.7	1.8	3.1	8.8	8.3	5.9	2.0	4.2		2.0
機械・設備の新・増設	5.9	5.9	8.0	8.6	5.3	7.8	5.7	10.5	12.5	2.9	4.2	14.7	3.9	10.4		0.0
機械・設備の更改	2.9	5.9	8.0	5.7	3.5	7.8	8.6	7.0	3.1	0.0	6.3	5.9	2.0	4.2		3.9
事務機器	23.5	17.6	28.0	22.9	24.6	27.5	5.7	14.0	9.4	11.8	18.8	17.6	19.6	10.4		19.6
車両	8.8	17.6	26.0	14.3	17.5	29.4	25.7	31.6	18.8	14.7	25.0	8.8	19.6	18.8		25.5
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.1		0.0
実施しない	61.8	58.8	62.0	60.0	64.9	52.9	65.7	67.9	62.5	70.6	58.3	58.8	66.7	64.6		60.8
経営上の問題点																
売上の停滞・減少	48.6		43.0		45.7		44.8		49.3		53.5		50.0			
人手不足	13.5		10.5		7.4		6.0		16.4		16.9		12.8			
大手企業・大型店との競争の激化	5.4		1.2		0.0		3.0		2.7		1.4		2.1			
同業者間の競争の激化	14.9		16.3		13.8		11.9		21.9		11.3		12.8			
流通経路の変化による競争の激化	4.1		3.5		5.3		4.5		1.4		2.8		2.1			
合理化の不足	2.7		2.3		4.3		1.5		2.7		4.2		3.2			
利幅の縮小	39.2		46.5		35.1		32.8		26.0		26.8		26.6			
小口注文・多頻度配送の増加	9.5		4.7		5.3		6.0		4.1		4.2		3.2			
販売商品の不足	4.1		5.8		7.4		3.0		6.8		4.2		3.2			
原材料価格・材料価格の上昇	36.5		34.9		52.1		49.3		34.2		35.2		38.3			
販売納入先からの値下げ要請	0.0		3.5		3.2		3.0		1.4		0.0		1.1			
仕入先からの値上げ要請	35.1		34.9		30.9		22.4		28.8		28.2		19.1			
人件費の増加	10.8		11.6		9.6		11.9		11.0		9.9		13.8			
人件費以外の経費増加	2.7		3.5		9.6		9.0		9.6		9.9		13.8			
工場・店舗の狭小・老朽化	2.7		1.2		2.1		4.5		5.5		4.2		3.2			
生産能力・技術力の不足	0.0		4.7		2.1		3.0		1.4		1.4		0.0			
取引先の減少	14.9		23.3		23.4		20.9		31.5		14.1		29.8			
商店街の集客力の低下	1.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
下請の確保難	2.7		2.3		3.2		1.5		4.1		2.8		2.1			
駐車場・資材置場の確保難	0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.4		1.1			
大手企業・工場の縮小・撤退	5.4		0.0		5.3		4.5		4.1		2.8		3.2			
その他	5.4		3.5		3.2		4.5		2.7		7.0		1.1			
問題なし	2.7		3.5		1.1		7.5		4.1		2.8		5.3			
重点経営施策																
販路を広げる	50.0		55.1		57.4		51.4		62.0		54.9		53.8			
経費を削減する	40.0		38.2		38.3		38.6		36.6		39.4		40.9			
品揃えを充実させる	14.3		3.4		8.5		7.1		9.9		5.6		8.6			
情報力・宣伝・広報を強化する	11.4		14.6		12.8		11.4		14.1		12.7		14.0			
新製品・技術を開発する	7.1		10.1		7.4		7.1		9.9		7.0		9.7			
新しい工法を導入する	0.0		1.1		2.1		1.4		1.4		0.0		1.1			
新しい事業を始める	15.7		9.0		9.6		11.4		8.5		9.9		6.5			
不採算部門を整理・縮小する	4.3		2.2		3.2		7.1		2.8		5.6		5.4			
店舗・設備を改装する	2.9		0.0		1.1		1.4		1.4		0.0		1.1			
仕入先・提携先を開拓・選別する	24.3		27.0		28.7		28.6		19.7		18.3		19.4			
営業時間を延長する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
売れ筋商品を取扱う	5.7		4.5		7.4		7.1		12.7		12.7		11.8			
商店街事業を活性化させる	1.4		0.0		1.1		0.0		0.0		0.0		0.0			
機械化を推進する	1.4		1.1		1.1		1.4		2.8		2.8		1.1			
技術力を強化する	5.7		7.9		6.4		5.7		4.2		4.2		7.5			
人材を確保する	4.3		12.4		9.6		12.9		21.1		18.3		15.1			
パート化を図る	2.9		1.1		1.1		0.0		0.0		1.4		0.0			
教育訓練を強化する	4.3		4.5		1.1		1.4		4.2		2.8		2.2			
労働条件を改善する	0.0		5.6		3.2		2.9		2.8		1.4		4.3			
工場・機械を増設・移転する	2.9		2.2		1.1		1.4		1.4		0.0		0.0			
流通経路の見直しをする	4.3		2.2		6.4		5.7		2.8		5.6		9.7			
取引先を支援する	7.1		4.5		6.4		4.3		4.2		0.0		2.2			
輸入品の取扱いを増やす	2.9		2.2		1.1		7.1		0.0		2.8		3.2			
不動産の有効活用を図る	1.4		1.1		1.1		1.4		0.0		0.0		1.1			
その他	1.4		1.1		1.1		0.0		2.8		2.8		1.1			
特になし	7.1		10.1		10.6		11.4		4.2		9.9		10.8			
有効回答事業所数	80		96		104		73		77		74		99			

小売業
 地域名: 葛飾区
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		対前期 比	R6 4～6月期 (予測)
業況	良い	8.3	1.3	8.2	7.3	10.0	6.2	12.7	4.6	10.5	7.6	5.5	5.3	7.3	4.7		5.3
	普通	26.0	30.7	36.7	30.2	36.4	30.9	41.8	40.7	36.8	46.8	37.4	38.2	30.2	31.4		41.5
	悪い	65.6	68.0	55.1	62.5	53.6	62.9	45.6	54.6	52.6	45.6	57.1	56.6	62.5	64.0		53.2
	D・I	-57.3	-66.7	-46.9	-55.2	-43.6	-56.7	-32.9	-50.0	-42.1	-38.0	-51.6	-51.3	-55.2	-59.3	-3.6	-47.9
売上額	増加	14.6	9.3	19.4	14.7	11.7	9.4	16.3	7.3	11.7	12.5	9.8	13.2	9.4	8.7		8.5
	変わらず	35.4	26.7	27.6	37.9	31.5	34.4	38.8	41.8	48.1	47.5	39.1	42.1	32.3	40.2		43.6
	減少	50.0	64.0	53.1	47.4	56.8	56.3	45.0	50.9	40.3	40.0	51.1	44.7	58.3	51.1		47.9
	D・I	-35.4	-54.7	-33.7	-32.7	-45.1	-46.9	-28.7	-43.6	-28.6	-21.5	-41.3	-31.5	-48.9	-42.4	-7.6	-39.4
収益	増加	10.9	8.2	16.7	13.3	7.5	7.3	16.5	7.7	12.2	10.1	6.5	9.5	9.7	7.6		8.7
	変わらず	26.1	28.8	27.1	32.2	28.3	31.3	30.4	33.7	32.4	41.8	33.7	36.5	25.8	30.4		34.8
	減少	63.0	63.0	56.3	54.4	64.2	61.5	53.2	58.7	55.4	48.1	59.8	54.1	64.5	62.0		56.5
	D・I	-52.1	-54.8	-39.6	-41.1	-56.7	-54.2	-36.7	-51.0	-43.2	-38.0	-53.3	-44.6	-54.8	-54.4	-1.5	-47.8
販売価格	上昇	29.7	37.0	48.5	36.3	37.4	43.8	43.0	40.6	38.4	41.0	41.8	38.4	33.0	33.0		35.5
	変わらず	48.4	42.5	33.0	48.4	49.5	36.5	43.0	42.5	41.1	44.9	33.0	41.1	46.8	37.4		50.5
	下降	22.0	20.5	18.6	15.4	13.1	19.8	13.9	17.0	20.5	14.1	25.3	20.5	20.2	29.7		14.0
	D・I	7.7	16.5	29.9	20.9	24.3	24.0	29.1	23.6	17.9	26.9	16.5	17.9	12.8	3.3	-3.7	21.5
仕入価格	上昇	60.7	68.1	76.6	65.2	61.0	68.8	72.2	66.3	60.0	72.2	66.3	56.0	62.6	52.3		63.3
	変わらず	28.1	27.5	13.8	25.8	26.7	19.4	20.3	24.0	28.0	22.8	24.4	29.3	27.5	37.2		30.0
	下降	11.2	4.3	9.6	9.0	12.4	11.8	7.6	9.6	12.0	5.1	9.3	14.7	9.9	10.5		6.7
	D・I	49.5	63.8	67.0	56.2	48.6	57.0	64.6	56.7	48.0	67.1	57.0	41.3	52.7	41.8	-4.3	56.6
在庫	過剰	13.9	11.1	19.0	11.4	13.0	13.3	14.5	9.8	9.7	8.8	7.4	3.2	11.2	6.2		9.2
	適正	65.8	73.0	65.5	65.8	72.8	71.1	73.9	72.8	72.6	77.9	72.8	74.2	74.2	71.6		75.9
	不足	20.3	15.9	15.5	22.8	14.1	15.7	11.6	17.4	17.7	13.2	19.8	22.6	14.6	22.2		14.9
	D・I	-6.4	-4.8	3.5	-11.4	-1.1	-2.4	2.9	-7.6	-8.0	-4.4	-12.4	-19.4	-3.4	-16.0	9.0	-5.7
資金繰り	楽	2.2	2.7	1.0	2.2	3.7	2.1	5.0	2.8	8.0	3.8	2.2	6.7	4.3	2.2		2.2
	変わらず	47.8	48.0	47.9	48.9	56.1	48.4	62.5	59.8	54.7	65.4	48.4	53.3	47.9	50.0		51.6
	苦しい	50.0	49.3	51.0	48.9	40.2	49.5	32.5	37.4	37.3	30.8	49.5	40.0	47.9	47.8		46.2
	D・I	-47.8	-46.6	-50.0	-46.7	-36.5	-47.4	-27.5	-34.6	-29.3	-27.0	-47.3	-33.3	-43.6	-45.6	3.7	-44.0
同前年比	売上額	-30.1		-32.6		-34.0		-5.1		-17.5		-30.8		-36.5			
	収益	-52.7		-51.5		-60.6		-29.9		-43.9		-53.8		-54.3			
	販売価格	22.2		32.7		22.5		38.2		23.0		35.5		16.5			
雇用	前年比残業時間	-18.9	-9.6	-10.7	-16.7	-14.7	-10.8	-9.1	-19.4	-9.5	-11.7	-7.7	-8.3	-15.9	-8.8		-16.1
	人手	-20.9	-25.6	-21.7	-23.4	-25.0	-20.9	-25.0	-20.2	-26.7	-27.6	-33.3	-25.6	-27.9	-35.6		-32.6
借入金	借入をした(%)	35.5	16.9	34.0	13.3	28.3	14.3	25.3	13.5	26.3	10.7	27.8	13.0	21.3	11.4		7.9
	借入をしない(%)	64.5	83.1	66.0	86.7	71.7	85.7	74.7	86.5	73.7	89.3	72.2	87.0	78.7	88.6		92.1
	借入難易度	-10.1		-5.4		-7.6		-1.4		-11.6		-5.5		-5.6			
有効回答事業所数		97		99		111		81		77		92		96			

小売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R5		R5		R5		R5		R6		対前期比	4～6月期(予測)
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-10.7	-8.9	-16.1	-9.6	-9.1	-17.3	-8.5	-7.1	-8.8	-5.7	-22.9	-13.2	-16.3	-24.1	-19.3
	実施した	33.3	27.6	35.8	27.3	42.9	34.0	28.6	34.8	45.0	35.4	47.6	38.5	37.5	38.1	34.7
	事業用地・建物	4.4	3.4	5.7	4.5	0.0	5.7	0.0	0.0	2.5	2.1	4.8	5.1	0.0	4.8	2.0
	機械・設備の新・増設	6.7	0.0	1.9	4.5	8.2	5.7	12.2	10.9	7.5	12.5	14.3	10.3	10.4	11.9	16.3
	機械・設備の更改	11.1	13.8	9.4	11.4	16.3	13.2	14.3	8.7	12.5	16.7	21.4	17.9	16.7	23.8	14.3
	事務機器	6.7	6.9	11.3	9.1	18.4	18.9	8.2	10.9	20.0	8.3	16.7	10.3	22.9	14.3	16.3
	車両	4.4	3.4	13.2	9.1	8.2	13.2	6.1	6.5	12.5	6.3	4.8	20.5	14.6	14.3	12.2
	その他	4.4	3.4	1.9	2.3	4.1	0.0	4.1	2.2	5.0	4.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	実施しない	66.7	72.4	64.2	72.7	57.1	66.0	71.4	65.2	55.0	64.6	52.4	61.5	62.5	61.9	65.3
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	65.6		61.5		63.1		50.0		54.8		64.8		63.2	
人手不足		17.8		20.9		19.4		25.6		20.5		25.0		26.4		
大手企業・大型店との競争の激化		11.1		14.3		5.8		6.4		8.2		10.2		17.2		
同業者間の競争の激化		6.7		8.8		10.7		15.4		13.7		12.5		13.8		
流通経路の変化による競争の激化		5.6		2.2		5.8		0.0		5.5		4.5		3.4		
合理化の不足		1.1		2.2		1.0		1.3		1.4		1.1		1.1		
利幅の縮小		22.2		40.7		30.1		19.2		24.7		21.6		29.9		
小口注文・多頻度配送の増加		2.2		2.2		1.9		1.3		2.7		0.0		2.3		
販売商品の不足		3.3		7.7		7.8		7.7		6.8		6.8		6.9		
原材料価格・材料価格の上昇		32.2		34.1		33.0		32.1		24.7		21.6		23.0		
販売納入先からの値下げ要請		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.1		0.0		
仕入先からの値上げ要請		28.9		28.6		22.3		19.2		24.7		15.9		13.8		
人件費の増加		14.4		12.1		24.3		20.5		11.0		19.3		14.9		
人件費以外の経費増加		10.0		5.5		15.5		11.5		11.0		12.5		11.5		
工場・店舗の狭小・老朽化		3.3		2.2		2.9		2.6		6.8		3.4		2.3		
生産能力・技術力の不足		4.4		1.1		1.0		1.3		0.0		2.3		4.6		
取引先の減少		11.1		9.9		13.6		10.3		12.3		11.4		12.6		
商店街の集客力の低下		14.4		8.8		6.8		14.1		9.6		10.2		13.8		
下請の確保難		0.0		0.0		0.0		1.3		0.0		0.0		2.3		
駐車場・資材置場の確保難		0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.1		1.1			
その他	1.1		0.0		3.9		2.6		2.7		2.3		0.0			
問題なし	2.2		3.3		0.0		1.3		4.1		3.4		1.1			
重点経営施策(%)	販路を広げる	31.0		33.7		32.3		18.9		26.8		31.8		32.2		
	経費を削減する	52.9		41.1		48.5		44.6		38.0		43.2		54.0		
	品揃えを充実させる	24.1		24.2		24.2		17.6		21.1		23.9		25.3		
	情報力・宣伝・広報を強化する	6.9		11.6		15.2		13.5		11.3		17.0		10.3		
	新製品・技術を開発する	2.3		6.3		4.0		1.4		4.2		5.7		2.3		
	新しい工法を導入する	2.3		2.1		1.0		1.4		0.0		1.1		1.1		
	新しい事業を始める	5.7		10.5		9.1		9.5		5.6		8.0		11.5		
	不採算部門を整理・縮小する	3.4		2.1		4.0		2.7		1.4		2.3		1.1		
	店舗・設備を改装する	4.6		5.3		4.0		5.4		5.6		6.8		5.7		
	仕入先・提携先を開拓・選別する	9.2		10.5		11.1		12.2		9.9		9.1		4.6		
	営業時間を延長する	1.1		1.1		2.0		1.4		1.4		2.3		1.1		
	売れ筋商品を取扱う	23.0		27.4		19.2		20.3		12.7		17.0		19.5		
	商店街事業を活性化させる	10.3		7.4		8.1		9.5		5.6		1.1		9.2		
	機械化を推進する	0.0		1.1		2.0		2.7		4.2		1.1		3.4		
	技術力を強化する	4.6		5.3		4.0		2.7		2.8		6.8		4.6		
	人材を確保する	20.7		16.8		23.2		28.4		23.9		25.0		23.0		
	パート化を図る	0.0		1.1		2.0		1.4		1.4		2.3		0.0		
	教育訓練を強化する	5.7		3.2		2.0		0.0		1.4		3.4		3.4		
	労働条件を改善する	2.3		3.2		3.0		4.1		4.2		3.4		1.1		
	工場・機械を増設・移転する	1.1		0.0		0.0		0.0		0.0		1.1		0.0		
流通経路の見直しをする	2.3		5.3		4.0		4.1		1.4		2.3		4.6			
取引先を支援する	2.3		2.1		1.0		1.4		1.4		2.3		2.3			
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.0			
不動産の有効活用を図る	1.1		2.1		2.0		2.7		2.8		3.4		2.3			
その他	0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		1.1		1.1			
特になし	6.9		11.6		11.1		6.8		8.5		6.8		6.9			
有効回答事業所数	97		99		111		81		77		92		96			

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R4		R4		R5		R5		R5		R5		R6		対前期比	R6 4～6月期 (予測)
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			
業況	良い	7.0	4.3	10.3	11.9	6.9	4.9	7.1	6.3	8.7	8.3	6.1	9.0	9.4	8.2		9.8
	普通	42.1	51.4	45.2	44.0	51.0	52.1	60.2	65.0	68.9	60.2	67.5	67.0	53.2	58.2		55.6
	悪い	50.9	44.3	44.5	44.0	42.1	43.0	32.7	28.7	22.3	31.5	26.3	24.0	37.4	33.6		34.6
	D・I	-43.9	-40.0	-34.2	-32.1	-35.2	-38.1	-25.6	-22.4	-13.6	-23.2	-20.2	-15.0	-28.0	-25.4	-7.8	-24.8
売上額	増加	17.2	14.3	25.3	19.3	12.3	9.7	13.3	18.3	29.1	15.5	27.0	17.8	17.1	14.0		17.0
	変わらず	40.5	47.1	41.8	49.1	48.6	50.7	56.6	51.4	47.6	65.5	54.8	60.4	45.7	57.0		54.1
	減少	42.2	38.6	32.9	31.6	39.0	39.6	30.1	30.3	23.3	19.1	18.3	21.8	37.1	28.9		28.9
	D・I	-25.0	-24.3	-7.6	-12.3	-26.7	-29.9	-16.8	-12.0	5.8	-21.5	8.7	-4.0	-20.0	-14.9	-28.7	-11.9
収益	増加	13.3	8.6	17.2	15.0	8.3	7.7	13.3	16.1	20.6	14.5	20.0	13.0	12.9	7.0		14.1
	変わらず	31.0	47.1	40.0	42.5	41.4	45.1	42.5	44.8	48.0	50.0	53.0	56.0	41.4	57.0		43.0
	減少	55.8	44.3	42.8	42.5	50.3	47.2	44.2	39.2	31.4	35.5	27.0	31.0	45.7	36.0		43.0
	D・I	-42.5	-35.7	-25.6	-27.5	-42.0	-39.5	-30.9	-23.1	-10.8	-21.0	-7.0	-18.0	-32.8	-29.0	-25.8	-28.9
料金価格	上昇	16.7	8.5	21.7	21.9	13.2	12.8	13.3	19.0	17.8	14.5	17.9	13.1	17.9	14.4		17.0
	変わらず	69.3	74.6	69.2	64.9	75.7	73.8	76.1	67.6	73.3	76.4	78.6	79.8	75.0	81.1		70.4
	下降	14.0	16.9	9.1	13.2	11.1	13.5	10.6	13.4	8.9	9.1	3.6	7.1	7.1	4.5		12.6
	D・I	2.7	-8.4	12.6	8.7	2.1	-0.7	2.7	5.6	8.9	5.4	14.3	6.0	10.8	9.9	-3.5	4.4
材料価格	上昇	57.9	41.0	61.1	53.8	65.6	54.3	49.0	60.2	54.9	46.9	47.4	45.1	58.6	45.9		54.8
	変わらず	34.7	50.8	29.8	38.7	27.5	35.7	46.0	30.5	38.5	49.0	49.5	50.5	35.2	52.0		39.5
	下降	7.4	8.2	9.2	7.5	6.9	10.1	5.0	9.4	6.6	4.1	3.1	4.4	6.3	2.0		5.6
	D・I	50.5	32.8	51.9	46.3	58.7	44.2	44.0	50.8	48.3	42.8	44.3	40.7	52.3	43.9	8.0	49.2
資金繰り	楽	3.5	1.4	4.1	5.4	3.5	2.8	1.8	3.6	5.9	1.9	3.6	5.9	1.4	2.8		2.2
	変わらず	67.3	65.2	62.1	63.4	60.8	58.7	67.3	60.0	69.6	66.7	75.7	68.3	69.1	69.7		65.9
	苦しい	29.2	33.3	33.8	31.3	35.7	38.5	30.9	36.4	24.5	31.5	20.7	25.7	29.5	27.5		31.9
	D・I	-25.7	-31.9	-29.7	-25.9	-32.2	-35.7	-29.1	-32.8	-18.6	-29.6	-17.1	-19.8	-28.1	-24.7	-11.0	-29.7
前年同 期比	売上額	-15.1		-4.0		-0.8		0.0		15.2		8.9		-4.2			
	収益	-35.9		-31.7		-30.6		-32.4		-13.0		-8.9		-26.5			
雇用	前年比残業時間	-7.9	-10.0	-2.1	1.7	-8.9	-2.8	-3.6	-4.2	-6.8	0.0	-5.3	-5.9	-12.9	-8.1		-9.7
	人手	-33.9	-25.4	-39.2	-37.7	-40.4	-40.7	-39.5	-40.7	-44.2	-39.3	-37.5	-45.5	-39.5	-38.7		-42.9
借入金	借入をした(%)	31.3	18.3	38.9	14.4	31.2	10.7	26.1	12.5	28.7	14.3	23.9	8.3	24.3	13.6		9.6
	借入をしな(%)	68.7	81.7	61.1	85.6	68.8	89.3	73.9	87.5	71.3	85.7	76.1	91.7	75.7	86.4		90.4
	借入難易度	-10.4		-17.1		-10.7		-12.0		-15.1		-12.7		-10.9			
有効回答事業所数		117		147		147		113		103		115		140			

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R5		R5		R5		R5		R6		対前期比	4～6月期(予測)	
			7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期				1～3月期
設備	現在の設備		-7.3	-12.5	-12.3	-11.0	-12.8	-15.3	-12.0	-18.6	-8.1	-13.9	-15.9	-8.1	-15.2	-15.1	-16.3
投資	実施した		43.3	41.0	47.8	36.8	41.7	43.7	36.5	51.2	41.7	39.4	32.4	36.8	33.3	36.2	40.2
投資	事業用地・建物		11.9	5.1	7.8	7.4	3.6	8.0	1.6	6.0	2.8	4.5	4.4	4.4	1.0	4.3	2.1
投資	機械・設備の新・増設		7.5	12.8	7.8	7.4	8.3	12.6	9.5	7.1	8.3	7.6	10.3	5.9	4.2	8.7	6.2
投資	機械・設備の更改		9.0	10.3	12.2	11.8	9.5	10.3	4.8	6.0	8.3	12.1	8.8	8.8	9.4	11.6	8.2
投資	事務機器		16.4	12.8	16.7	14.7	19.0	14.9	15.9	20.2	18.1	13.6	11.8	14.7	14.6	7.2	16.5
投資	車両		17.9	20.5	26.7	16.2	20.2	26.4	19.0	25.0	19.4	21.2	14.7	17.6	19.8	14.5	21.6
投資	その他		1.5	2.6	0.0	1.5	1.2	0.0	1.6	6.0	4.2	3.0	1.5	1.5	0.0	4.3	1.0
投資	実施しない		56.7	59.0	52.2	63.2	58.3	56.3	63.5	48.8	58.3	60.6	67.6	63.2	66.7	63.8	59.8
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少		54.1		54.3		40.7		44.8		42.7		37.5		36.6		
	人手不足		35.1		37.9		39.3		38.1		41.7		34.6		40.3		
	大手企業・大型店との競争の激化		3.6		0.7		1.4		1.0		1.0		2.9		3.0		
	同業者間の競争の激化		12.6		11.4		10.0		14.3		7.3		8.7		12.7		
	流通経路の変化による競争の激化		1.8		0.7		0.7		1.0		0.0		1.0		0.0		
	合理化の不足		2.7		2.9		0.7		1.0		3.1		5.8		4.5		
	利幅の縮小		16.2		23.6		28.6		18.1		19.8		26.0		24.6		
	小口注文・多頻度配送の増加		0.0		0.7		2.1		1.0		2.1		2.9		0.7		
	販売商品の不足		0.9		2.1		0.7		0.0		1.0		1.0		2.2		
	原材料価格・材料価格の上昇		27.0		31.4		34.3		27.6		32.3		26.9		20.9		
	販売納入先からの値下げ要請		1.8		2.1		0.0		1.0		0.0		1.0		0.0		
	仕入先からの値上げ要請		6.3		9.3		9.3		7.6		10.4		6.7		9.7		
	人件費の増加		29.7		21.4		30.7		30.5		37.5		26.0		32.8		
	人件費以外の経費増加		20.7		18.6		26.4		15.2		19.8		22.1		21.6		
	工場・店舗の狭小・老朽化		3.6		2.1		2.9		1.9		1.0		3.8		0.7		
	生産能力・技術力の不足		3.6		1.4		4.3		1.9		5.2		5.8		4.5		
	取引先の減少		17.1		9.3		9.3		9.5		10.4		11.5		11.9		
	商店街の集客力の低下		0.0		0.7		1.4		1.0		0.0		1.9		1.5		
	下請の確保難		2.7		3.6		1.4		3.8		1.0		3.8		2.2		
	駐車場・資材置場の確保難		1.8		2.9		0.7		2.9		3.1		1.9		3.0		
大手企業・工場の縮小・撤退		0.9		0.7		0.0		1.0		1.0		1.0		0.0			
その他		5.4		2.1		3.6		1.0		2.1		1.0		3.0			
問題なし		3.6		4.3		5.7		9.5		6.3		8.7		6.7			
重点経営施策(%)	販路を広げる		28.8		27.9		23.5		28.6		29.3		32.1		28.9		
	経費を削減する		43.2		50.0		48.5		38.1		44.4		46.2		40.0		
	品揃えを充実させる		0.9		0.7		3.7		1.9		2.0		2.8		3.7		
	情報力・宣伝・広報を強化する		19.8		20.6		14.0		17.1		17.2		15.1		13.3		
	新製品・技術を開発する		3.6		3.7		5.1		2.9		6.1		4.7		6.7		
	新しい工法を導入する		0.0		0.7		1.5		1.9		2.0		1.9		0.7		
	新しい事業を始める		18.0		17.6		13.2		11.4		9.1		14.2		8.9		
	不採算部門を整理・縮小する		5.4		2.9		2.2		2.9		5.1		3.8		2.2		
	店舗・設備を改装する		1.8		2.2		2.9		1.9		1.0		5.7		3.7		
	仕入先・提携先を開拓・選別する		9.0		8.1		10.3		11.4		10.1		10.4		7.4		
	営業時間を延長する		1.8		0.7		1.5		1.0		3.0		1.9		1.5		
	売れ筋商品を取扱う		1.8		2.2		3.7		1.0		1.0		3.8		5.9		
	商店街事業を活性化させる		0.9		1.5		0.7		1.9		2.0		1.9		2.2		
	機械化を推進する		1.8		2.9		2.9		2.9		1.0		2.8		3.7		
	技術力を強化する		17.1		12.5		15.4		16.2		8.1		16.0		16.3		
	人材を確保する		40.5		36.8		39.7		40.0		41.4		36.8		40.7		
	パート化を図る		0.9		2.9		0.7		1.0		3.0		0.9		0.0		
	教育訓練を強化する		7.2		5.9		9.6		8.6		10.1		11.3		11.1		
	労働条件を改善する		5.4		8.8		13.2		8.6		10.1		6.6		9.6		
	工場・機械を増設・移転する		1.8		1.5		1.5		0.0		1.0		0.0		0.7		
流通経路の見直しをする		1.8		0.0		1.5		0.0		0.0		0.0		0.7			
取引先を支援する		4.5		0.7		1.5		1.0		0.0		0.9		0.0			
輸入品の取扱いを増やす		0.9		0.0		0.7		0.0		1.0		0.0		0.0			
不動産の有効活用を図る		0.0		0.7		0.7		1.0		3.0		0.9		1.5			
その他		3.6		0.7		2.2		1.0		2.0		0.9		2.2			
特になし		8.1		11.0		7.4		13.3		8.1		8.5		9.6			
有効回答事業所数		117		147		147		113		103		115		140			

建設業
地域名: 葛飾区
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		対前期 比	R6 4～6月期 (予測)
業況	良い	11.4	3.8	10.8	4.6	11.7	9.0	7.3	6.2	9.1	10.3	12.8	10.0	12.1	7.7		8.3
	普通	47.7	59.6	54.5	53.1	49.1	49.4	56.3	52.5	54.5	55.9	58.8	54.0	53.0	58.7		62.1
	悪い	40.9	36.5	34.7	42.3	39.3	41.7	36.4	41.4	36.4	33.8	28.4	36.0	34.9	33.6		29.7
	D・I	-29.5	-32.7	-23.9	-37.7	-27.6	-32.7	-29.1	-35.2	-27.3	-23.5	-15.6	-26.0	-22.8	-25.9	-7.2	-21.4
売上額	増加	18.2	12.5	18.9	9.2	18.4	11.6	16.4	8.0	17.2	13.3	17.7	16.9	17.3	10.9		18.5
	変わらず	39.4	50.0	42.0	50.8	36.8	49.4	39.5	50.3	41.7	55.3	50.3	52.0	45.3	51.7		49.3
	減少	42.4	37.5	39.1	40.0	44.8	39.0	44.1	41.7	41.1	31.3	32.0	31.1	37.3	37.4		32.2
	D・I	-24.2	-25.0	-20.2	-30.8	-26.4	-27.4	-27.7	-33.7	-23.9	-21.5	-14.3	-14.2	-20.0	-26.5	-5.7	-13.7
受注残	増加	13.0	13.3	11.9	10.0	12.2	9.1	9.3	9.1	16.0	13.9	18.8	16.2	12.2	16.1		13.8
	変わらず	50.4	58.1	53.0	48.5	44.5	51.8	52.3	50.0	52.0	56.3	47.9	54.1	53.4	48.3		57.2
	減少	36.6	28.6	35.1	41.5	43.3	39.0	38.4	40.9	32.0	29.8	33.3	29.7	34.5	35.7		29.0
	D・I	-23.6	-15.3	-23.2	-31.5	-31.1	-29.9	-29.1	-31.8	-16.0	-15.9	-14.5	-13.5	-22.3	-19.6	-7.8	-15.2
施工高	増加	18.2	14.3	17.3	10.0	17.3	11.4	13.9	9.2	19.0	14.8	18.5	20.5	13.4	15.9		15.0
	変わらず	43.2	49.5	47.0	45.4	40.7	50.9	43.7	49.7	42.5	57.0	47.9	49.7	52.3	47.6		54.4
	減少	38.6	36.2	35.7	44.6	42.0	37.7	42.4	41.1	38.6	28.2	33.6	29.8	34.2	36.6		30.6
	D・I	-20.4	-21.9	-18.4	-34.6	-24.7	-26.3	-28.5	-31.9	-19.6	-13.4	-15.1	-9.3	-20.8	-20.7	-5.7	-15.6
収益	増加	18.0	10.5	16.0	9.1	17.1	9.5	13.2	9.1	14.9	14.0	18.2	16.4	10.0	12.9		11.5
	変わらず	36.1	48.6	35.5	44.7	32.3	44.0	38.2	42.7	38.3	50.0	43.9	48.0	50.0	44.9		50.7
	減少	45.9	41.0	48.5	46.2	50.6	46.4	48.7	48.2	46.8	36.0	37.8	35.5	40.0	42.2		37.8
	D・I	-27.9	-30.5	-32.5	-37.1	-33.5	-36.9	-35.5	-39.1	-31.9	-22.0	-19.6	-19.1	-30.0	-29.3	-10.4	-26.3
請負価格	上昇	22.6	19.2	19.9	20.3	16.7	21.8	15.8	16.0	23.7	17.4	17.0	21.3	17.2	15.8		18.8
	変わらず	56.4	60.6	60.2	57.9	64.2	53.9	67.1	62.3	55.9	69.1	66.7	60.0	67.5	65.1		64.4
	下降	21.1	20.2	19.9	21.8	19.1	24.2	17.1	21.6	20.4	13.4	16.3	18.7	15.2	19.2		16.8
	D・I	1.5	-1.0	0.0	-1.5	-2.4	-2.4	-1.3	-5.6	3.3	4.0	0.7	2.6	2.0	-3.4	1.3	2.0
材料価格	上昇	78.0	76.0	73.8	78.9	80.3	69.4	69.4	75.7	71.4	60.4	67.9	61.4	65.3	57.4		61.6
	変わらず	16.3	22.0	20.6	17.1	16.4	24.4	27.2	19.1	23.1	36.8	28.5	34.5	30.6	36.8		34.9
	下降	5.7	2.0	5.6	4.1	3.3	6.3	3.4	5.3	5.4	2.8	3.6	4.1	4.1	5.9		3.4
	D・I	72.3	74.0	68.2	74.8	77.0	63.1	66.0	70.4	66.0	57.6	64.3	57.3	61.2	51.5	-3.1	58.2
在庫	過剰	0.9	1.1	5.1	0.9	2.8	3.2	7.0	1.4	9.8	5.7	6.7	8.5	6.5	6.0		6.5
	適正	74.3	66.7	71.2	67.3	84.6	72.1	82.4	84.6	81.8	82.3	82.2	83.0	82.0	83.6		79.7
	不足	24.8	32.3	23.7	31.9	12.6	24.7	10.6	14.0	8.4	12.1	11.1	8.5	11.5	10.4		13.8
	D・I	-23.9	-31.2	-18.6	-31.0	-9.8	-21.5	-3.6	-12.6	1.4	-6.4	-4.4	0.0	-5.0	-4.4	-0.6	-7.3
資金繰り	楽	7.0	6.9	4.9	5.5	5.7	5.6	10.7	4.5	7.9	7.4	9.0	5.4	5.3	6.9		6.6
	変わらず	62.5	56.9	65.9	59.4	65.6	56.8	61.3	65.4	59.6	63.8	58.6	63.8	65.8	57.6		62.9
	苦しい	30.5	36.3	29.3	35.2	28.7	37.7	28.0	30.1	32.5	28.9	32.4	30.9	28.9	35.4		30.5
	D・I	-23.5	-29.4	-24.4	-29.7	-23.0	-32.1	-17.3	-25.6	-24.6	-21.5	-23.4	-25.5	-23.6	-28.5	-0.2	-23.9
同期比	売上額	-25.0		-32.9		-24.1		-22.2		-21.9		-16.6		-20.4			
	収益	-42.6		-42.8		-32.3		-35.2		-35.9		-31.5		-27.5			
雇用	前年比残業時間	-20.9	-12.0	-12.2	-19.3	-18.1	-11.1	-16.8	-22.6	-10.6	-12.9	-20.1	-8.7	-13.8	-18.7		-15.9
	人手	-38.7	-47.4	-57.4	-41.4	-51.0	-57.1	-52.6	-46.5	-56.3	-54.4	-59.0	-60.9	-60.0	-57.6		-61.1
借入金	借入をした(%)	44.9	18.9	52.5	18.7	41.0	20.5	44.1	18.2	43.7	19.4	38.6	22.8	42.4	20.1		21.3
	借入をしな(%)	55.1	81.1	47.5	81.3	59.0	79.5	55.9	81.8	56.3	80.6	61.4	77.2	57.6	79.9		78.7
	借入難易度	2.4		2.5		1.3		1.4		-3.4		-3.5		-9.5			
有効回答事業所数		133		169		164		152		155		148		153			

建設業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4		R4		R5		R5		R5		R6		対前期比	4～6月期(予測)	
		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期				1～3月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.4	-1.1	-10.4	-5.0	-9.6	-11.7	-9.2	-9.1	-7.5	-9.2	-9.4	-8.2	-11.5	-10.8	-11.0
	実施した	31.6	44.3	47.9	29.3	41.1	38.8	47.9	47.2	48.0	43.7	44.8	45.1	45.5	37.5	46.5
	事業用地・建物	3.8	8.2	10.1	7.3	12.1	7.8	7.3	11.1	12.0	9.4	7.6	8.8	6.9	5.8	8.1
	機械・設備の新・増設	6.3	9.8	11.8	4.9	10.3	9.5	9.4	12.0	10.0	6.3	11.4	9.8	11.9	8.7	15.2
	機械・設備の更改	3.8	13.1	5.9	6.1	9.3	7.8	15.6	12.0	8.0	12.5	8.6	10.8	16.8	6.7	15.2
	事務機器	11.4	11.5	21.8	6.1	15.0	13.8	17.7	14.8	25.0	13.5	16.2	15.7	18.8	12.5	15.2
	車両	19.0	18.0	28.6	18.3	22.4	23.3	26.0	25.9	24.0	24.0	28.6	27.5	25.7	26.0	30.3
	その他	0.0	4.9	0.8	1.2	1.9	0.9	2.1	1.9	2.0	1.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0
	実施しない	68.4	55.7	52.1	70.7	58.9	61.2	52.1	52.8	52.0	56.3	55.2	54.9	54.5	62.5	53.5
	売上停滞・減少	43.4		39.2		42.9		42.1		39.9		29.3		33.6		
人手不足	43.4		44.6		42.2		55.0		53.4		57.9		56.6			
大手企業・大型店との競争の激化	1.6		0.7		0.6		1.4		0.7		0.7		1.4			
同業者間の競争の激化	13.1		10.8		13.6		12.9		10.1		13.6		12.6			
流通経路の変化による競争の激化	0.0		0.0		0.0		0.0		0.7		0.0		0.7			
合理化の不足	1.6		2.0		1.3		0.7		0.0		2.9		1.4			
利幅の縮小	27.9		30.4		24.0		23.6		26.4		21.4		23.8			
小口注文・多頻度配送の増加	0.0		0.0		1.3		1.4		0.7		0.0		0.7			
販売商品の不足	2.5		2.7		1.9		0.7		1.4		0.7		0.7			
原材料価格・材料価格の上昇	51.6		52.0		48.7		40.0		43.9		39.3		35.0			
販売納入先からの値下げ要請	0.0		2.0		1.3		1.4		0.7		0.0		1.4			
仕入先からの値上げ要請	15.6		16.2		13.0		6.4		8.8		4.3		6.3			
人件費の増加	13.9		17.6		21.4		21.4		23.6		23.6		28.7			
人件費以外の経費増加	13.9		6.1		10.4		11.4		12.8		15.0		9.8			
工場・店舗の狭小・老朽化	0.0		0.7		0.0		0.0		2.0		0.0		2.8			
生産能力・技術力の不足	4.9		4.1		7.8		4.3		8.1		8.6		2.1			
取引先の減少	8.2		10.1		10.4		7.1		8.1		5.7		8.4			
商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
下請の確保難	9.8		16.2		16.9		17.1		16.2		20.0		21.7			
駐車場・資材置場の確保難	3.3		3.4		2.6		3.6		3.4		6.4		4.2			
大手企業・工場の縮小・撤退	0.8		0.0		0.0		0.7		0.7		0.0		0.0			
その他	0.0		2.0		1.9		1.4		4.1		1.4		3.5			
問題なし	0.8		2.7		2.6		2.1		2.0		2.9		4.2			
重点経営施策(%)	販路を広げる	27.9		19.7		23.5		29.5		23.8		18.7		25.2		
	経費を削減する	41.8		42.1		49.0		41.7		39.7		43.9		39.9		
	品揃えを充実させる	0.0		1.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
	情報力・宣伝・広報を強化する	9.8		4.6		4.0		5.8		6.6		6.5		8.4		
	新製品・技術を開発する	0.8		0.7		1.3		2.2		0.7		0.7		2.1		
	新しい工法を導入する	3.3		3.3		2.7		5.8		2.6		4.3		2.1		
	新しい事業を始める	6.6		6.6		8.1		5.8		6.6		6.5		7.0		
	不採算部門を整理・縮小する	3.3		2.6		2.0		2.2		3.3		3.6		2.1		
	店舗・設備を改装する	0.0		0.7		0.0		0.0		0.7		0.0		0.0		
	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.0		18.4		14.8		17.3		15.9		9.4		11.9		
	営業時間を延長する	1.6		0.0		0.7		0.0		0.0		0.7		0.7		
	売れ筋商品を取扱う	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
	商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		0.0		0.7		0.7		0.0		0.0		
	機械化を推進する	0.8		1.3		0.7		0.0		0.7		1.4		0.7		
	技術力を強化する	22.1		24.3		24.8		24.5		22.5		23.7		22.4		
	人材を確保する	49.2		57.9		52.3		50.4		51.7		54.7		60.1		
	パート化を図る	0.8		1.3		0.7		0.0		0.0		0.7		0.0		
	教育訓練を強化する	12.3		13.8		12.1		12.9		10.6		12.2		7.7		
	労働条件を改善する	11.5		8.6		13.4		11.5		13.2		18.7		14.0		
	工場・機械を増設・移転する	0.8		0.7		1.3		0.0		1.3		1.4		1.4		
	流通経路の見直しをする	0.0		0.7		1.3		1.4		0.0		0.7		0.0		
	取引先を支援する	0.8		2.0		2.0		1.4		3.3		2.2		0.0		
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.7		
	不動産の有効活用を図る	1.6		2.6		2.7		2.2		2.6		0.7		2.1		
	その他	0.0		2.0		0.7		0.0		0.0		1.4		1.4		
特になし	9.8		7.9		7.4		12.9		9.9		10.8		10.5			
有効回答事業所数	133		169		164		152		155		148		153			

不動産業
 地域名: 葛飾区
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R4		R4		R5		R5		R5		R5		R6		対前期比	R6 4～6月期 (予測)
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			
業況	良い	10.0	4.0	3.9	6.7	6.0	1.0	3.3	8.8	5.9	8.0	6.3	2.0	5.3	4.1		3.8
	普通	71.1	74.7	67.6	73.3	63.8	75.5	71.4	68.4	72.5	65.9	70.9	79.2	71.7	74.3		73.3
	悪い	18.9	21.3	28.4	20.0	30.2	23.5	25.3	22.8	21.6	26.1	22.8	18.8	23.0	21.6		22.9
	D・I	-8.9	-17.3	-24.5	-13.3	-24.2	-22.5	-22.0	-14.0	-15.7	-18.1	-16.5	-16.8	-17.7	-17.5	-1.2	-19.1
売上額	増加	12.4	9.2	4.9	7.9	5.2	5.0	12.2	14.2	5.8	13.3	5.1	6.8	7.1	2.7		6.4
	変わらず	61.8	71.1	72.8	71.9	65.2	72.3	62.2	61.1	74.8	63.3	74.4	69.9	68.1	74.7		74.5
	減少	25.8	19.7	22.3	20.2	29.6	22.8	25.6	24.8	19.4	23.3	20.5	23.3	24.8	22.7		19.1
	D・I	-13.4	-10.5	-17.4	-12.3	-24.4	-17.8	-13.4	-10.6	-13.6	-21.5	-15.4	-16.5	-17.7	-20.0	-2.3	-12.7
収益	増加	12.6	10.8	6.8	6.9	7.1	4.9	7.9	12.4	5.8	10.1	8.9	6.8	4.6	2.6		5.7
	変わらず	60.9	66.2	64.1	66.7	61.9	67.6	61.8	62.8	71.8	58.4	63.3	66.0	64.2	68.4		70.5
	減少	26.4	23.0	29.1	26.4	31.0	27.5	30.3	24.8	22.3	31.5	27.8	27.2	31.2	28.9		23.8
	D・I	-13.8	-12.2	-22.3	-19.5	-23.9	-22.6	-22.4	-12.4	-16.5	-21.4	-18.9	-20.4	-26.6	-26.3	-7.7	-18.1
販売価格	上昇	14.6	10.3	6.3	11.0	9.4	9.6	13.3	10.5	7.1	14.6	9.6	7.1	6.0	9.7		10.4
	変わらず	73.2	80.9	77.9	78.0	71.7	75.5	73.5	71.4	80.8	70.7	80.8	74.7	79.0	79.2		75.0
	下降	12.2	8.8	15.8	11.0	18.9	14.9	13.3	18.1	12.1	14.6	9.6	18.2	15.0	11.1		14.6
	D・I	2.4	1.5	-9.5	0.0	-9.5	-5.3	0.0	-7.6	-5.0	0.0	0.0	-11.1	-9.0	-1.4	-9.0	-4.2
仕入価格	上昇	35.0	32.8	22.6	32.1	30.4	25.8	31.3	32.4	30.9	30.4	37.3	28.7	33.7	34.2		32.3
	変わらず	57.5	57.4	66.7	56.8	56.9	62.4	58.8	54.9	58.5	57.0	56.0	60.6	56.4	58.9		54.5
	下降	7.5	9.8	10.8	11.1	12.7	11.8	10.0	12.7	10.6	12.7	6.7	10.6	9.9	6.8		13.1
	D・I	27.5	23.0	11.8	21.0	17.7	14.0	21.3	19.7	20.3	17.7	30.6	18.1	23.8	27.4	-6.8	19.2
資金繰り	楽	7.1	6.8	4.0	5.9	3.5	4.0	1.1	4.4	1.9	2.3	1.3	2.9	4.8	1.3		4.0
	変わらず	78.6	80.8	80.2	78.8	74.6	73.3	76.1	72.8	75.7	75.0	83.1	73.8	75.2	80.0		75.2
	苦しい	14.3	12.3	15.8	15.3	21.9	22.8	22.7	22.8	22.3	22.7	15.6	23.3	20.0	18.7		20.8
	D・I	-7.2	-5.5	-11.8	-9.4	-18.4	-18.8	-21.6	-18.4	-20.4	-20.4	-14.3	-20.4	-15.2	-17.4	-0.9	-16.8
同前年比	売上額	-16.1		-5.2		-22.4		-19.7		-6.1		-15.3		-20.2			
	収益	-15.9		-17.7		-33.6		-30.3		-23.0		-25.6		-29.8			
	販売価格	2.5		1.1		-7.8		-7.4		1.1		-1.4		-10.6			
雇用	前年比残業時間	-8.1	1.5	-8.2	-6.9	-5.5	-8.2	-5.9	-5.5	-12.9	-5.9	-6.6	-10.9	-4.9	-6.9		-6.0
	人手	-8.1	-5.8	-4.1	-10.5	-11.9	-3.0	-12.9	-9.3	-16.0	-10.7	-18.4	-15.0	-11.7	-18.9		-12.7
借入金	借入をした(%)	37.2	13.9	26.0	29.1	27.7	18.0	22.6	17.1	22.0	19.5	17.3	14.0	23.4	17.1		14.0
	借入をしな(%)	62.8	86.1	74.0	70.9	72.3	82.0	77.4	82.9	78.0	80.5	82.7	86.0	76.6	82.9		86.0
	借入難易度	-10.3		-8.0		-12.5		-12.9		-18.4		-10.8		-15.1			
有効回答事業所数		91		103		117		92		103		80		114			

不動産業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R5		R5		R5		R5		R6		対前期比	4～6月期(予測)	
	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期				
設備	現在の設備	-10.8	-6.3	-11.5	-13.3	-12.0	-13.6	-12.3	-13.9	-12.3	-12.5	-9.9	-12.5	-8.9	-12.7		-10.0
投資	実施した	43.1	41.0	35.0	36.2	35.2	28.8	38.8	43.7	26.7	56.0	39.5	33.9	32.4	44.2		34.8
投資	事業用地・建物	15.5	17.9	8.3	15.5	9.9	8.5	14.3	11.3	15.0	20.0	14.0	16.9	5.9	25.6		17.4
投資	機械・設備の新・増設	3.4	2.6	5.0	3.4	7.0	0.0	4.1	2.8	3.3	2.0	9.3	5.1	2.9	7.0		1.4
投資	機械・設備の更改	5.2	12.8	5.0	8.6	8.5	3.4	8.2	11.3	3.3	18.0	7.0	5.1	4.4	11.6		10.1
内容	事務機器	19.0	15.4	11.7	15.5	16.9	6.8	14.3	19.7	6.7	26.0	20.9	8.5	19.1	11.6		14.5
内容	車両	19.0	5.1	16.7	13.8	11.3	10.2	4.1	11.3	5.0	10.0	2.3	10.2	10.3	4.7		8.7
内容	その他	1.7	2.6	3.3	0.0	2.8	3.4	2.0	2.8	1.7	4.0	2.3	1.7	0.0	2.3		1.4
内容	実施しない	56.9	59.0	65.0	63.8	64.8	71.2	61.2	56.3	73.3	44.0	60.5	66.1	67.6	55.8		65.2
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	32.6		34.4		29.5		29.8		31.3		31.1		36.9			
	人手不足	8.1		3.1		7.1		7.1		10.4		10.8		6.8			
	大手企業・大型店との競争の激化	10.5		7.3		8.9		7.1		9.4		6.8		4.9			
	同業者間の競争の激化	23.3		12.5		23.2		20.2		20.8		23.0		29.1			
	流通経路の変化による競争の激化	0.0		3.1		6.3		2.4		2.1		4.1		0.0			
	合理化の不足	5.8		4.2		4.5		9.5		3.1		5.4		3.9			
	利幅の縮小	15.1		19.8		20.5		16.7		18.8		21.6		22.3			
	小口注文・多頻度配送の増加	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	販売商品の不足	2.3		7.3		5.4		6.0		3.1		1.4		4.9			
	原材料価格・材料価格の上昇	14.0		11.5		19.6		17.9		16.7		12.2		16.5			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		1.0		0.9		1.2		1.0		0.0		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	8.1		8.3		6.3		3.6		3.1		4.1		6.8			
	人件費の増加	2.3		2.1		3.6		1.2		5.2		5.4		3.9			
	人件費以外の経費増加	14.0		25.0		20.5		17.9		14.6		16.2		14.6			
	工場・店舗の狭小・老朽化	7.0		3.1		11.6		10.7		8.3		9.5		7.8			
	生産能力・技術力の不足	3.5		0.0		0.9		1.2		0.0		0.0		1.0			
	取引先の減少	8.1		9.4		6.3		7.1		2.1		6.8		4.9			
	商店街の集客力の低下	2.3		1.0		3.6		3.6		2.1		0.0		1.9			
	下請の確保難	0.0		0.0		0.9		1.2		1.0		0.0		1.0			
	駐車場・資材置場の確保難	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.4		0.0			
大手企業・工場の縮小・撤退	2.3		1.0		1.8		0.0		0.0		1.4		0.0				
その他	5.8		3.1		2.7		6.0		3.1		9.5		4.9				
問題なし	23.3		26.0		18.8		16.7		28.1		23.0		17.5				
重点経営施策(%)	販路を広げる	13.6		11.5		14.5		14.8		14.3		19.2		13.5			
	経費を削減する	38.6		35.4		44.5		38.3		34.7		41.1		45.2			
	品揃えを充実させる	3.4		0.0		0.9		2.5		2.0		4.1		3.8			
	情報力・宣伝・広報を強化する	29.5		17.7		18.2		21.0		15.3		19.2		19.2			
	新製品・技術を開発する	1.1		0.0		0.9		2.5		0.0		0.0		0.0			
	新しい工法を導入する	3.4		0.0		0.9		0.0		2.0		1.4		3.8			
	新しい事業を始める	10.2		8.3		11.8		16.0		10.2		6.8		8.7			
	不採算部門を整理・縮小する	1.1		5.2		3.6		1.2		5.1		2.7		0.0			
	店舗・設備を改装する	5.7		6.3		12.7		7.4		6.1		9.6		5.8			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	6.8		9.4		9.1		4.9		5.1		15.1		3.8			
	営業時間を延長する	0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	売れ筋商品を取扱う	4.5		3.1		0.9		3.7		2.0		0.0		1.0			
	商店街事業を活性化させる	1.1		1.0		0.9		0.0		0.0		0.0		0.0			
	機械化を推進する	0.0		0.0		1.8		0.0		3.1		2.7		1.0			
	技術力を強化する	2.3		0.0		0.9		0.0		1.0		2.7		1.9			
	人材を確保する	8.0		4.2		5.5		6.2		5.1		8.2		4.8			
	パート化を図る	0.0		0.0		0.9		0.0		1.0		1.4		1.9			
	教育訓練を強化する	1.1		2.1		1.8		2.5		2.0		4.1		1.0			
	労働条件を改善する	1.1		1.0		0.9		0.0		0.0		0.0		0.0			
	工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
流通経路の見直しをする	1.1		2.1		2.7		0.0		2.0		1.4		1.0				
取引先を支援する	1.1		1.0		1.8		0.0		0.0		1.4		2.9				
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
不動産の有効活用を図る	34.1		35.4		35.5		39.5		33.7		34.2		22.1				
その他	1.1		4.2		0.9		2.5		1.0		2.7		2.9				
特になし	19.3		25.0		16.4		22.2		27.6		19.2		25.0				
有効回答事業所数	91		103		117		92		103		80		114				

調査の概要

1. 調査時期 令和6年1～3月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	325	164
卸売業	300	99
小売業	300	96
サービス業	300	140
建設業	325	153
不動産業	300	114
合計	1,850	794

※有効回答事業所数の合計は業種不明 28 件含む